資料5

小樽市の環境に関する
市民アンケート調査
報　告　書
＜案＞

令和６年３月

目　次

Ⅰ．調査概要
１　調査目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
２　調査対象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
３　調査期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
４　調査方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
５　回収結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
６　その他　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

Ⅱ．回答者の属性（性別、年齢、居住地区、居住年数、居住形態）・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ．集計結果
＜問１＞　関心のある環境問題について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
＜問２＞　自宅での環境配慮の取組について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
＜問３＞　自宅で利用しているエネルギーについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
＜問４＞　自宅の省エネ化状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
＜問５＞　環境に関する満足度・重要度について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
＜問６＞　行政が取り組む環境施策について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
＜問７＞　生物多様性について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
＜問８＞　自然環境の変化について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
＜問９＞　環境活動への参加について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
＜問 10＞　「ゼロカーボンシティ小樽市」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・68
＜問 11＞　持続可能な開発目標（SDGs）について　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
＜問 12＞　気候変動の影響への「適応」について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
＜問 13＞　環境学習について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
＜問 14＞　環境に関する情報提供について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
＜問 15＞　小樽の環境の将来像について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90
＜問 16＞　環境に関するご意見について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・97

Ⅰ. 調査概要

1　調査目的

本アンケートは、環境保全への取組状況や小樽市の環境に関する意見などを「第 2 次小樽市環境基本計画」策定の参考とすることを目的に実施した。

2　調査対象

市内に在住する 18 歳以上の 1,800 人。なお、年代ごとに回収率を想定し、各年代から均一的に回収ができるよう想定回収率から必要発送数を算出し、さらに地区ごとの人口割合を年代別必要発送数に乗じて必要配布数を算出し、無作為に抽出した。

3　調査期間

令和 5（2023）年 9 月 28 日（金）～10 月 30 日（月）

4　調査方法

郵送による配付、郵送又は WEB による回収

5　回収結果

配付数	有効回収数	有効回収率
1,800	483 （総回収数 484－無効票 1）	26.8%

6　その他

・質問で指定された回答数を超えて回答しているものは無効回答とした。
・図中の「n」とは、回答者総数又は該当者質問の回答者数のことである。
・割合は百分率（%）で表示し、その小数第 2 位を四捨五入し端数処理とした。
・結果の数値は端数処理の関係で、単一回答であっても 100%とならない場合がある。
・自由記述は、原文をそのまま記載した。
・クロス集計の結果については、特徴が見られたものについて整理した。

Ⅱ. 回答者の属性

＜質 問＞　あなた自身のことについて

　はじめに性別・年齢・お住まいの地区などについておたずねします。各項目から当てはまる番号を１つ選び、○をつけてください。

【性別】

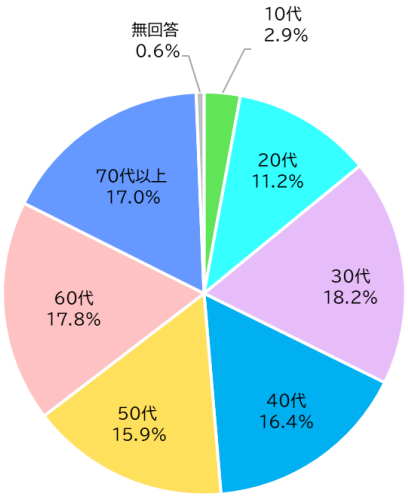
性別回答割合は男性 37.3%、女性 54.5%、無回答 8.3%となっている。

性別	回答者数	割合
男性	180	37.3%
女性	263	54.5%
無回答	40	8.3%
合計	483	100%

【年齢】

年齢別回答割合は、30 代が 18.2%と最も高く、次いで 60 代が 17.8%、70 代以上が 17.0%、40 代が 16.4%、50 代が 15.9%、10 代＋20 代（18 歳以上 30 歳未満）が 14.1%と、年代ほぼ同程度の割合で回答が得られている。

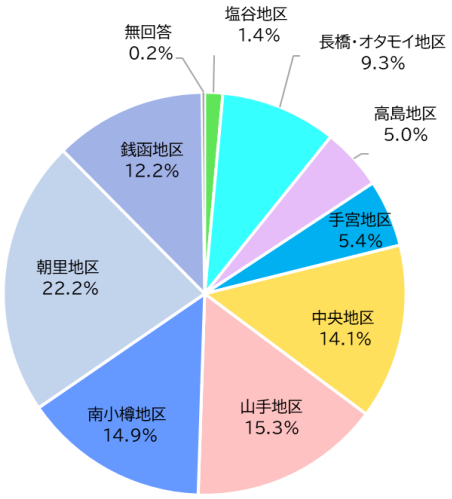
年齢	回答者数	割合
10 代	14	2.9%
20 代	54	11.2%
30 代	88	18.2%
40 代	79	16.4%
50 代	77	15.9%
60 代	86	17.8%
70 代以上	82	17.0%
無回答	3	0.6%
合計	483	100%



【居住地区】

居住地区別回答割合は、朝里地区が 22.2%で最も高く、次いで山手地区が 15.3%、南小樽地区 14.9%、中央地区が 14.1%、銭函地区が 12.2%、長橋・オタモイ地区が 9.3%、手宮地区 5.4%、高島地区が 5.0%、塩谷地区が 1.4%となっている。

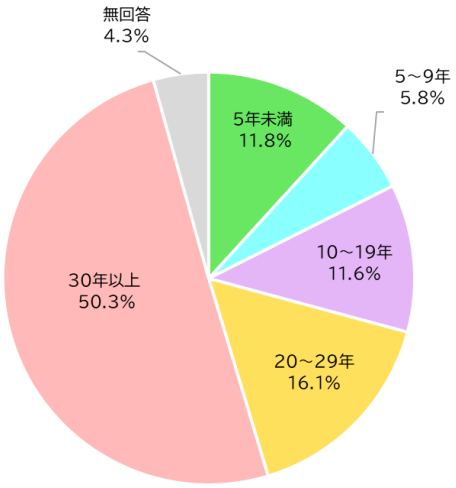
居住地区	回答者数	割合
塩谷地区	7	1.4%
長橋・ｵﾀﾓｲ地区	45	9.3%
高島地区	24	5.0%
手宮地区	26	5.4%
中央地区	68	14.1%
山手地区	74	15.3%
南小樽地区	72	14.9%
朝里地区	107	22.2%
銭函地区	59	12.2%
無回答	1	0.2%
合計	483	100%



【居住年数】

居住年数別回答割合は、30 年以上が 50.3%で最も高く、次いで 20～29 年が 16.1%、5 年未満が 11.8%、10～19 年が 11.6%、5～9 年が 5.8%となっている。

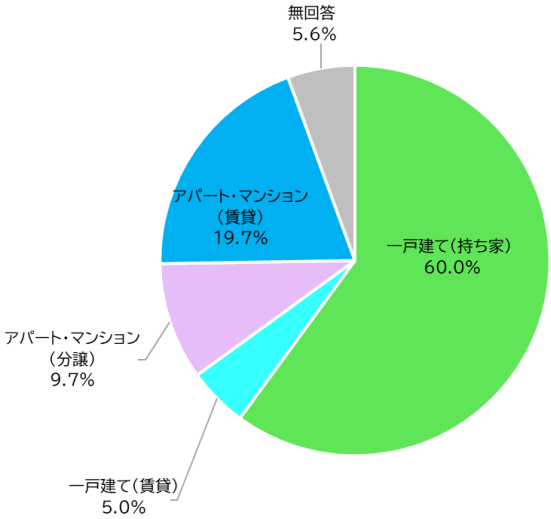
居住年数	回答者数	割合
5 年未満	57	11.8%
5～9 年	28	5.8%
10～19 年	56	11.6%
20～29 年	78	16.1%
30 年以上	243	50.3%
無回答	21	4.3%
合計	483	100%



【居住形態】

居住形態別回答割合は一戸建て（持ち家）が 60.0%と最も高く、次いでアパート・マンション（賃貸）が 19.7%、アパート・マンション（分譲）が 9.7%、一戸建て（賃貸）が 5.0%となっている。

居住形態	回答者数	割合
一戸建て（持ち家）	290	60.0%
一戸建て（賃貸）	24	5.0%
アパート・マンション（分譲）	47	9.7%
アパート・マンション（賃貸）	95	19.7%
無回答	27	5.6%
合計	483	100%



Ⅲ. 集計結果

＜問 1＞　関心のある環境問題について

　現在あなたが、環境問題で関心のあることはどのような分野ですか。次の中から当てはまる番号を 3 つまで選び、○をつけてください。

「地球温暖化・気候変動の問題」が 67.9%と最も高く、次いで「エネルギーの確保の問題」が 45.3%、次いで「プラスチック資源循環・食品ロス削減」が 27.3%、「廃棄物の処理やごみ減量化・リサイクルなどの問題」が 23.4%と続き、「文化財や歴史的な遺産の保全・活用の問題」、「森林の減少」、「騒音・振動・悪臭など身近な生活環境の問題」、「生活行動に伴う河川・海の水質汚濁」が 14%台、「野生生物の減少・外来生物の侵入」が 11.6%、他は 10%未満となっている。

・回答者の約 68%が「地球温暖化・気候変動の問題」について関心を寄せている。特に年齢層の高い方の回答割合が多かった。地球温暖化対策の取組についてわかりやすく情報提供していくことが必要であると考えられる。
・「エネルギーの確保の問題」についても約 45%の高い関心が寄せられ、年齢層の高い方の回答割合が多かった。再生可能エネルギーへの転換について、どう取り組むべきか検討を進めることが重要である。
・身近な環境問題である「プラスチック資源循環・食品ロス削減」、「廃棄物の処理やごみ減量化・リサイクルなどの問題」についても 4 人に 1 人が関心を寄せており、重点的に取り組む必要があると考えられる。

表 1-1　関心のある環境問題について（全体）

	地球温暖化・気候変動の問題		温室効果ガス削減対策		エネルギーの確保の問題		生産活動や消費活動に伴う大気汚染		生活行動に伴う河川・海の水質汚濁		騒音・振動・悪臭など身近な生活環境の問題		廃棄物の処理やごみ減量化・リサイクルなどの問題		プラスチック資源循環・食品ロス削減	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	328	67.9%	42	8.7%	219	45.3%	37	7.7%	68	14.1%	69	14.3%	113	23.4%	132	27.3%

	ダイオキシンなど有害化学物質の問題		オゾン層の破壊や酸性雨		生物多様性・生態系保全		森林の減少		野生生物の減少・外来生物の侵入		文化財や歴史的な遺産の保全・活用の問題		その他		無回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	14	2.9%	27	5.6%	47	9.7%	70	14.5%	56	11.6%	72	14.9%	5	1.0%	18	3.7%

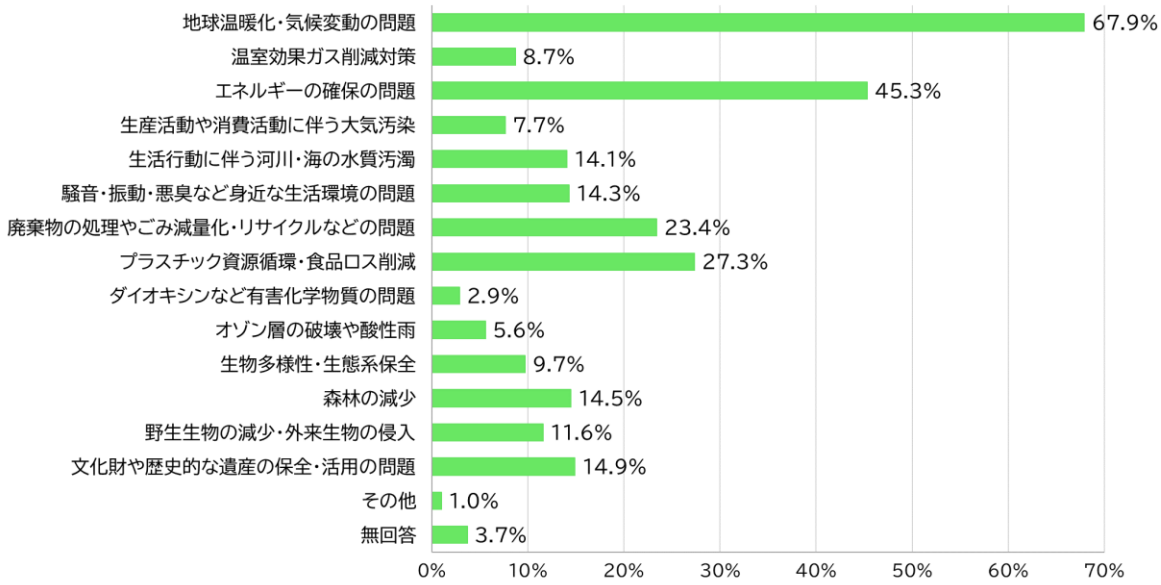


図 1-1　関心のある環境問題について（全体）

● 「その他」の回答

・リチウムイオン電池の廃棄方法。
・核廃棄物は将来の子孫に残してはいけない。
・外国人による小樽の土地買収問題。
・熊を駆除して下さい。
・子供達の遊ぶ場所、施設が小樽にはないため、つくってほしい。
・高島のバスの本数が少なすぎる為、増やしてほしいです。
・小樽の風力発電して、できるように、どうなる、ありませんか。（風力発電は本当に変わることは、ほしいです。）※外国籍と思われる方

表 1-2 関心のある環境問題について（年齢別）

	地球温暖化・気候変動の問題		温室効果ガス削減対策		エネルギーの確保の問題		生産活動や消費活動に伴う大気汚染		生活行動に伴う河川・海の水質汚濁		騒音・振動・悪臭など身近な生活環境の問題		廃棄物の処理やごみ減量化・リサイクルなどの問題		プラスチック資源循環・食品ロス削減	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
10代	9	64.3%	2	14.3%	4	28.6%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%	1	7.1%	4	28.6%
20代	35	64.8%	8	14.8%	20	37.0%	6	11.1%	6	11.1%	12	22.2%	9	16.7%	15	27.8%
30代	50	56.8%	9	10.2%	31	35.2%	5	5.7%	19	21.6%	18	20.5%	22	25.0%	22	25.0%
40代	51	64.6%	3	3.8%	30	38.0%	8	10.1%	10	12.7%	12	15.2%	19	24.1%	15	19.0%
50代	56	72.7%	5	6.5%	37	48.1%	3	3.9%	8	10.4%	7	9.1%	15	19.5%	22	28.6%
60代	64	74.4%	9	10.5%	52	60.5%	4	4.7%	10	11.6%	11	12.8%	22	25.6%	26	30.2%
70代以上	62	75.6%	6	7.3%	42	51.2%	11	13.4%	13	15.9%	8	9.8%	24	29.3%	27	32.9%

	ダイオキシンなど有害化学物質の問題		オゾン層の破壊や酸性雨		生物多様性・生態系保全		森林の減少		野生生物の減少・外来生物の侵入		文化財や歴史的な遺産の保全・活用の問題		その他		無回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
10代	0	0.0%	2	14.3%	5	35.7%	4	28.6%	3	21.4%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%
20代	0	0.0%	1	1.9%	5	9.3%	8	14.8%	6	11.1%	13	24.1%	0	0.0%	3	5.6%
30代	3	3.4%	3	3.4%	7	8.0%	16	18.2%	12	13.6%	10	11.4%	2	2.3%	4	4.5%
40代	2	2.5%	5	6.3%	9	11.4%	11	13.9%	14	17.7%	13	16.5%	1	1.3%	5	6.3%
50代	3	3.9%	2	2.6%	12	15.6%	10	13.0%	11	14.3%	14	18.2%	2	2.6%	1	1.3%
60代	2	2.3%	12	14.0%	6	7.0%	7	8.1%	4	4.7%	14	16.3%	0	0.0%	3	3.5%
70代以上	4	4.9%	2	2.4%	3	3.7%	14	17.1%	6	7.3%	7	8.5%	0	0.0%	2	2.4%

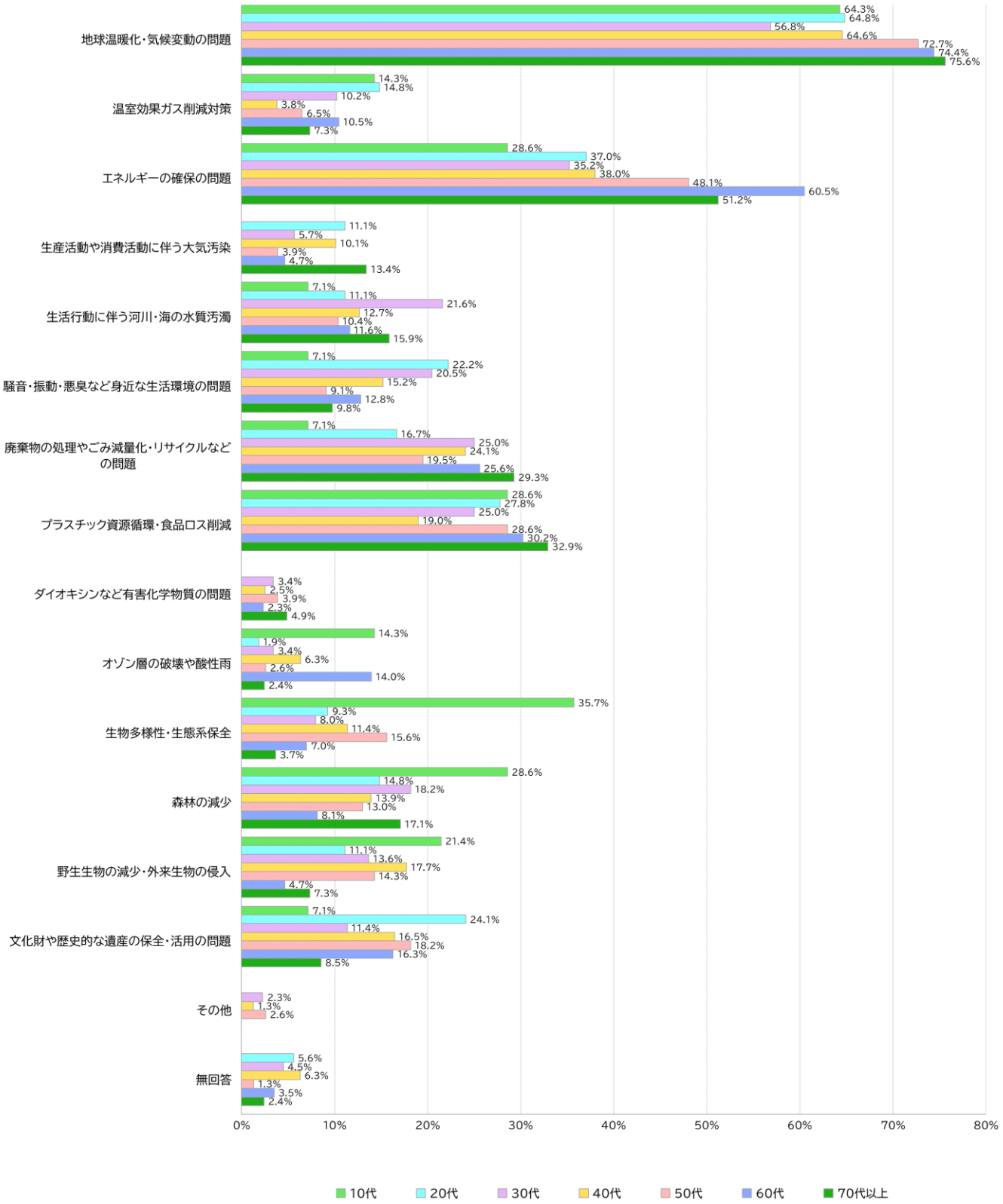


図 1-2 関心のある環境問題について（年代別）

表 1-3 関心のある環境問題について（居住地区別）

	地球温暖化・気候変動の問題		温室効果ガス削減対策		エネルギーの確保の問題		生産活動や消費活動に伴う大気汚染		生活行動に伴う河川・海の水質汚濁		騒音・振動・悪臭など身近な生活環境の問題		廃棄物の処理やごみ減量化・リサイクルなどの問題		プラスチック資源循環・食品ロス削減	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
塩谷地区	3	42.9%	0	0.0%	6	85.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%
長橋・オタモイ地区	31	68.9%	2	4.4%	24	53.3%	5	11.1%	2	4.4%	5	11.1%	11	24.4%	14	31.1%
高島地区	19	79.2%	2	8.3%	12	50.0%	2	8.3%	4	16.7%	2	8.3%	4	16.7%	4	16.7%
手宮地区	17	65.4%	4	15.4%	9	34.6%	1	3.8%	1	3.8%	3	11.5%	9	34.6%	10	38.5%
中央地区	39	57.4%	6	8.8%	27	39.7%	6	8.8%	14	20.6%	11	16.2%	14	20.6%	19	27.9%
山手地区	51	68.9%	8	10.8%	37	50.0%	2	2.7%	8	10.8%	13	17.6%	14	18.9%	20	27.0%
南小樽地区	50	69.4%	6	8.3%	32	44.4%	5	6.9%	8	11.1%	9	12.5%	19	26.4%	19	26.4%
朝里地区	79	73.8%	11	10.3%	43	40.2%	11	10.3%	20	18.7%	17	15.9%	31	29.0%	27	25.2%
銭函地区	38	64.4%	3	5.1%	28	47.5%	5	8.5%	11	18.6%	9	15.3%	10	16.9%	18	30.5%

	ダイオキシンなど有害化学物質の問題		オゾン層の破壊や酸性雨		生物多様性・生態系保全		森林の減少		野生生物の減少・外来生物の侵入		文化財や歴史的な遺産の保全・活用の問題		その他		無回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
塩谷地区	1	14.3%	0	0.0%	3	42.9%	1	14.3%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
長橋・オタモイ地区	0	0.0%	1	2.2%	5	11.1%	8	17.8%	5	11.1%	5	11.1%	0	0.0%	2	4.4%
高島地区	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	4	16.7%	1	4.2%	4	16.7%	1	4.2%	1	4.2%
手宮地区	0	0.0%	1	3.8%	2	7.7%	8	30.8%	1	3.8%	3	11.5%	0	0.0%	3	11.5%
中央地区	2	2.9%	5	7.4%	8	11.8%	9	13.2%	11	16.2%	14	20.6%	0	0.0%	3	4.4%
山手地区	2	2.7%	3	4.1%	7	9.5%	12	16.2%	7	9.5%	14	18.9%	0	0.0%	3	4.1%
南小樽地区	2	2.8%	6	8.3%	8	11.1%	8	11.1%	8	11.1%	13	18.1%	2	2.8%	2	2.8%
朝里地区	4	3.7%	8	7.5%	8	7.5%	9	8.4%	16	15.0%	13	12.1%	1	0.9%	2	1.9%
銭函地区	3	5.1%	3	5.1%	5	8.5%	11	18.6%	5	8.5%	6	10.2%	1	1.7%	2	3.4%

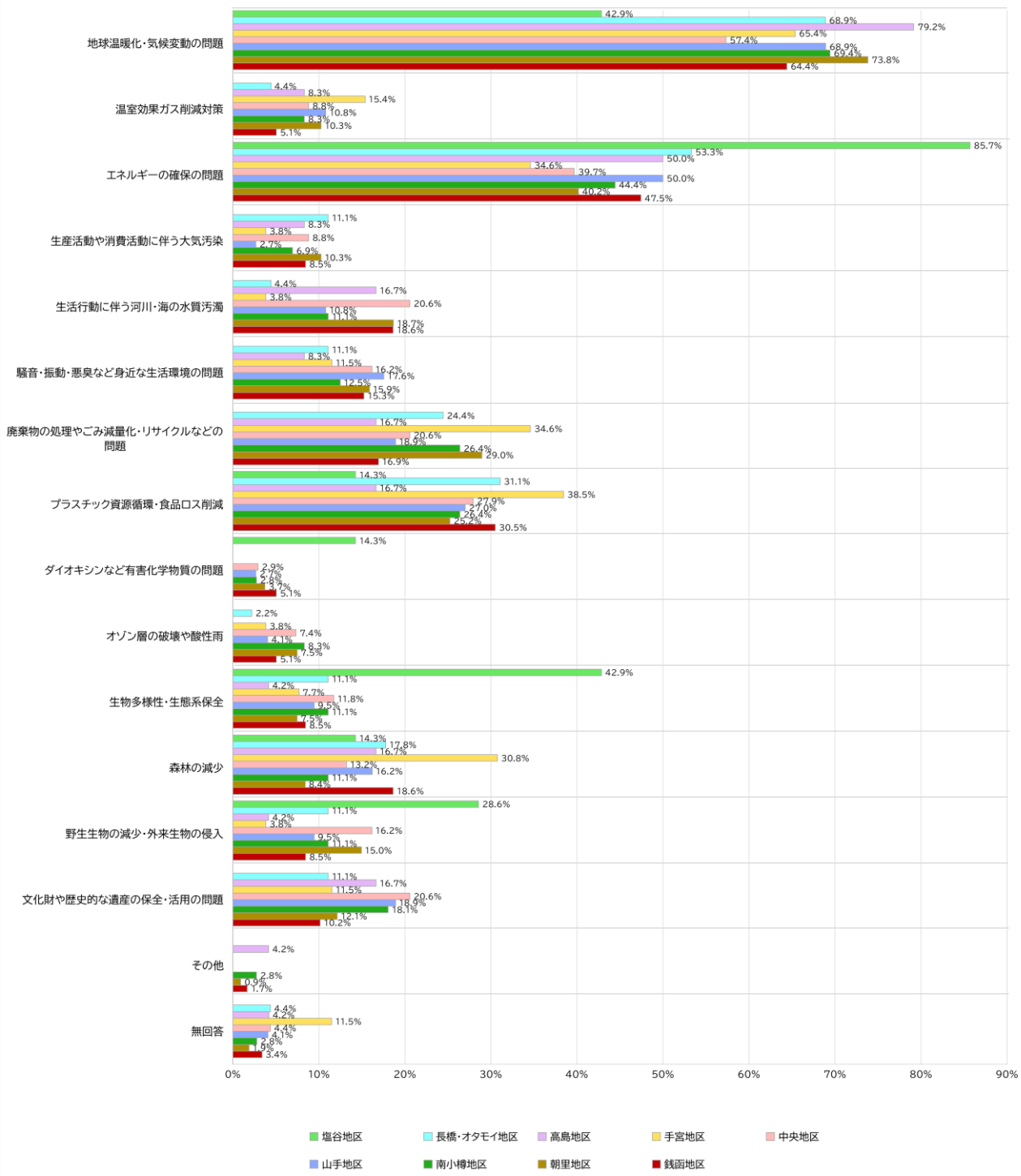


図 1-3　関心のある環境問題について（居住地区別）

＜問 2＞　自宅での環境配慮の取組について

あなたが普段の生活の中で環境のために実践していることはありますか。各設問の３つの中から当てはまる番号を１つ選び、○をつけてください。

既に「実践している」と回答があった中で、「ごみの分別・回収ルールを守っている」が96.3%と最も高く、次いで「使っていない照明や見ていないテレビは消す」が 93.0%、「洗濯するときはまとめて洗う」が 88.4%、「便座の温度設定は控え目にし、使用していない時はフタを閉める」が 86.3%、「プラスチックごみ削減に努めている（エコバッグ利用)」が84.5%、「水を出しっぱなしで歯磨き・洗顔しない」が 83.9%、「冷暖房の設定温度を管理している」が 83.6%、「食品ロス削減に努めている」が 80.1%であった。上述のほか、「これから始めるつもり」も加えた割合で 80%を超えたものは「不用品の再利用や資源回収に協力している（分別収集、集団・店頭回収)」が 79.5%＋11.6%（合計 91.1%）で最も高く、「料理は必要な量だけ調理する」が 78.9%＋11.2%（合計 90.1%)、「ごみを減らす努力をしている（詰替商品を選ぶなど)」が 77.4%＋12.6%（合計 90.0%)、「シャワーはこまめに止める」が 76.6%＋12.2%（合計 88.8%)、「蛍光灯や白熱灯を LED に取り替える」が 63.8%＋23.8%（合計 87.6%)、「車間距離に余裕をもって、加速・減速の少ない運転をする」が 75.2%＋8.1%（合計 83.2%)、「お風呂は家族で続けて入る」が 75.2%＋7.5%（合計 82.7%)、「使用していない時のパソコンの電源を切る」が 75.6%＋5.0%（合計 80.6%)、「食器や鍋の油汚れは紙などで拭き取ってから洗う」が 56.3%＋24.6%（合計 80.9%）となっている。

一方で「するつもりはない」と回答した中では「風呂の残り湯を洗濯などに活用する」が 50.1%と最も高く、「廃食油はリサイクルに出す」が 42.4%、「食品購入の場合、トレイ商品よりばら売りを選ぶ」が 41.2%、「ポットや炊飯器の保温機能を使わないようにする」が30.2%、「再生品やエコマーク商品を選ぶ」が 30.0%となっている。

・日常の生活の中で比較的取り組みやすい省エネ対策や、ルール化されている取組は市民にかなり浸透していると考えられる。
・これから実践したいと考えている取組は、手間や費用が掛かる対策であることが多い。
・これらの項目は、既に多くの人たちが取り組んでいることをアピールすることで、行動を後押しすることが可能と考えられる。
・一方で、するつもりはないと回答した割合で高かったのは、「風呂の残り湯を洗濯などに活用する」、「廃食油はリサイクルに出す」、「食品購入の場合、トレイ商品よりばら売りを選ぶ」となっている。
・これらの項目については、節水効果、食品ロスの削減、資源リサイクルなどの環境行動についての周知、啓発活動を推進していくことが重要である。

表 2-1　自宅での環境配慮の取り組みについて（全体）

	使っていない照明や見ていないテレビは消す		冷暖房の設定温度を管理している		使っていない電化製品のプラグをコンセントから抜く		蛍光灯や白熱電球をLEDに取り替える		省エネ家電への買替え		使用していない時のパソコンの電源を切る		便座の温度設定は控え目にし、使用しない時はフタを閉める		洗濯するときはまとめて洗う		風呂の残り湯を洗濯などに活用する		水を出しっぱなしで歯磨き・洗顔をしない		.シャワーはこまめに止める		お風呂は家族で続けて入る		車間距離に余裕をもって、加速・減速の少ない運転をする		公共交通機関を使うようにし、近くへは徒歩で行く	
実践している	449	93.0%	404	83.6%	242	50.1%	308	63.8%	169	35.0%	365	75.6%	417	86.3%	427	88.4%	172	35.6%	405	83.9%	370	76.6%	363	75.2%	363	75.2%	228	47.2%
これから始めるつもり	19	3.9%	33	6.8%	99	20.5%	115	23.8%	196	40.6%	24	5.0%	18	3.7%	18	3.7%	46	9.5%	40	8.3%	59	12.2%	36	7.5%	39	8.1%	100	20.7%
するつもりはない	11	2.3%	28	5.8%	124	25.7%	42	8.7%	85	17.6%	41	8.5%	18	3.7%	31	6.4%	242	50.1%	24	5.0%	33	6.8%	54	11.2%	28	5.8%	116	24.0%
無回答・無効	4	0.8%	18	3.7%	18	3.7%	18	3.7%	33	6.8%	53	11.0%	30	6.2%	7	1.4%	23	4.8%	14	2.9%	21	4.3%	30	6.2%	53	11.0%	39	8.1%

	車の買い替えは、低燃費、低排出ガスのエコカーを選ぶ		再生品やエコマーク商品を選ぶ		食品購入の場合、トレイ商品より、ばら売りを選ぶ		地元で採れた食材を選ぶ		料理は必要な量だけ調理する		鍋底から炎がはみ出さないようにする又は熱効率の良いIHクッキングヒーターを使用する		ポットや炊飯器の保温機能を使わないようにする		食器や鍋の油汚れは紙などで拭き取ってから洗う		廃食油はリサイクルに出す		ごみを減らす努力をしている（詰替商品を選ぶなど）		不用品の再利用や資源回収に協力している（分別収集、集団・店頭回収）		ごみの分別・回収ルールを守っている		プラスチックごみ削減に努めている（エコバッグ利用）		食品ロス削減に努めている（食料品の買いすぎ・料理の作りすぎに注意するなど）	
実践している	197	40.8%	130	26.9%	117	24.2%	253	52.4%	381	78.9%	307	63.6%	259	53.6%	272	56.3%	120	24.8%	374	77.4%	384	79.5%	465	96.3%	408	84.5%	387	80.1%
これから始めるつもり	155	32.1%	184	38.1%	140	29.0%	105	21.7%	54	11.2%	59	12.2%	61	12.6%	119	24.6%	131	27.1%	61	12.6%	56	11.6%	7	1.4%	38	7.9%	69	14.3%
するつもりはない	76	15.7%	145	30.0%	199	41.2%	113	23.4%	31	6.4%	95	19.7%	146	30.2%	77	15.9%	205	42.4%	28	5.8%	27	5.6%	3	0.6%	23	4.8%	11	2.3%
無回答・無効	55	11.4%	24	5.0%	27	5.6%	12	2.5%	17	3.5%	22	4.6%	17	3.5%	15	3.1%	27	5.6%	20	4.1%	16	3.3%	8	1.7%	14	2.9%	16	3.3%

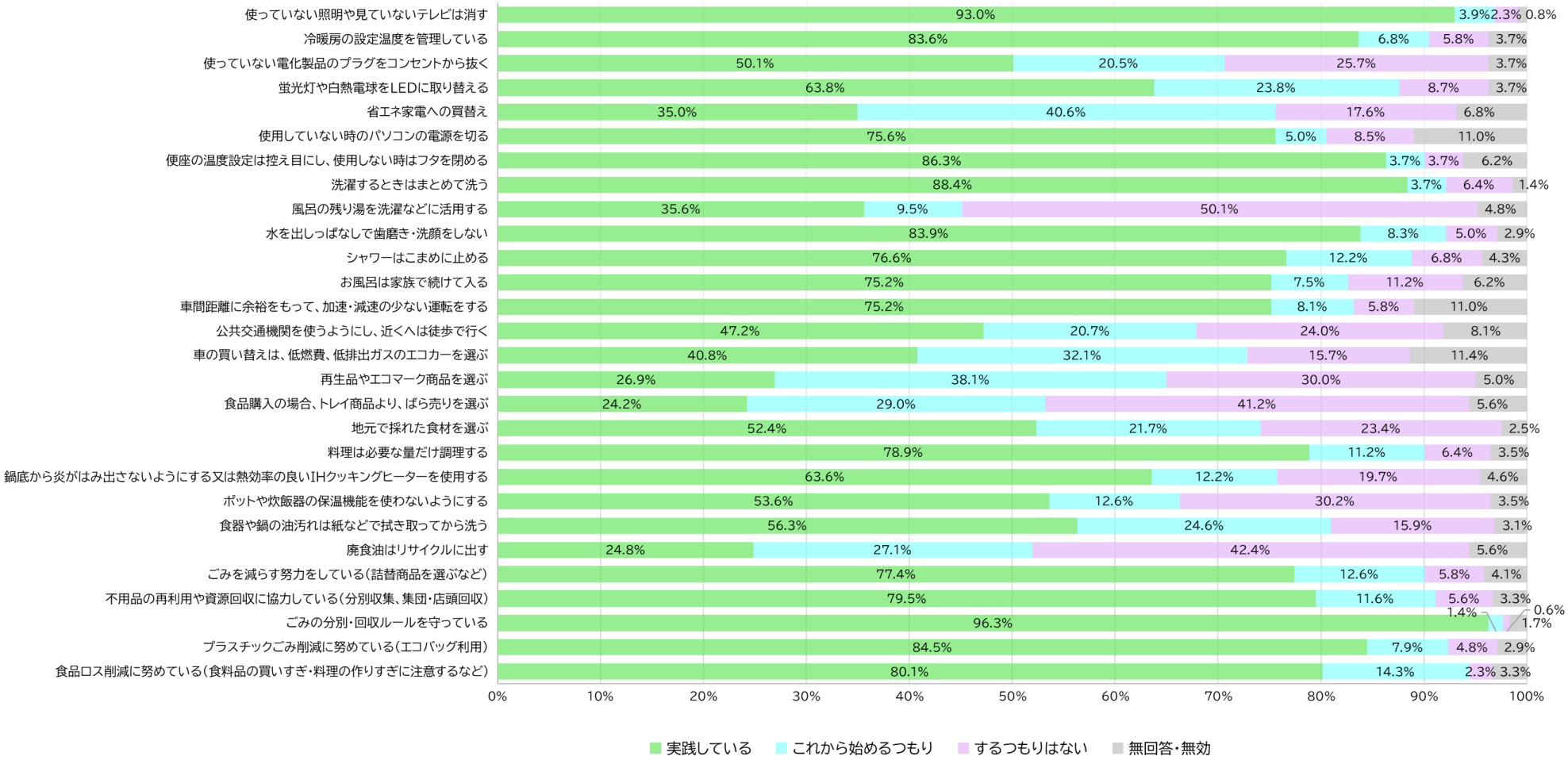


図 2-1　自宅での環境配慮の取組について（全体）

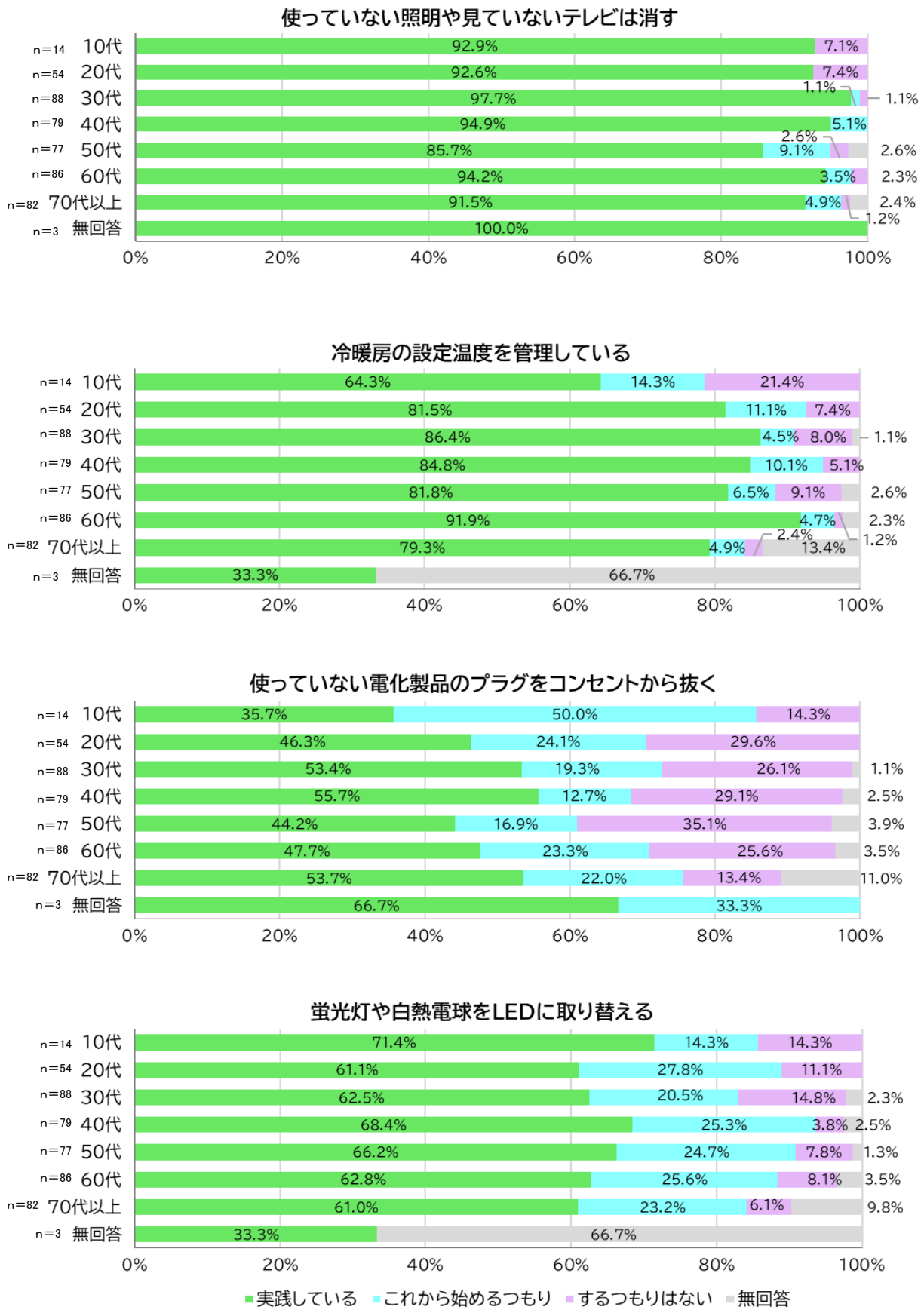


図 2-2 自宅での環境配慮の取組について（年代別） 1/7

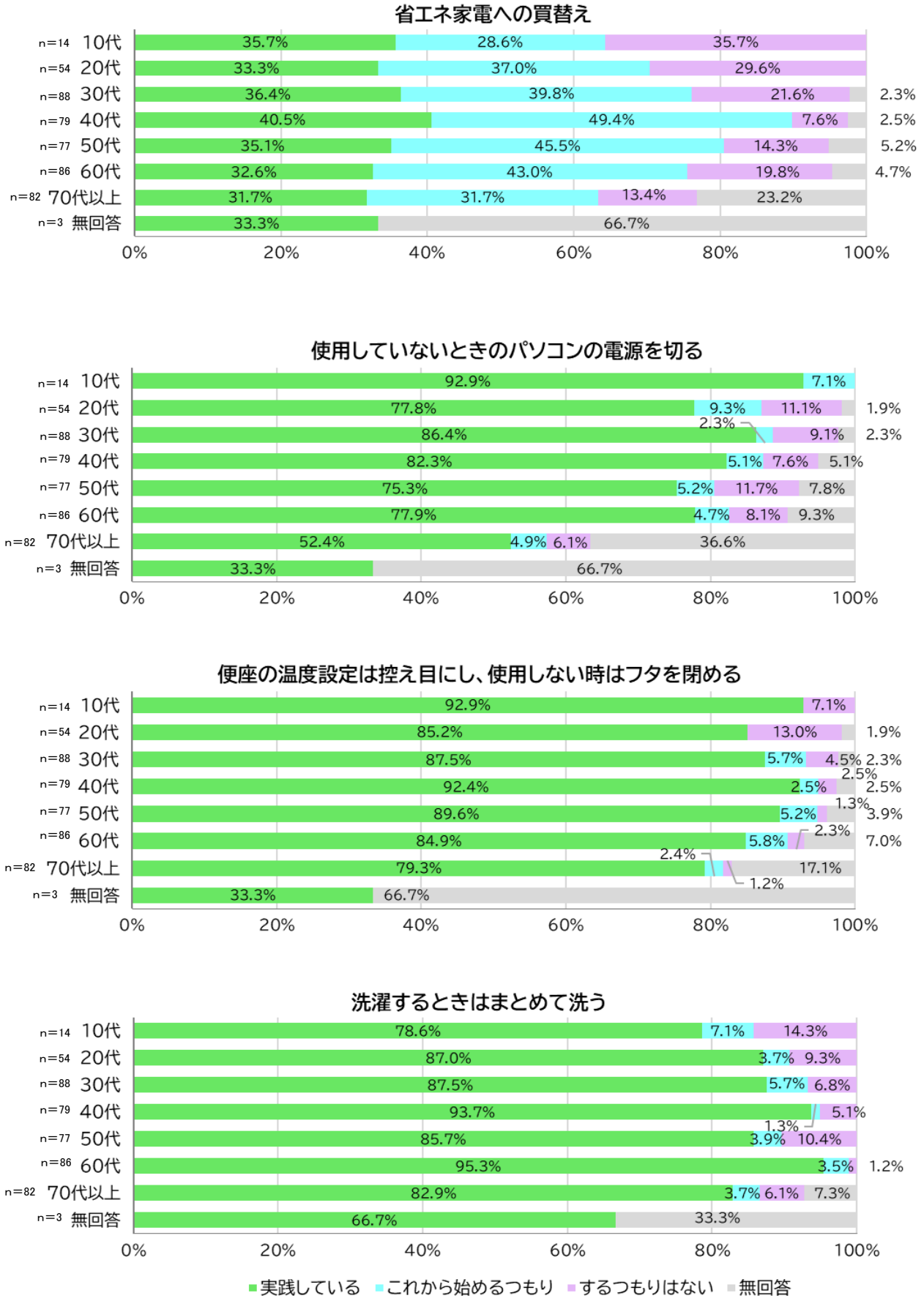


図 2-2 自宅での環境配慮の取組について（年代別） 2/7

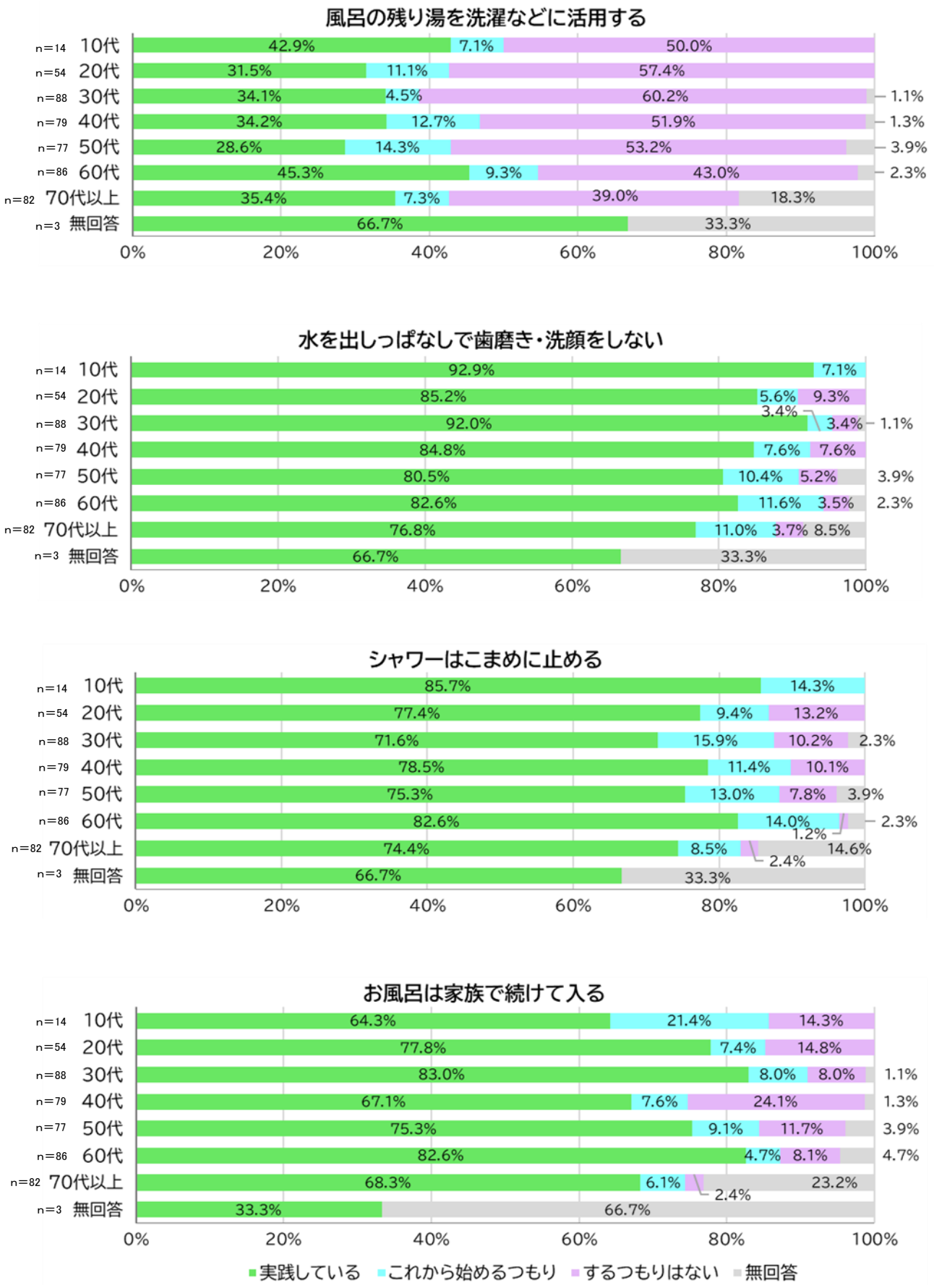


図 2-2　自宅での環境配慮の取組について（年代別）　3/7

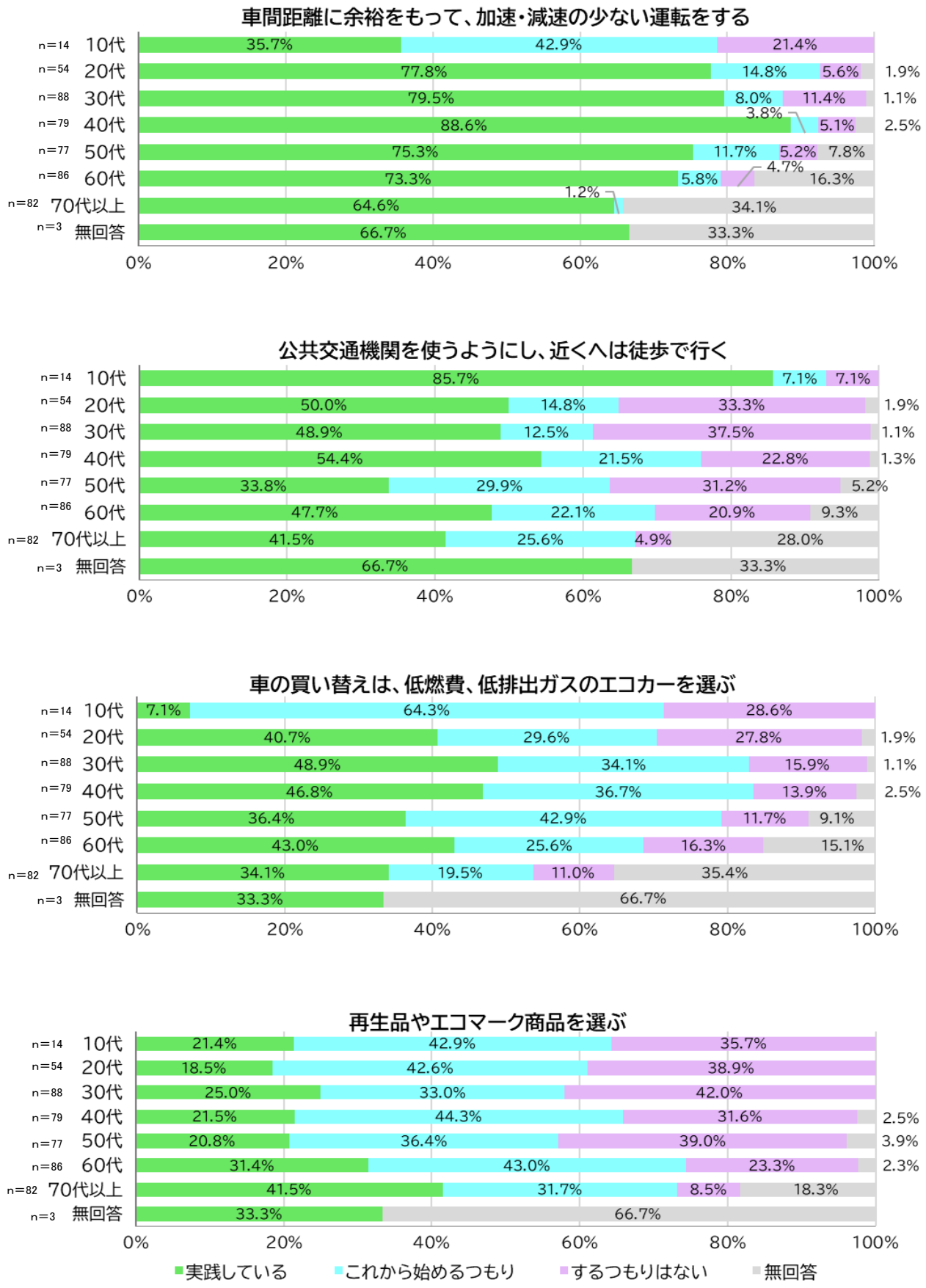


図 2-2　自宅での環境配慮の取組について（年代別）　4/7

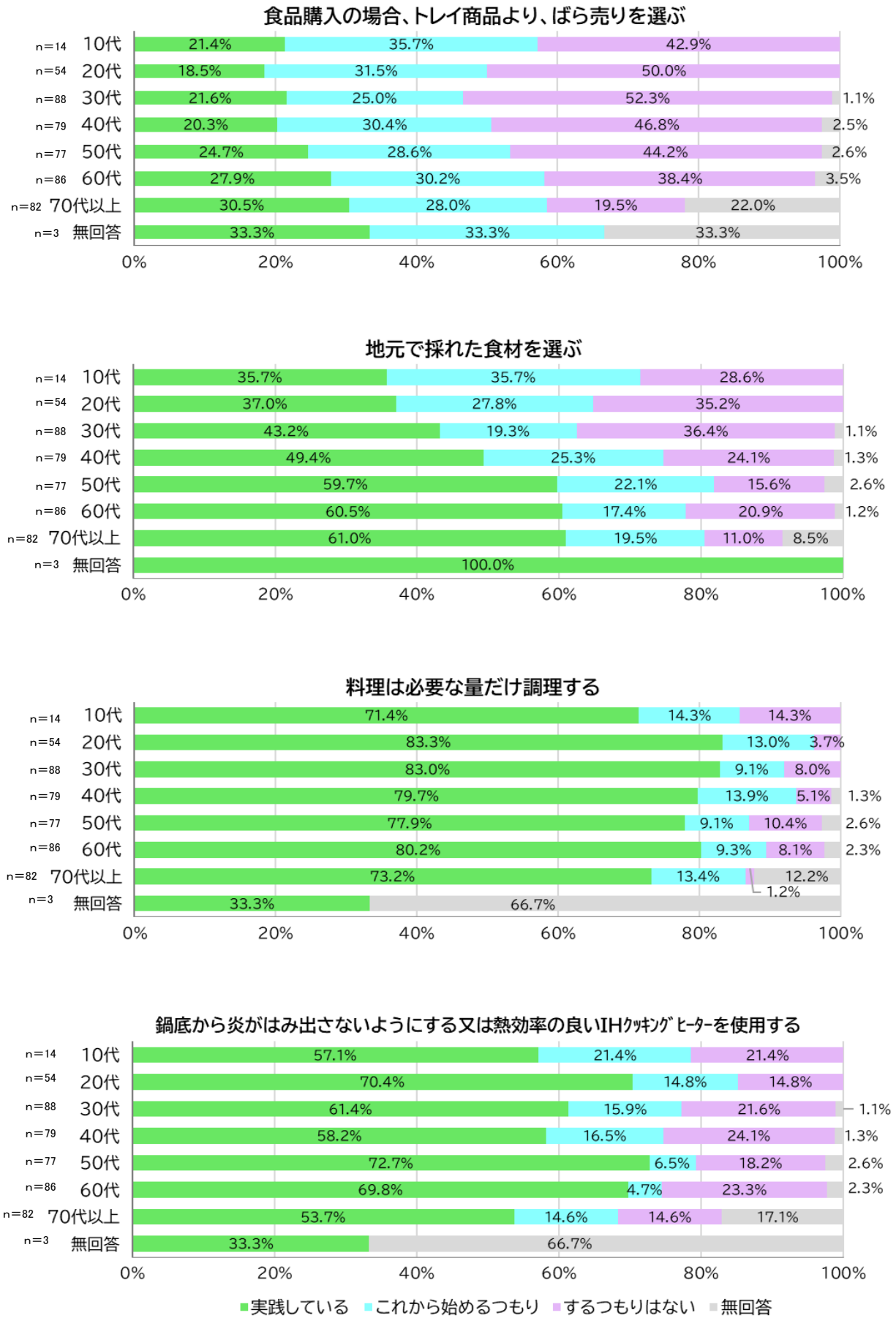


図 2-2　自宅での環境配慮の取組について（年代別）　5/7

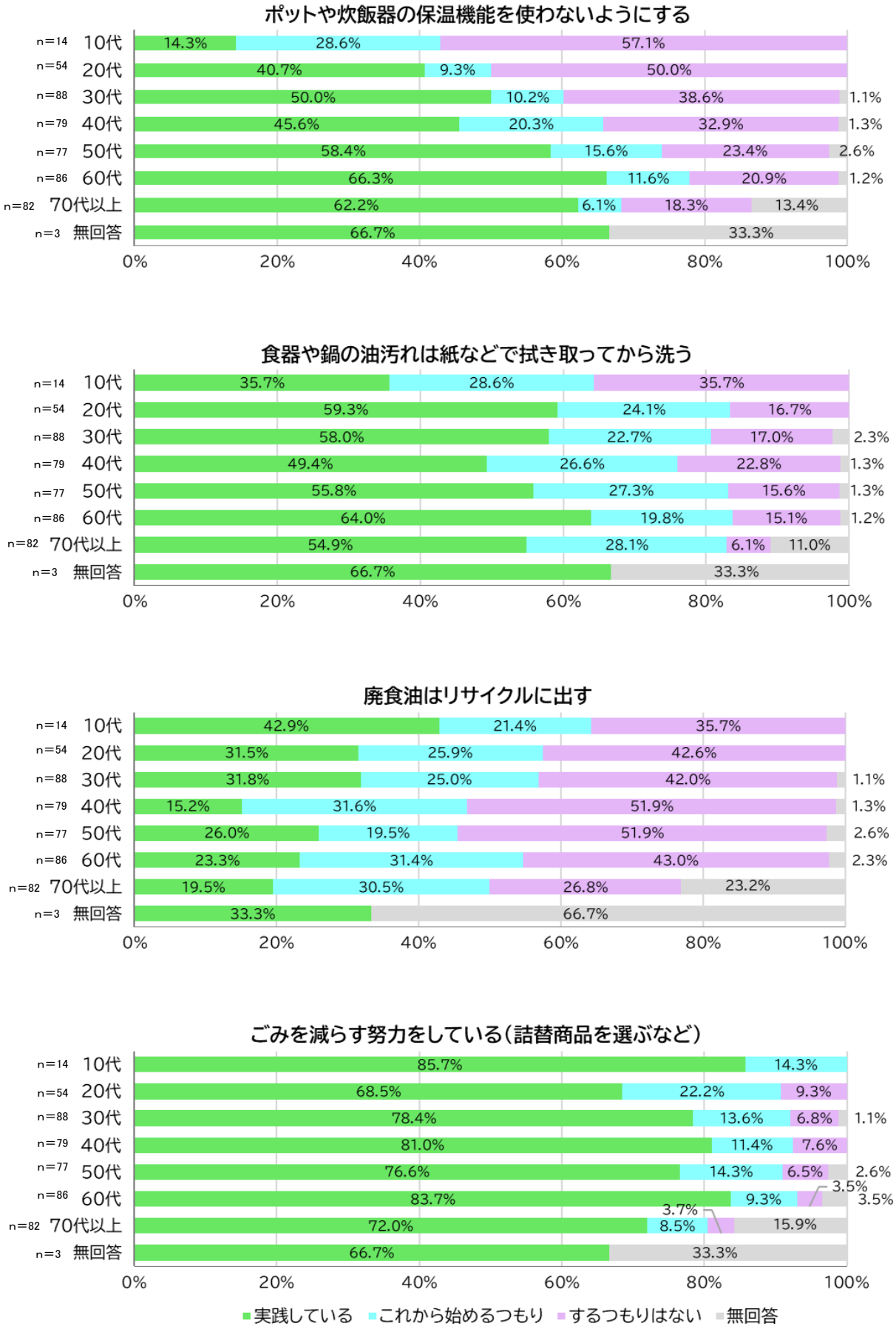


図 2-2　自宅での環境配慮の取組について（年代別）　6/7

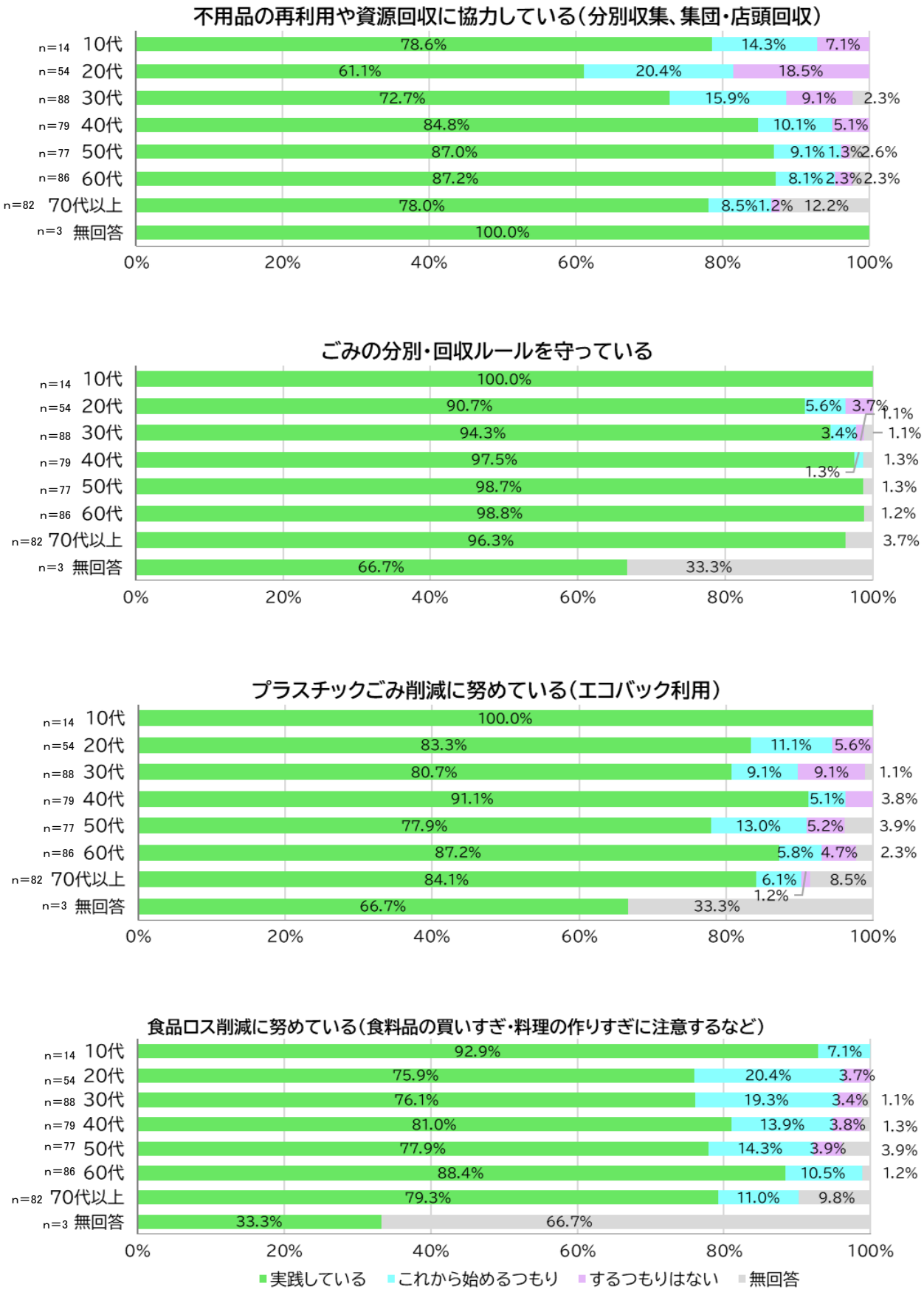


図 2-2　自宅での環境配慮の取組について（年代別）　7/7

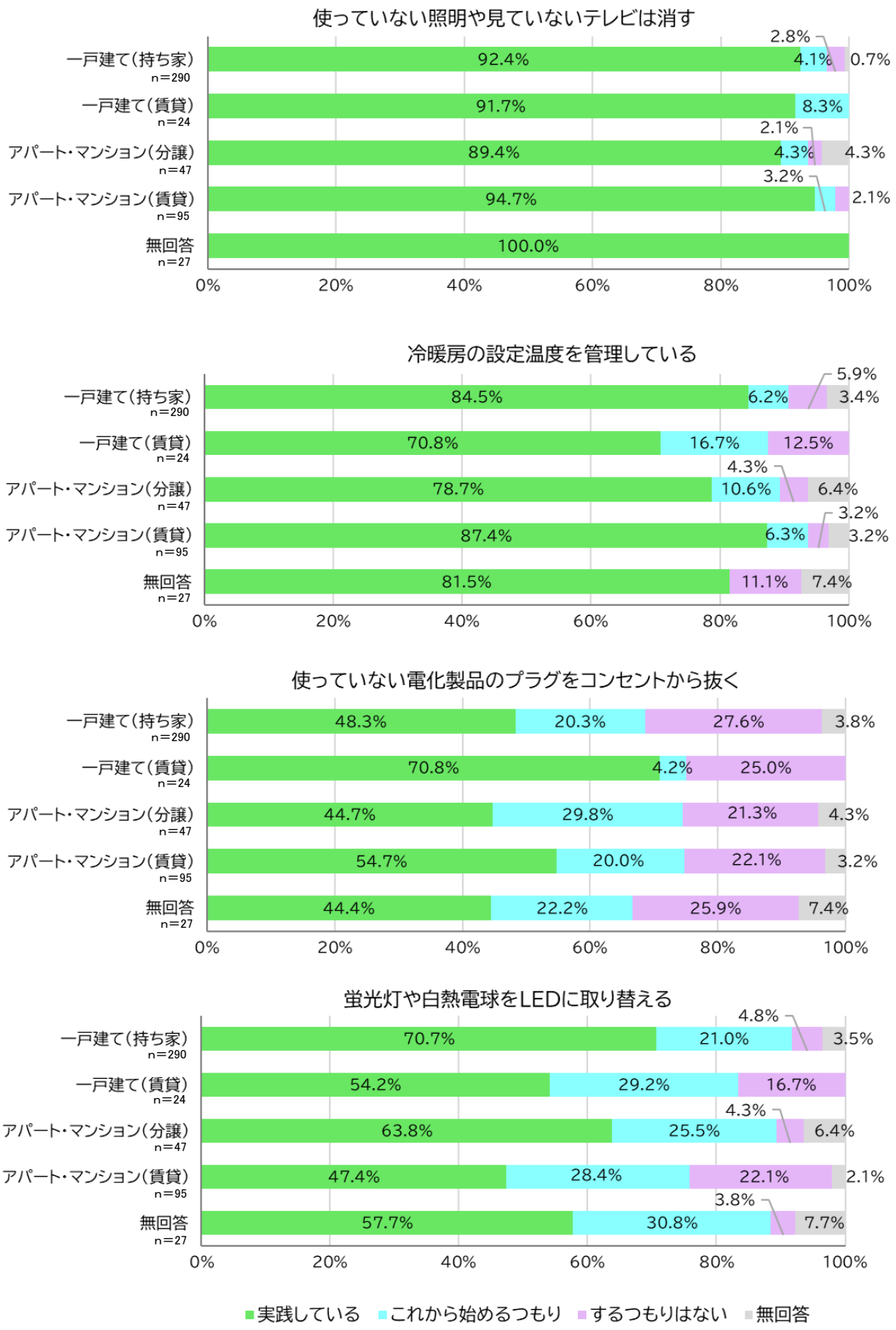


図 2-3　自宅での環境配慮の取組について(居住形態別)　1/7

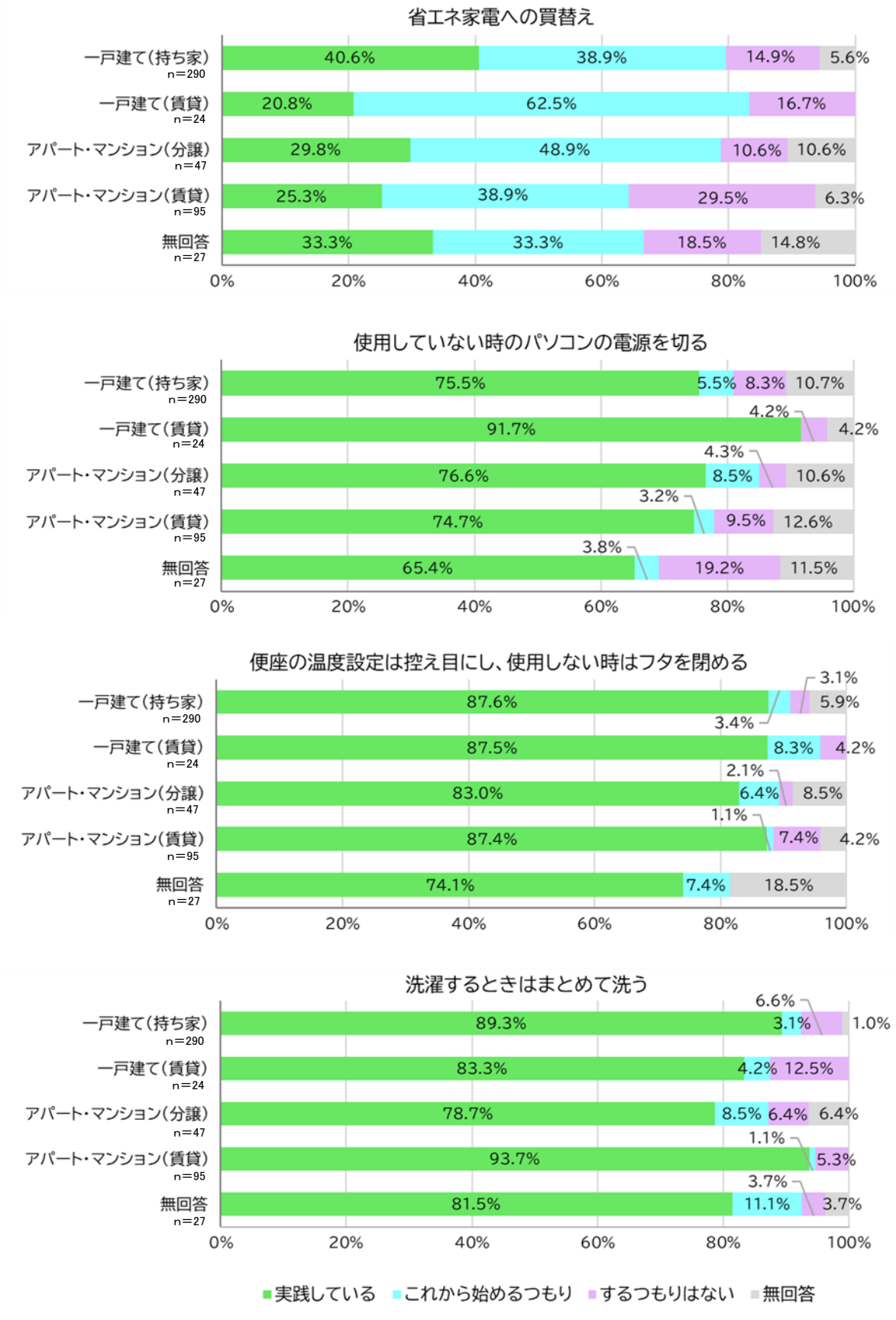


図 2-3 自宅での環境配慮の取組について(居住形態別) 2/7

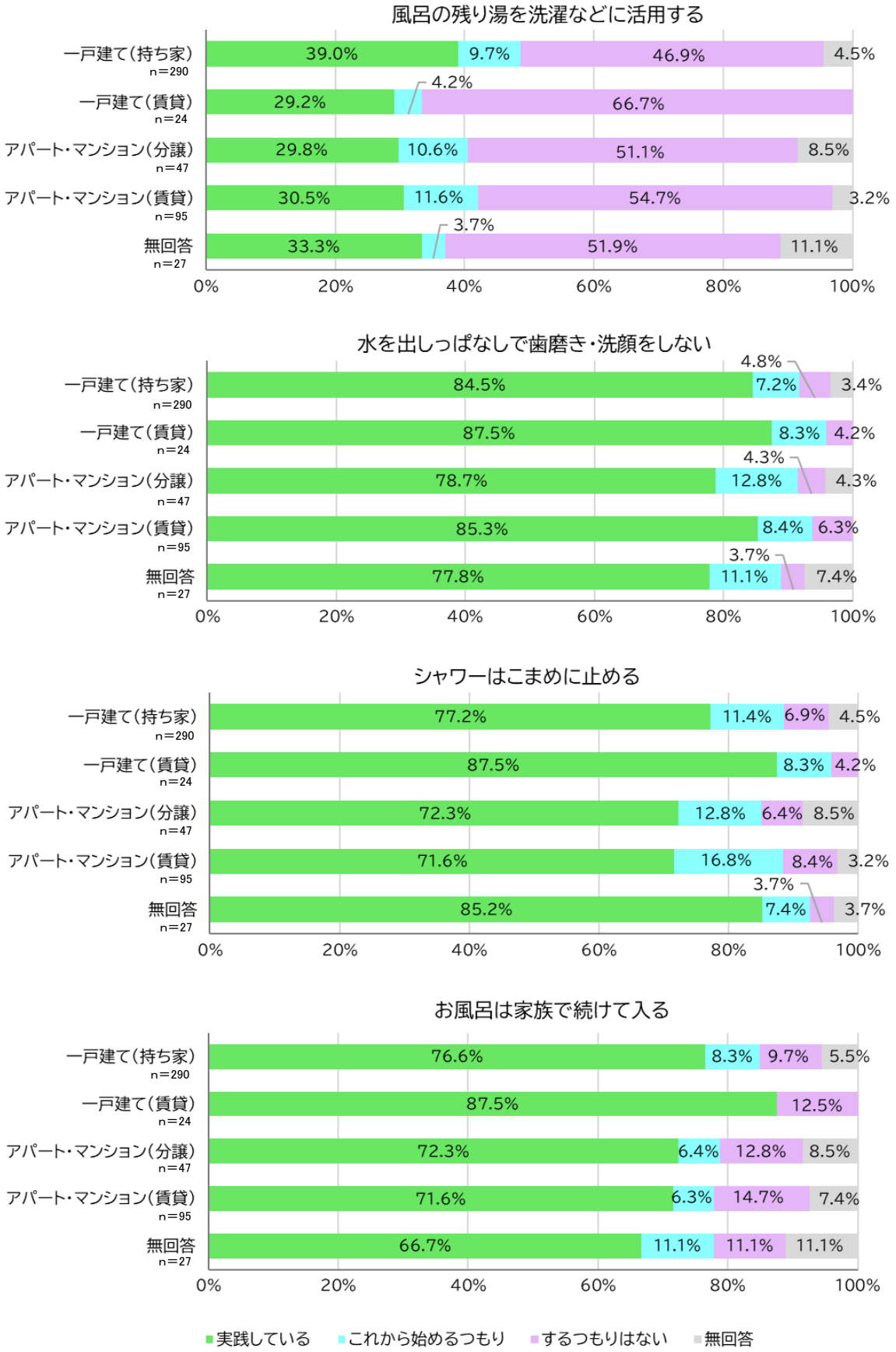


図 2-3　自宅での環境配慮の取組について(居住形態別)　3/7

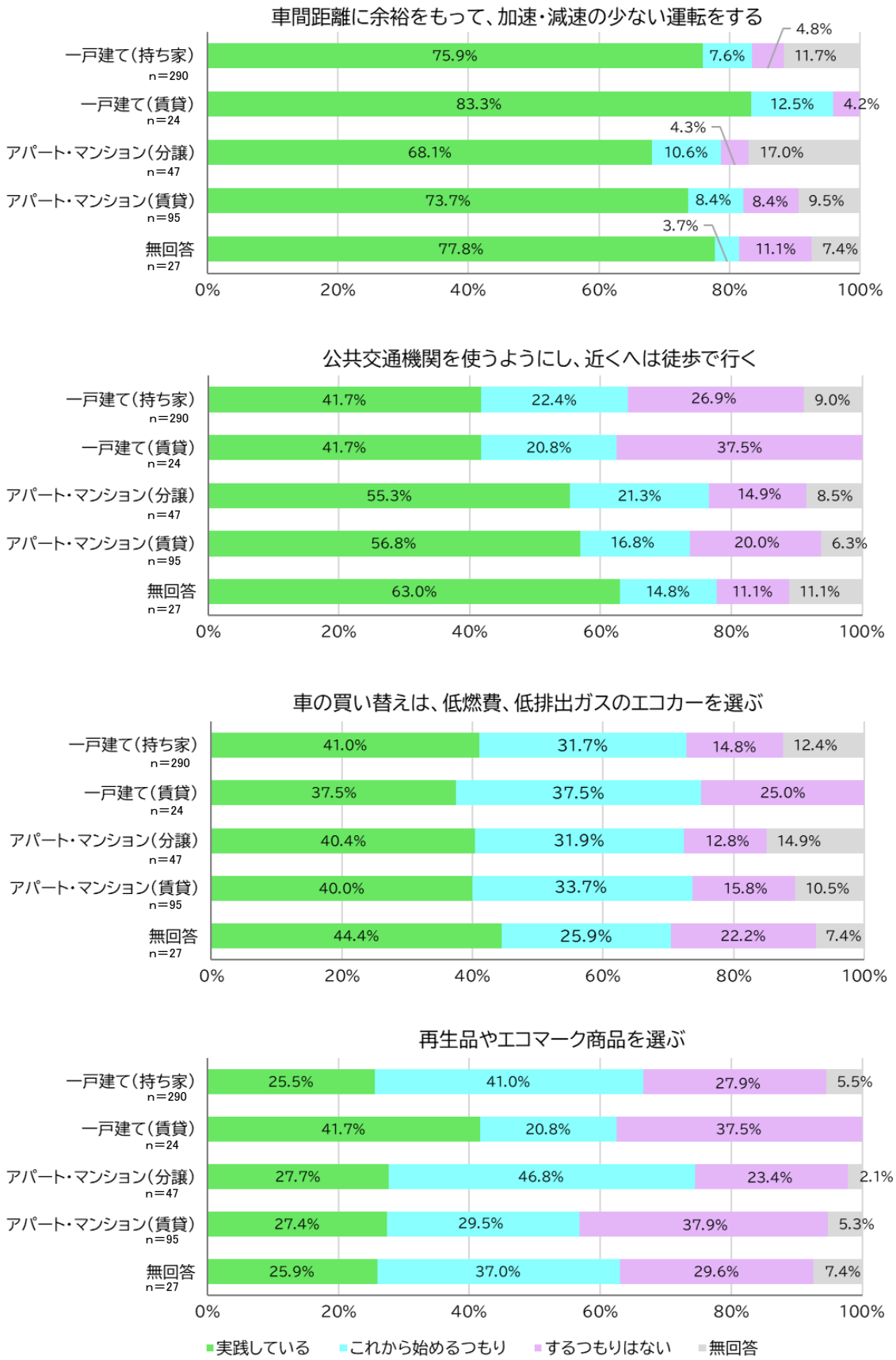


図 2-3 自宅での環境配慮の取組について(居住形態別) 4/7

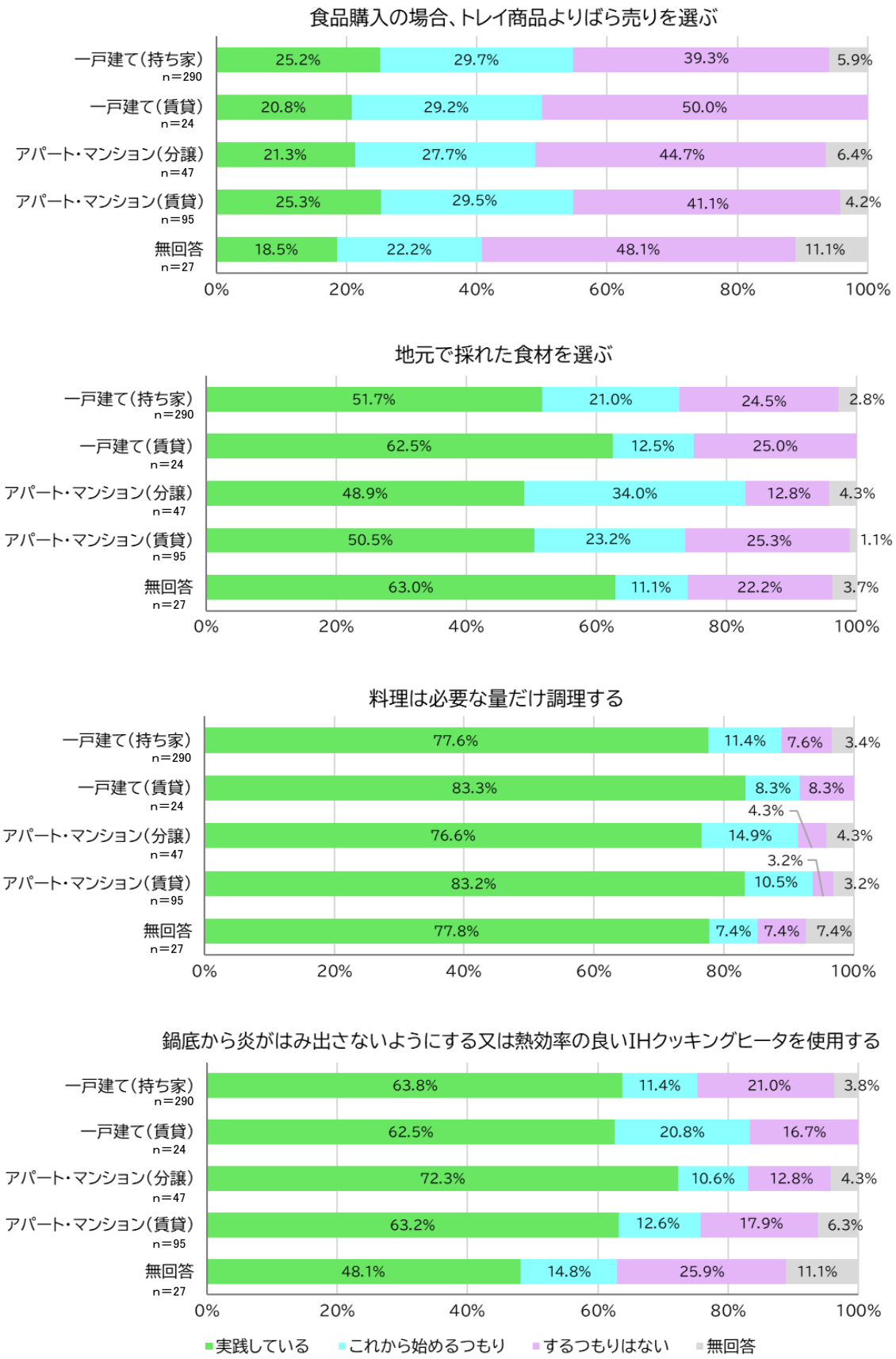


図 2-3　自宅での環境配慮の取組について(居住形態別)　5/7

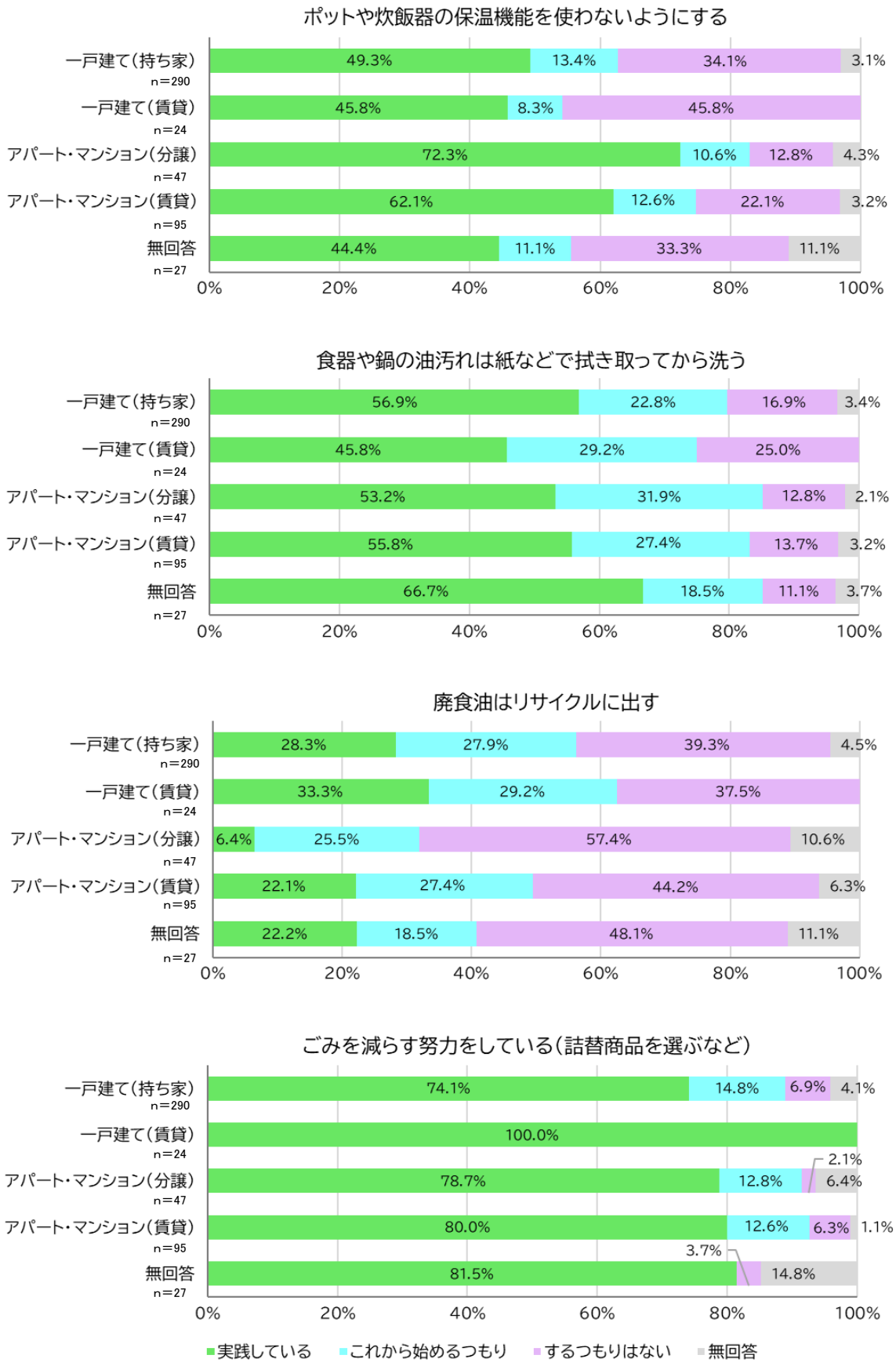


図 2-3 自宅での環境配慮の取組について(居住形態別) 6/7

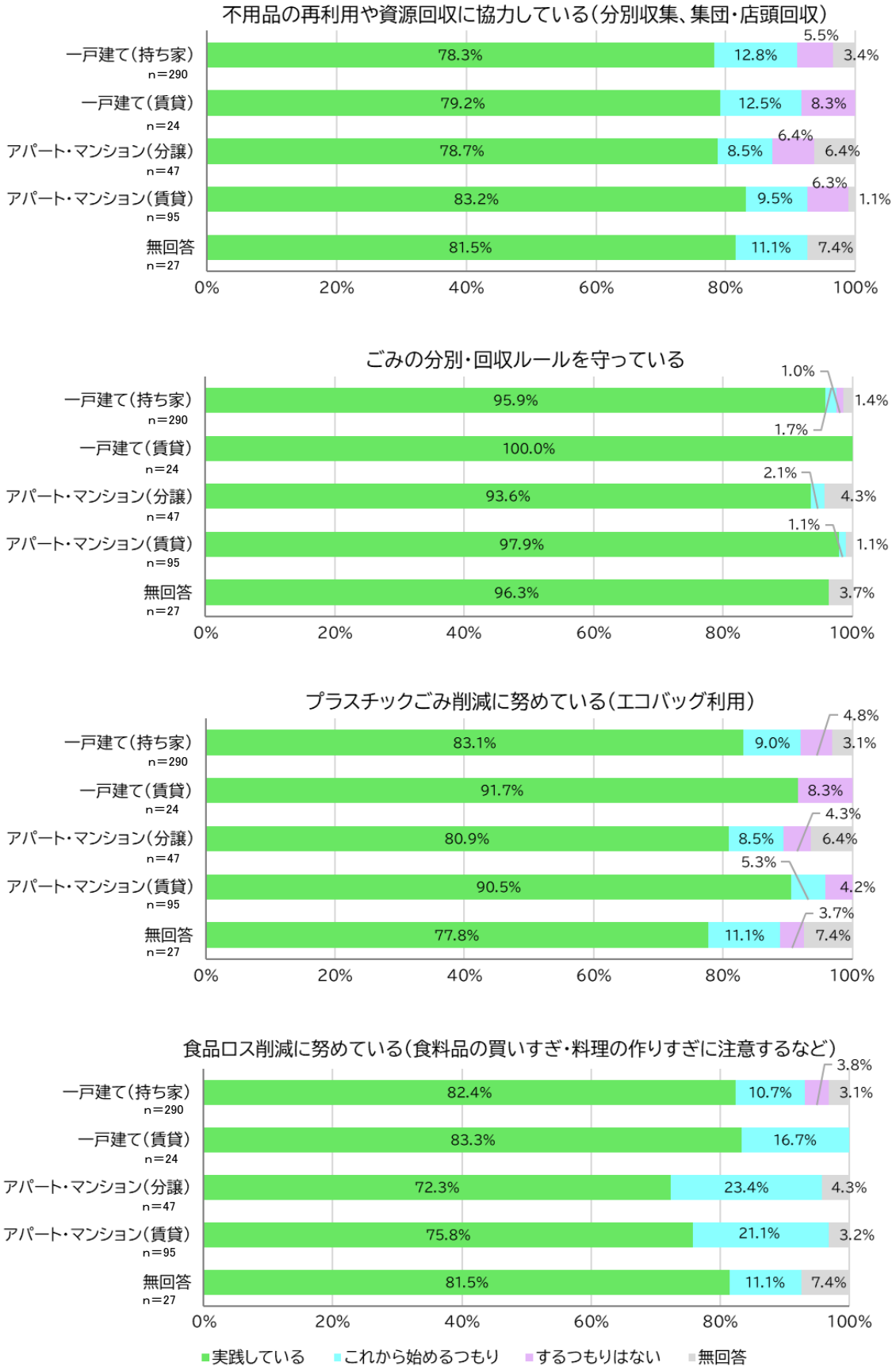


図 2-3　自宅での環境配慮の取組について(居住形態別)　7/7

＜問 3＞　自宅で利用しているエネルギーについて

① 平成 28 年（2016 年）4 月から電力の小売全面自由化となり、一般家庭でも電気の契約先を選ぶことができるようになりました。あなたは自宅で利用する電力の契約会社を変更しましたか。当てはまる番号を１つ選び、○をつけてください。

① 電力の契約会社を変更したと回答した方は、全体（n＝483）のうちの 35.0%（169）という結果となっている。

	回答者数	割合
変更した	169	35.0%
変更していない	314	65.0%
無回答	0	0%
合計	483	100%

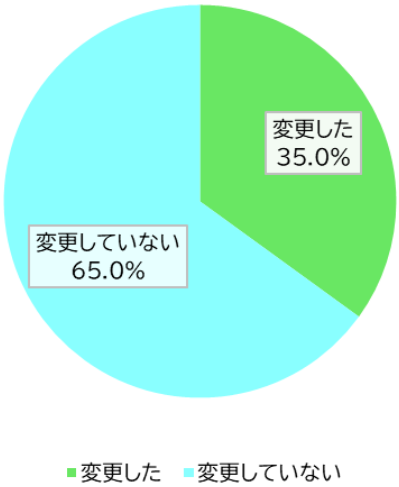


図 3-1　電力の契約会社の変更について（全体）

＜問 3＞　自宅で利用しているエネルギーについて

② Q4 の①で「１　変更した」を選んだ方におたずねします。電力会社を選ぶときに重視した点として、次の中から最も当てはまる番号を１つ選び、○をつけてください。

② 電力会社を変更した方が重視した点は、「電気代を少しでも安くしたかった」が最も高く 63.3%、次いで「各種の割引サービス、ポイント付加」が 24.9%、他は 4%以下となっている。

電力会社選定の際に重視した点	回答者数	割合
電気代を少しでも安くしたかった	107	63.3%
各種の割引サービス、ポイント付加	42	24.9%
再生可能エネルギーで発電を行うなど環境へ配慮している企業だから	3	1.8%
道内企業だから	2	1.2%
特にない	6	3.6%
その他	6	3.6%
無回答	3	1.8%
合計	169	100%

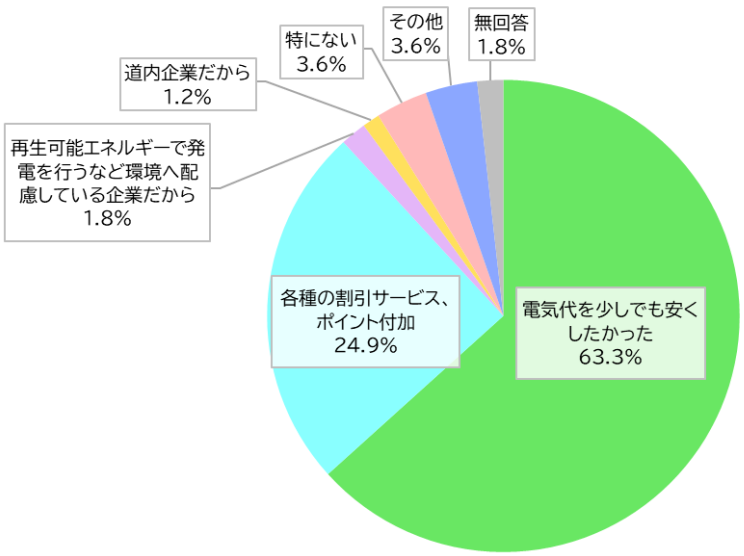


図 3-2　電力会社を選ぶ際に重視した点（全体）

● 「その他」の回答

・入居の時に、ここの物件は○○(社名)を選ぶ人が多いと言われたため。
・勤務先だったから。
・灯油を使っている会社なのとアフターサービスがとても良い会社なので。
・オールガスにしたため、ガス会社にせざるを得なかった。
・知人からの紹介。

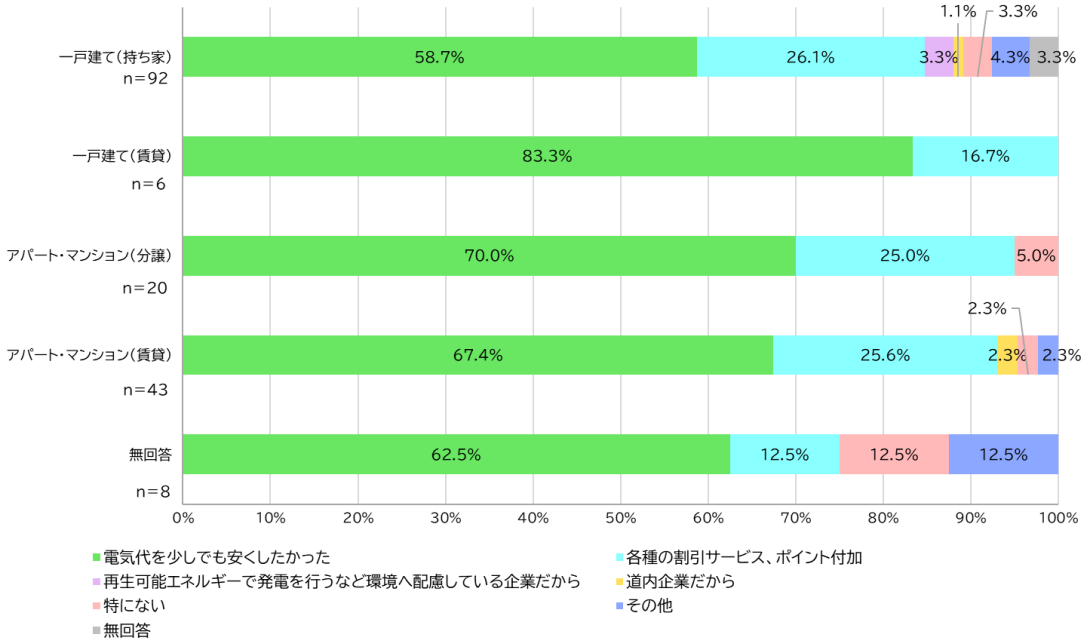


図 3-3　電力会社を選ぶ際に重視した点（居住形態別）

＜問 3＞　自宅で利用しているエネルギーについて

③ ①で「２　変更していない」を選んだ方におたずねします。変更しなかった理由として次の中から当てはまる番号を１つ選び、○をつけてください。

③ 電力会社を変更しなかった理由については、「特に理由はない」が 31.2%、次いで「価格面のメリットを感じなかった」21.0%、「契約面の煩わしさ」が 20.7%、次いで「小売電気事業者倒産の不安」が 8.0%と「その他」が 7.6%となっている。

変更していない理由	回答者数	割合
価格面のメリットを感じなかった	66	21.0%
魅力的なサービスがなかった	15	4.8%
契約面の煩わしさ	65	20.7%
信用できる業者がいなかった	17	5.4%
小売電気事業者倒産の不安	25	8.0%
特に理由はない	98	31.2%
その他	24	7.6%
無回答	4	1.3%
合計	314	100%

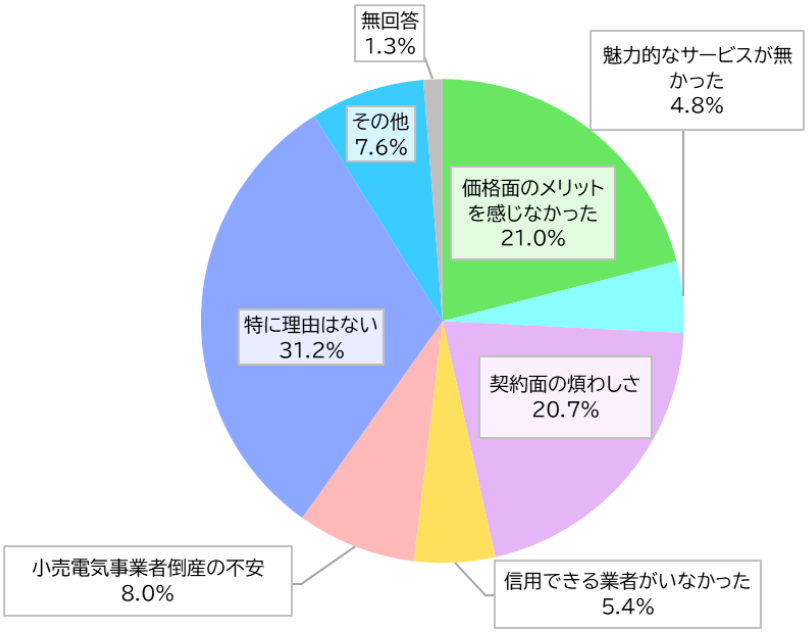


図 3-4　電力会社を変更しなかった理由（全体）

● 「その他」の回答

・指定されていて変更できない。不満。
・変更しなかったではなく、家を建てた時には選べるようになっていた。
・オール電化に対応していないところが多い。
・電気は北電、ガスは北ガス、云われることナシ！
・災害時の復旧は電力会社の方が早いと思うため。
・都市ガスだったので、そのまま北ガスにした。

・分譲マンションで、個人で変更できないと思っているから。
・契約者が会社であるため。
・親が家主。
・マンションだから。
・オール電化のため、変更不可。
・北電の他はオール電化の契約がない。
・電力に限らず、過渡期に切り替え、後々問題が生じたことの経緯から現時点では様子見。慎重に見守っていきたい。
・価格に不安がある。
・1 カ月の電気料金が少ないので、変えなくても同じと思い。
・賃貸で決まっていた。
・団地なので近所の人と同じにした。
・郡部への引っ越しが多いため大手しか選べない。
・料金プランを変更した。
・賃貸、オール電化で変更できない。
・引越しをしたばかりなので。
・忙しく他の事業者を選定する時間がなかった。
・めんどう。
・賃貸のため。

・自宅の電力契約会社を変更した人は 35%。ほとんどの人は未変更である。
・変更しない理由は、「特に理由なし」が 31.2%、「価格面のメリットなし」が 21.0%、「契約の煩わしさ」が 20.7%となっており、電力会社を変更してまでメリットは無いと判断されている傾向がある。

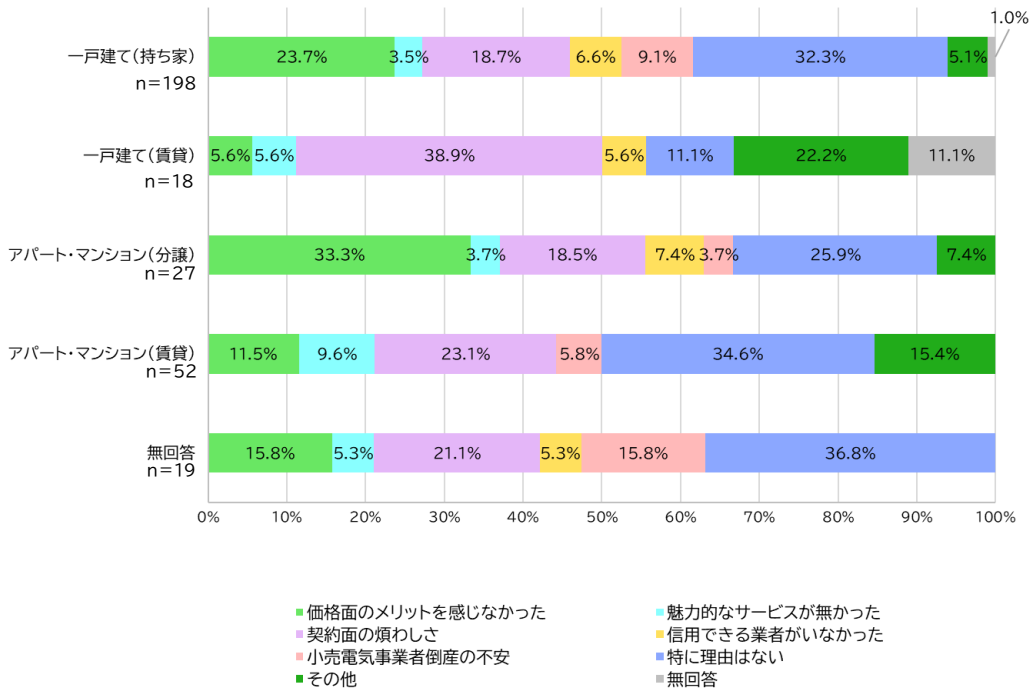


図 3-5 電力会社を変更しなかった理由（居住形態別）

＜問 4＞　自宅の省エネ化状況について

お住まいの省エネ化状況についておたずねします。<u>各設問の 6 つの中から番号を 1 つ選び</u>、○をつけてください。

省エネ化状況について、「既に導入している」と回答した割合が高かった設備は、「LED（発光ダイオード）照明の使用」が 66.3%と最も多く、次いで、「二重サッシなど住まいの高断熱化・高気密化」59.4%となっている。「高効率給湯器」も 15.1%あったが、「太陽光発電施設」や「家庭用燃料電池」を設置している人は極わずかであった。

・LED 設置はどの家庭でも取り組みやすい省エネ化であることが確認された。
・「設置したいが値段が高く難しい」と回答した割合が高い「太陽光発電施設」、「家庭用燃料電池」、「高効率給湯器」については、各種補助制度の拡充や PPA モデル等の情報提供を図る必要があると考えられる。

質問項目	LED（発光ダイオード）照明の使用		二重サッシなど住まいの高断熱化・高気密化		太陽光発電施設		家庭用燃料電池（エネファーム）		高効率給湯器（エコキュートやエコジョーズなど）	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
既に設置している	320	66.3%	287	59.4%	13	2.7%	12	2.5%	73	15.1%
設置を検討している	66	13.7%	16	3.3%	4	0.8%	13	2.7%	23	4.8%
設置したいが値段が高く難しい	39	8.1%	62	12.8%	157	32.5%	106	21.9%	105	21.7%
必要ない	10	2.1%	22	4.6%	142	29.4%	112	23.2%	71	14.7%
わからない	33	6.8%	34	7.0%	53	11.0%	139	28.8%	122	25.3%
設置したいが、賃貸や集合住宅なのでできない	0	0.0%	52	10.8%	100	20.7%	85	17.6%	74	15.3%
無回答	15	3.1%	10	2.1%	14	2.9%	16	3.3%	15	3.1%
合計	483	100%	483	100%	483	100%	483	100%	483	100%

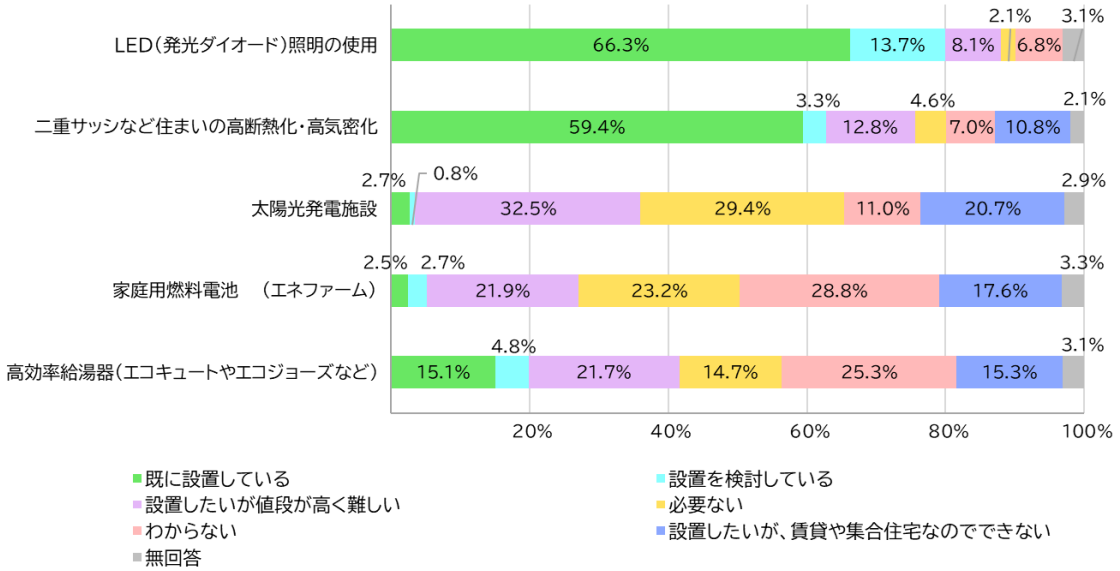


図 4-1　自宅の省エネ化状況について（全体）

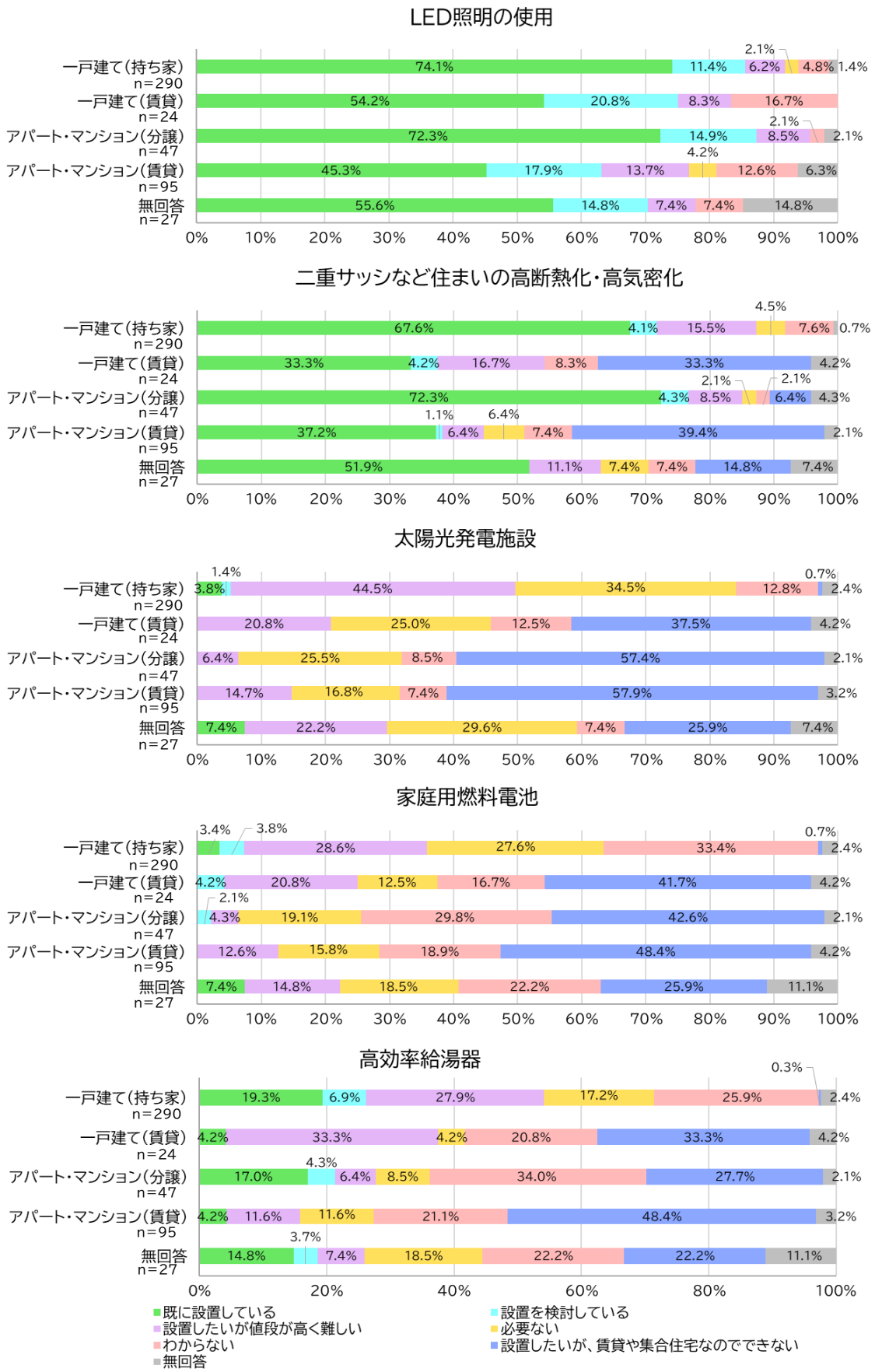


図 4-2　自宅の省エネ化状況について（居住形態別）

＜問 5＞　環境に対する満足度・重要度について

小樽市の環境に関する各分野について、あなたはどのように評価していますか。各設問の「満足度」、「重要度」それぞれ 3 つの中から番号を 1 つずつ選び、○をつけてください。

「川や海など水に恵まれている」、「山や森林など緑が豊かである」、「空気がきれい」などについては、満足度、重要度ともに高く、現状を維持しつつ、さらに取り組むべき項目と考えられる（図 5-1）。

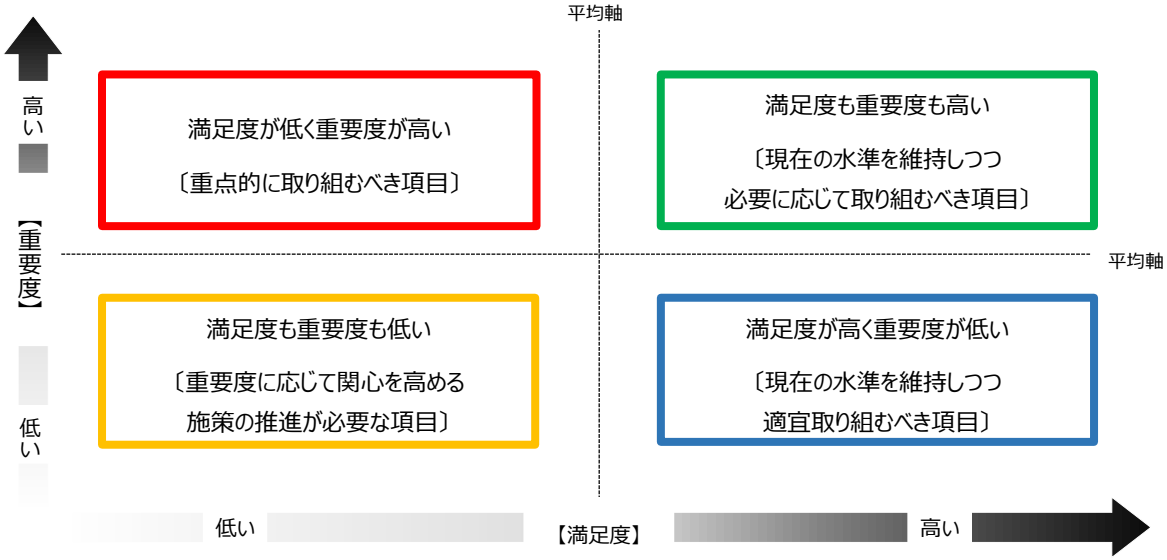
「不法投棄や野焼きを見かけない」、「川や海、運河などの水がきれい」、「ごみの分別などの市民のマナーが良い」などについては、重要度が高いわりに満足度が低く、重点的に取り組むべき項目と考えられる（図 5-1）。

前回のアンケート調査との満足度における結果比較では、全体的に「満足度」が向上している結果となった。特に「たくさんの種類の動植物がみられる」などの項目では「満足している」の回答が大きく増えた。また、「太陽光発電などが普及している」の項目では、前回の調査では「不満である」と回答した割合が半数を超えていたが、今回の調査では 3 割程度となり、再エネ導入についての不満が改善されていることがわかった（図 5-2）。

表 5-1　環境に対する満足度・重要度

	項目	満足度	重要度
1	山や森林など緑が豊かである	0.57	0.70
2	川や海など水に恵まれている	0.72	0.73
3	たくさんの種類の動植物がみられる	0.28	0.40
4	自然と触れ合える場や機会が多い	0.26	0.52
5	川や海、運河などの水がきれい	-0.02	0.70
6	空気がきれい	0.42	0.77
7	騒音・振動が気にならない	0.17	0.61
8	悪臭が気にならない	0.30	0.65
9	ごみ分別などの市民のマナーが良い	-0.02	0.69
10	まちに公園や街路樹など緑が多い	0.16	0.55
11	水と親しめる場所がある	0.07	0.42
12	郷土の歴史的文化遺産が残されている	0.48	0.61
13	街並み・景観が整っている	0.21	0.59
14	家庭や職場のごみの量が減っている	-0.01	0.52
15	ごみの分別や出し方が守られている	0.09	0.65
16	リサイクルが積極的に行われている	0.07	0.55
17	不法投棄や野焼きを見かけない	0.09	0.73
18	節電、省エネなどに取り組んでいる	0.15	0.55
19	太陽光発電などが普及している	-0.31	0.31
20	食品ロス・プラスチックごみ問題	-0.14	0.55
21	環境について学ぶ場や機会がある	-0.25	0.33
22	環境に関する情報・資料が手に入る	-0.22	0.31
23	環境に関する催しやイベントがある	-0.27	0.28
24	地域で環境美化などに取り組んでいる	-0.17	0.37

※【満足度・重要度のスコア化の定義】
満足度：「満足している」＝+1、「普通である」＝0、「不満である」＝-1、「無回答」カウントしない
重要度：「重要である」＝+1、「普通である」＝0、「重要でない」＝-1、「無回答」カウントしない



【ポートフォリオ分析】
「満足度」、「重要度」のスコアの平均値を基準として 4 つの領域に区分し、満足度と重要度の高低を位置付けることで、より良い方向へと向かうべき項目を明確にする。

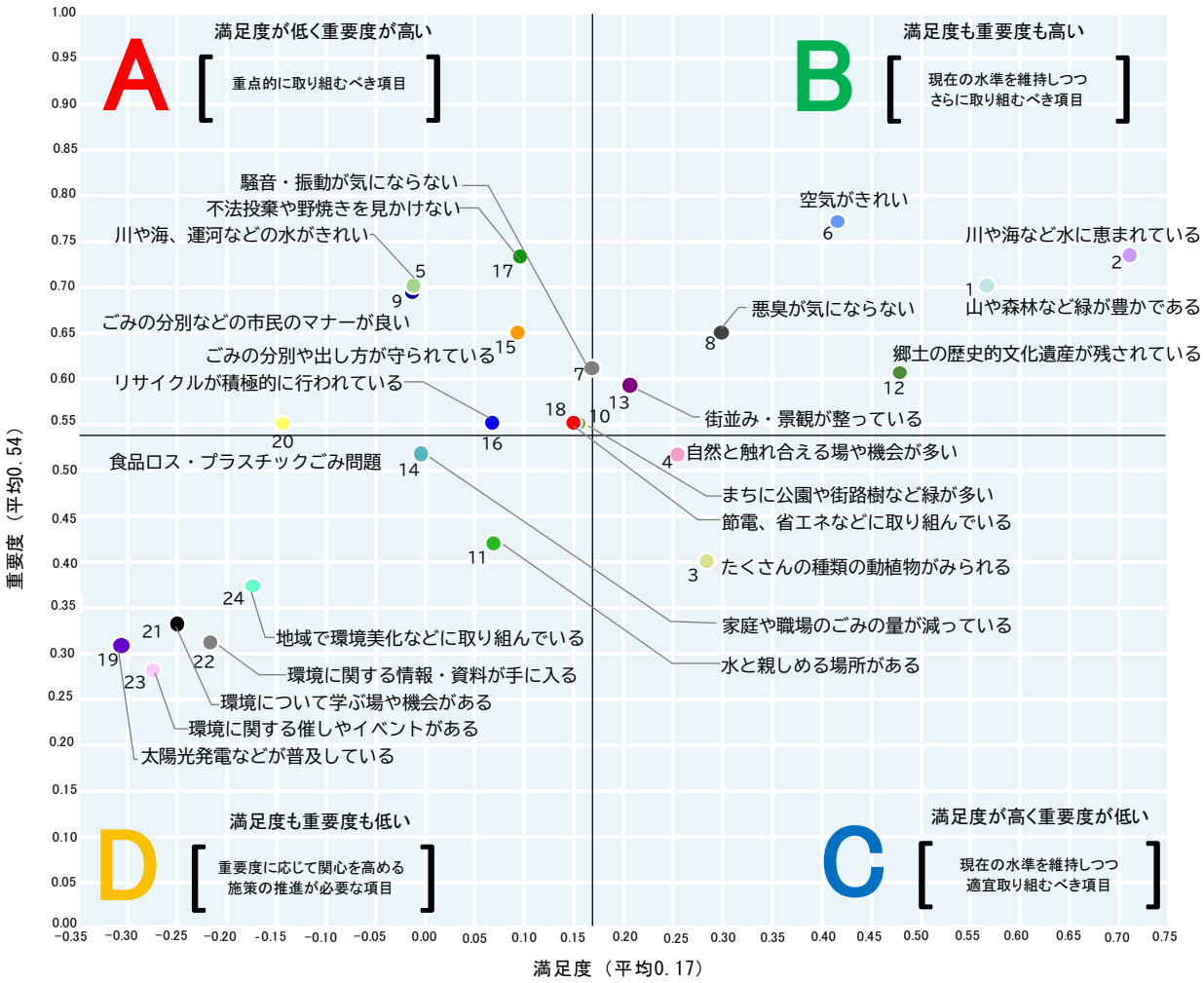


図 5-1　環境に対する満足度・重要度

表 5-2 環境に対する満足度・重要度順位

満足度順

項目	満足度
２.川や海など水に恵まれている	0.72
１.山や森林など緑が豊かである	0.57
12.郷土の歴史的文化遺産が残されている	0.48
６.空気がきれい	0.42
８.悪臭が気にならない	0.30
３.たくさんの種類の動植物がみられる	0.28
４.自然と触れ合える場や機会が多い	0.26
13.街並み・景観が整っている	0.21
７.騒音・振動が気にならない	0.17
10.まちに公園や街路樹など緑が多い	0.16
18.節電、省エネなどに取り組んでいる	0.15
15.ごみの分別や出し方が守られている	0.09
17.不法投棄や野焼きを見かけない	0.09
11.水と親しめる場所がある	0.07
16.リサイクルが積極的に行われている	0.07
14.家庭や職場のごみの量が減っている	-0.01
５.川や海、運河などの水がきれい	-0.02
９.ごみ分別などの市民のマナーが良い	-0.02
20.食品ロス・プラスチックごみ問題	-0.14
24.地域で環境美化などに取り組んでいる	-0.17
22.環境に関する情報・資料が手に入る	-0.22
21.環境について学ぶ場や機会がある	-0.25
23.環境に関する催しやイベントがある	-0.27
19.太陽光発電などが普及している	-0.31

重要度順

項目	重要度
６.空気がきれい	0.77
２.川や海など水に恵まれている	0.73
17.不法投棄や野焼きを見かけない	0.73
１.山や森林など緑が豊かである	0.70
５.川や海、運河などの水がきれい	0.70
９.ごみ分別などの市民のマナーが良い	0.69
８.悪臭が気にならない	0.65
15.ごみの分別や出し方が守られている	0.65
７.騒音・振動が気にならない	0.61
12.郷土の歴史的文化遺産が残されている	0.61
13.街並み・景観が整っている	0.59
10.まちに公園や街路樹など緑が多い	0.55
16.リサイクルが積極的に行われている	0.55
18.節電、省エネなどに取り組んでいる	0.55
20.食品ロス・プラスチックごみ問題	0.55
４.自然と触れ合える場や機会が多い	0.52
14.家庭や職場のごみの量が減っている	0.52
11.水と親しめる場所がある	0.42
３.たくさんの種類の動植物がみられる	0.40
24.地域で環境美化などに取り組んでいる	0.37
21.環境について学ぶ場や機会がある	0.33
19.太陽光発電などが普及している	0.31
22.環境に関する情報・資料が手に入る	0.31
23.環境に関する催しやイベントがある	0.28

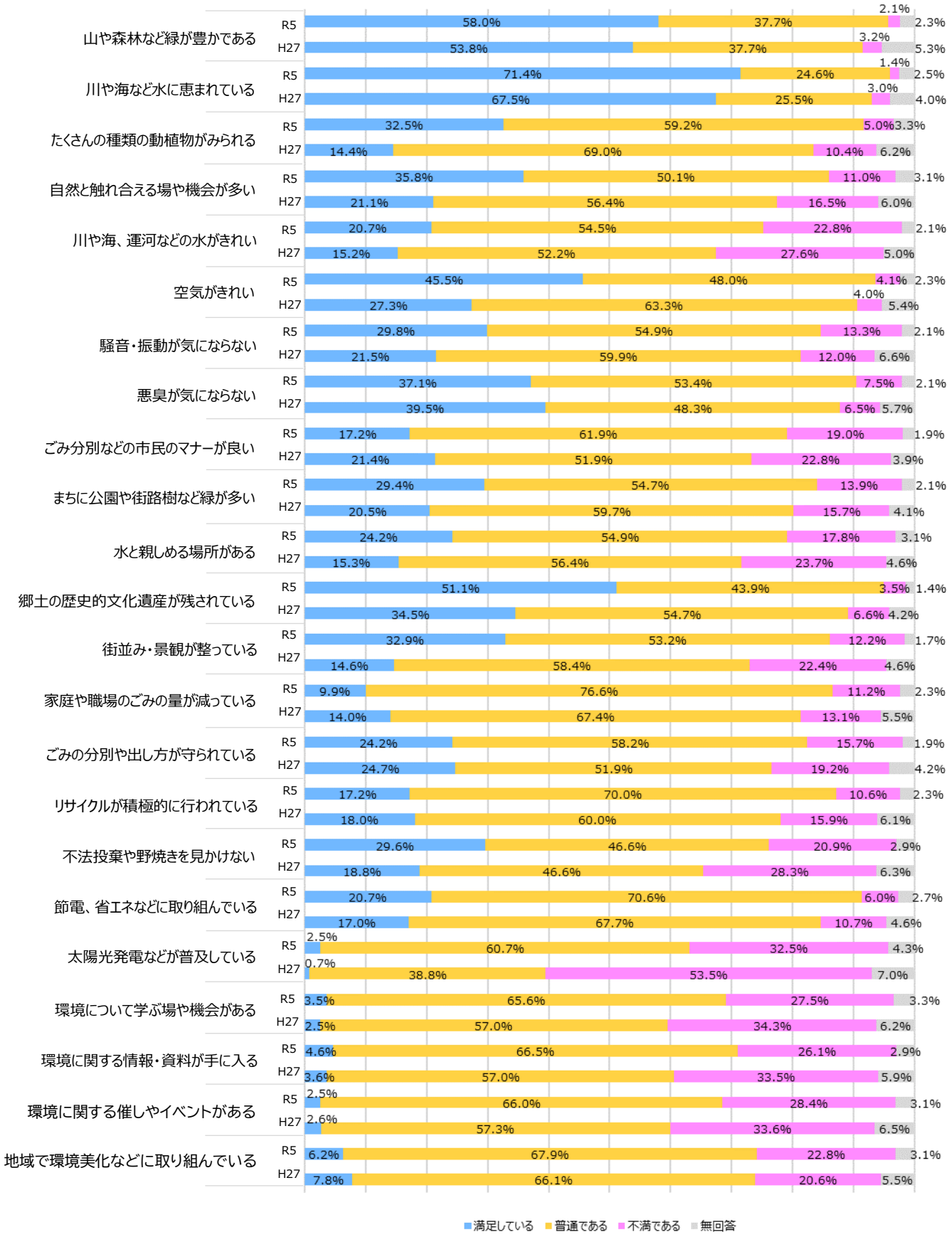


図 5-2　前回アンケートとの結果比較（満足度）

＜問 6＞　行政が取り組む環境施策について

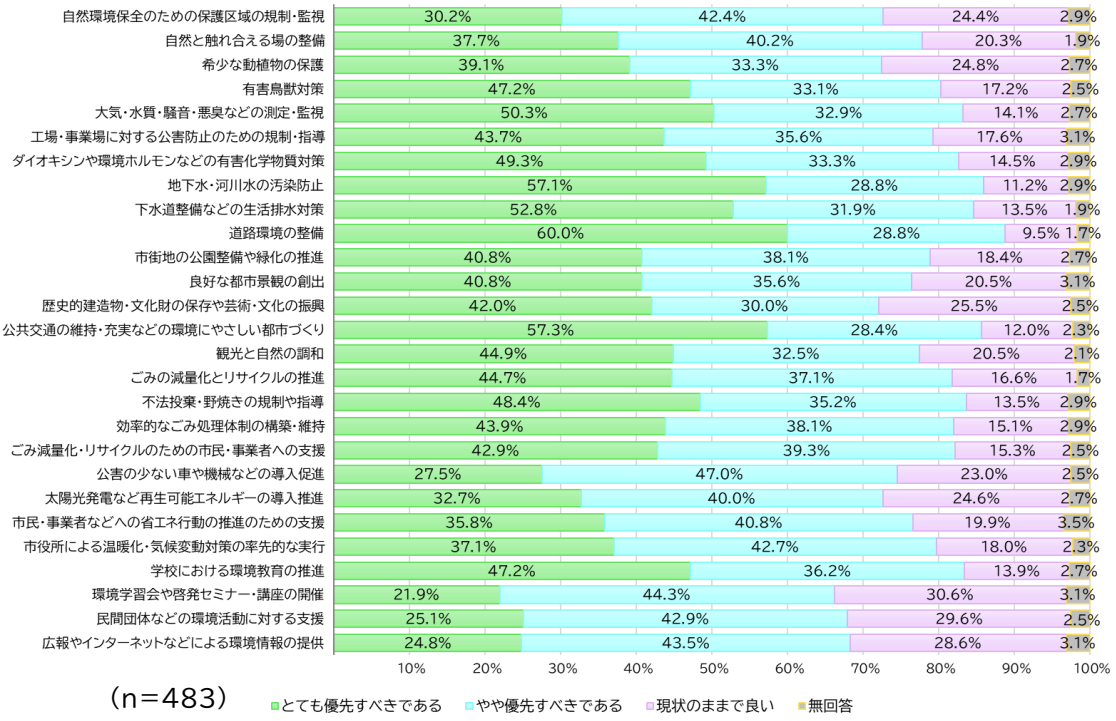
より良い環境づくりのために行政が取り組む各施策について、あなたはどの程度優先すべきだと思いますか。各設問の 3 つの中から当てはまる番号を 1 つ選び、○をつけてください。

行政が取り組むべき施策の優先度について、「とても優先すべきである」と回答した項目は「道路環境の整備」が 60.0%と最も高く、次いで「公共交通の維持・充実などの環境にやさしい都市づくり」が 57.3%、「地下水・河川水の汚染防止」が 57.1%、「下水道整備などの生活排水対策」が 52.8%と続いている。「とても優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合わせた回答は、少ないものでも 7 割に迫っている。

一方で「現状のままで良い」とした回答は「環境学習会や啓発セミナー・講座の開催」が 30.6%と最も高く、次いで「民間団体などの環境活動に対する支援」が 29.6%、「広報やインターネットなどによる環境情報の提供」は 28.6%となっている。

「とても優先すべき」＋「やや優先すべき」（各分野で優先希望度が高い項目を掲載）

【自然環境】有害鳥獣対策　80.3%
【生活環境】道路環境の整備　88.8%
【社会環境】公共交通の維持・充実などの環境にやさしい都市づくり　85.7%
【廃棄物・資源循環】不法投棄・野焼きの規制や指導　83.6%
【地球環境】市役所による温暖化・気候変動対策の率先的な実行　79.8%
【環境学習・環境活動】学校における環境教育の推進　83.4%



（n=483）

図 6-1　行政が取り組む環境施策について（全体）

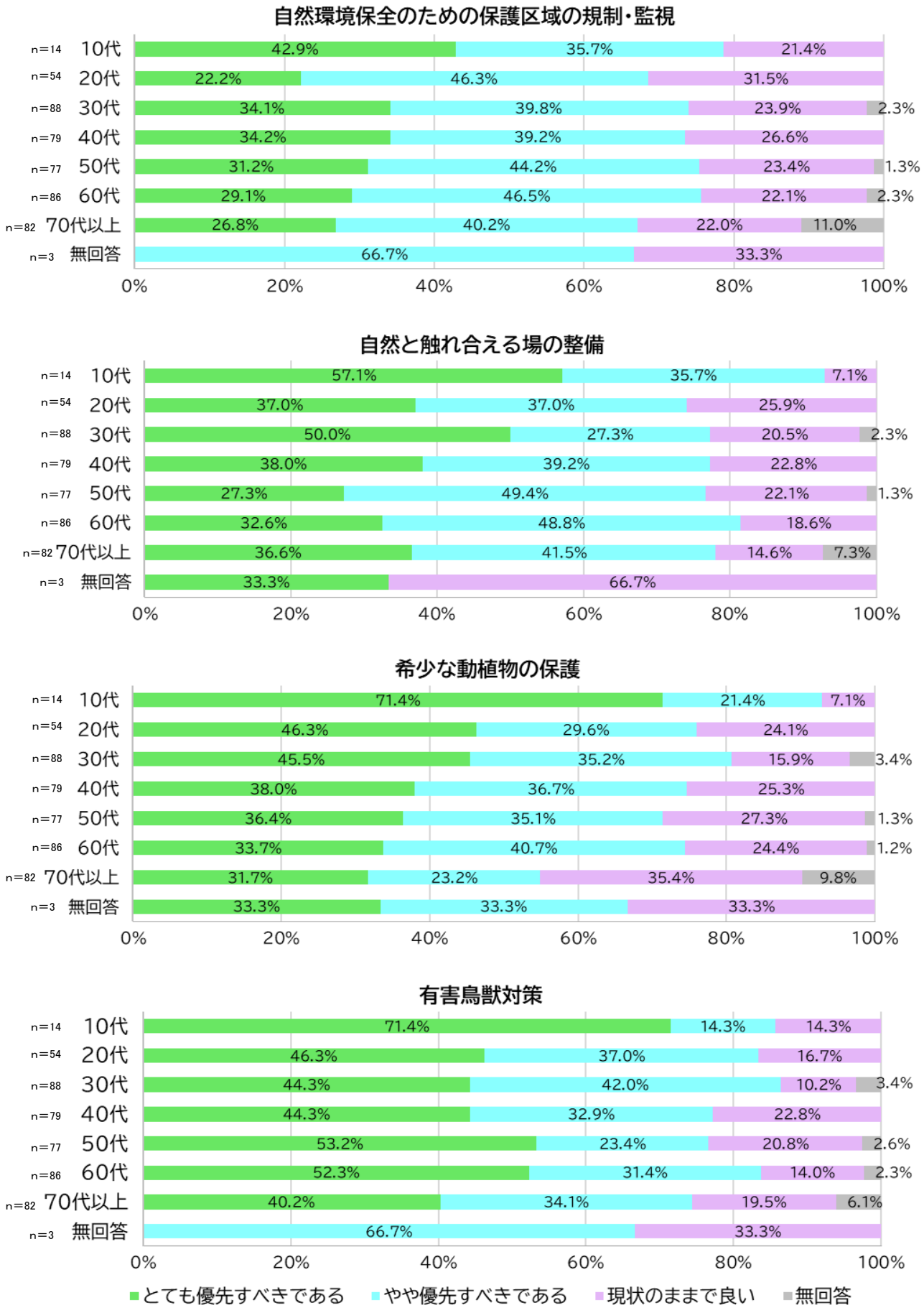


図 6-2 行政が取り組む環境施策について（年代別） 1/7

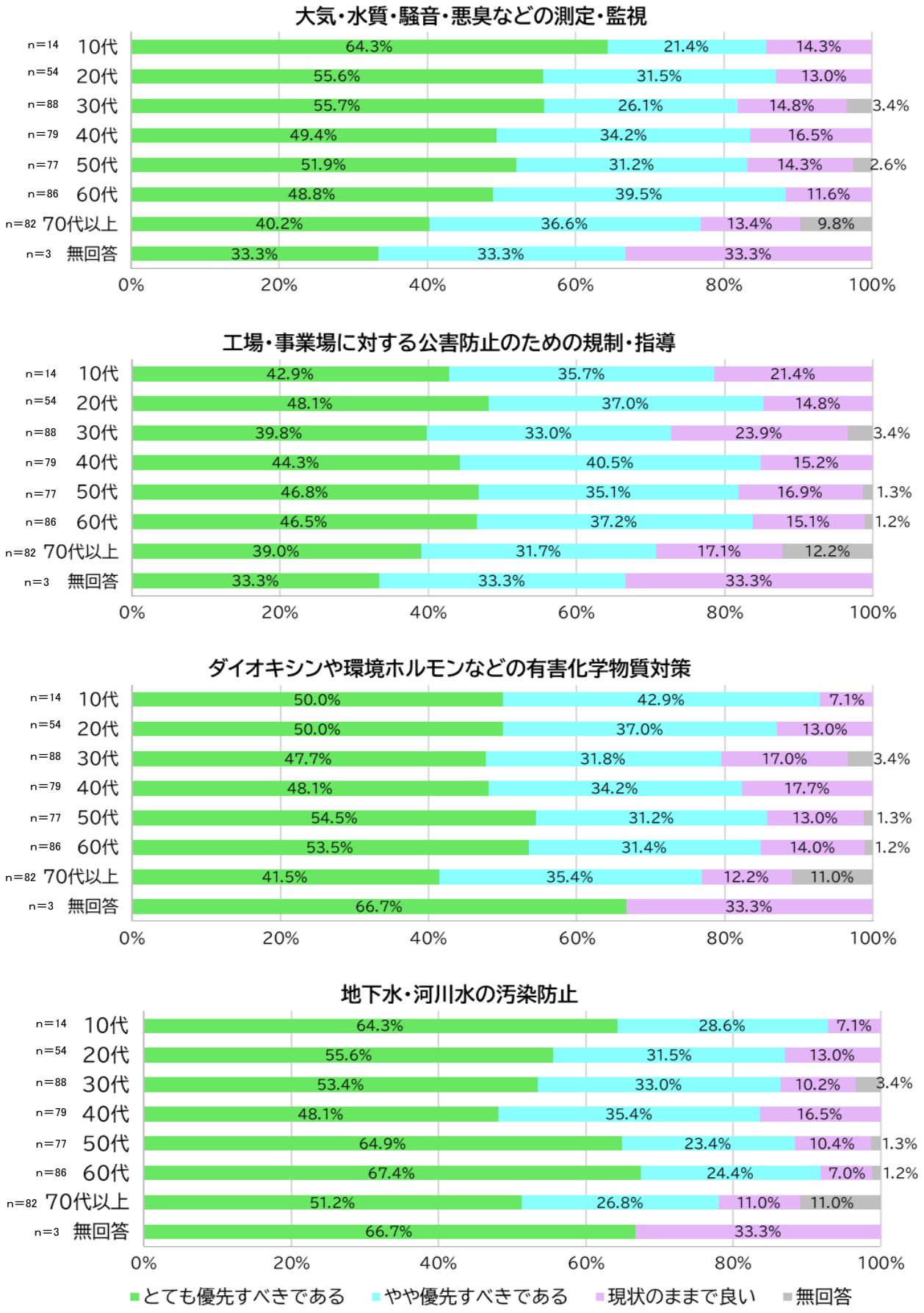


図 6-2 行政が取り組む環境施策について（年代別） 2/7

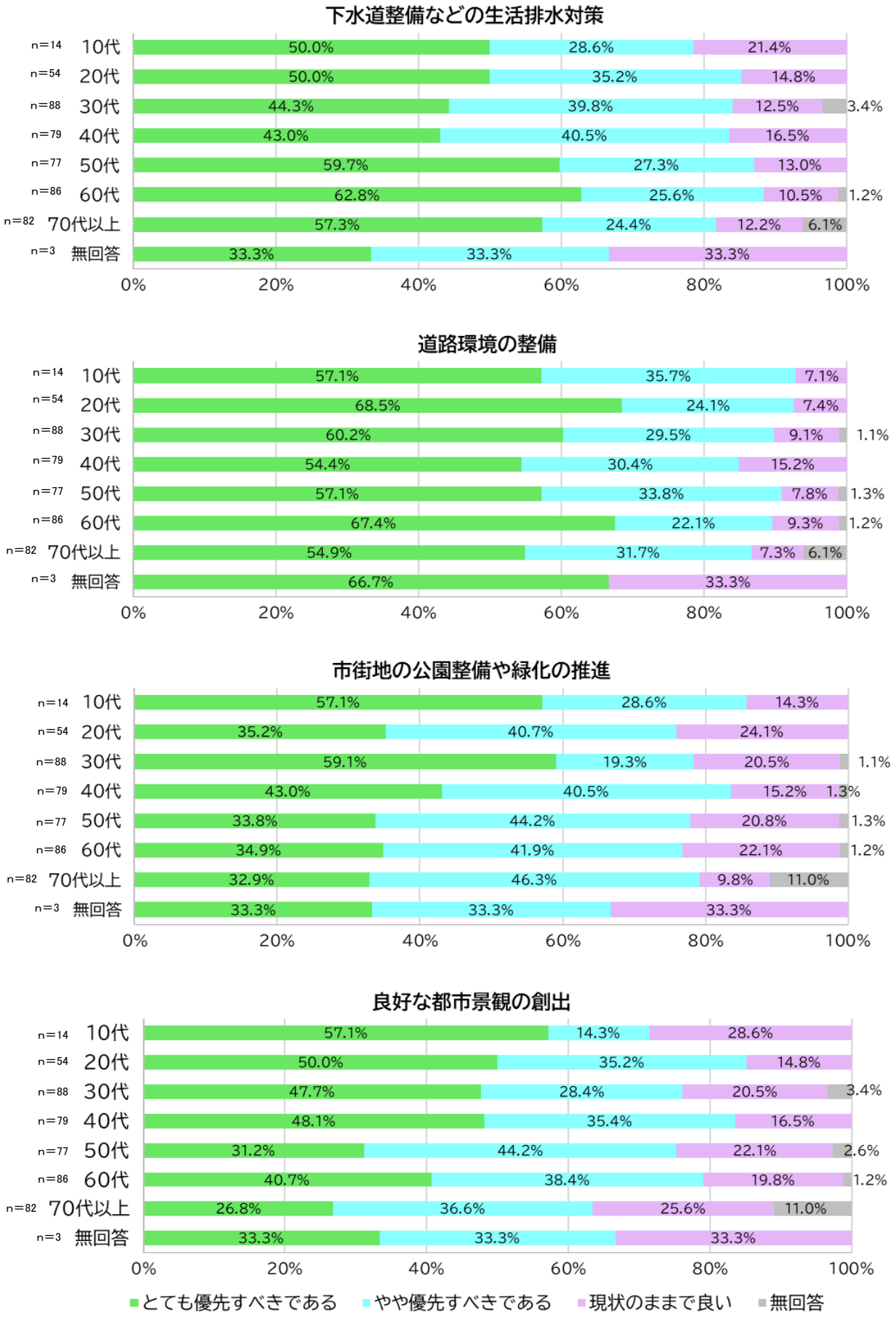


図 6-2　行政が取り組む環境施策について（年代別）　3/7

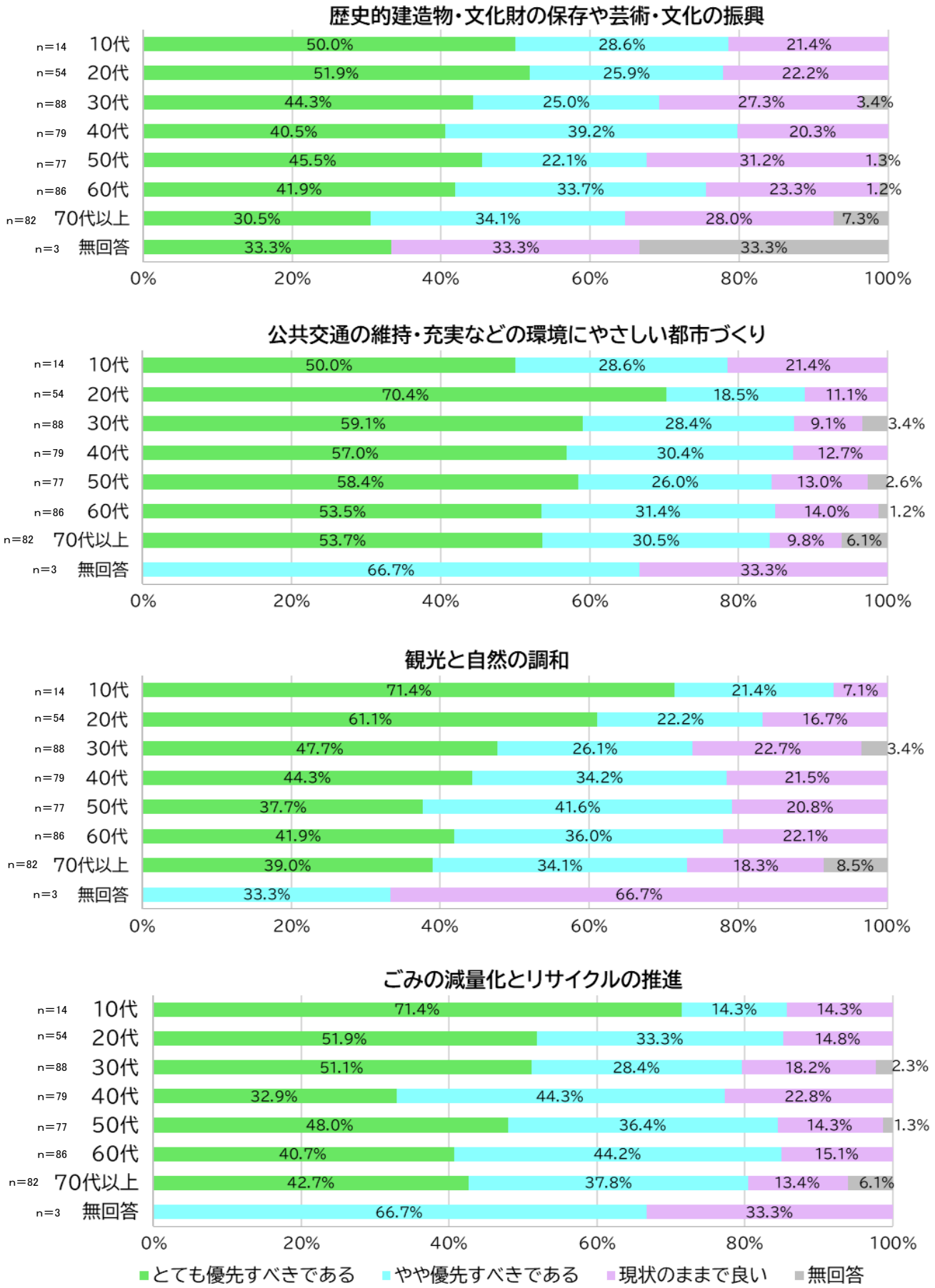


図 6-2 行政が取り組む環境施策について（年代別） 4/7

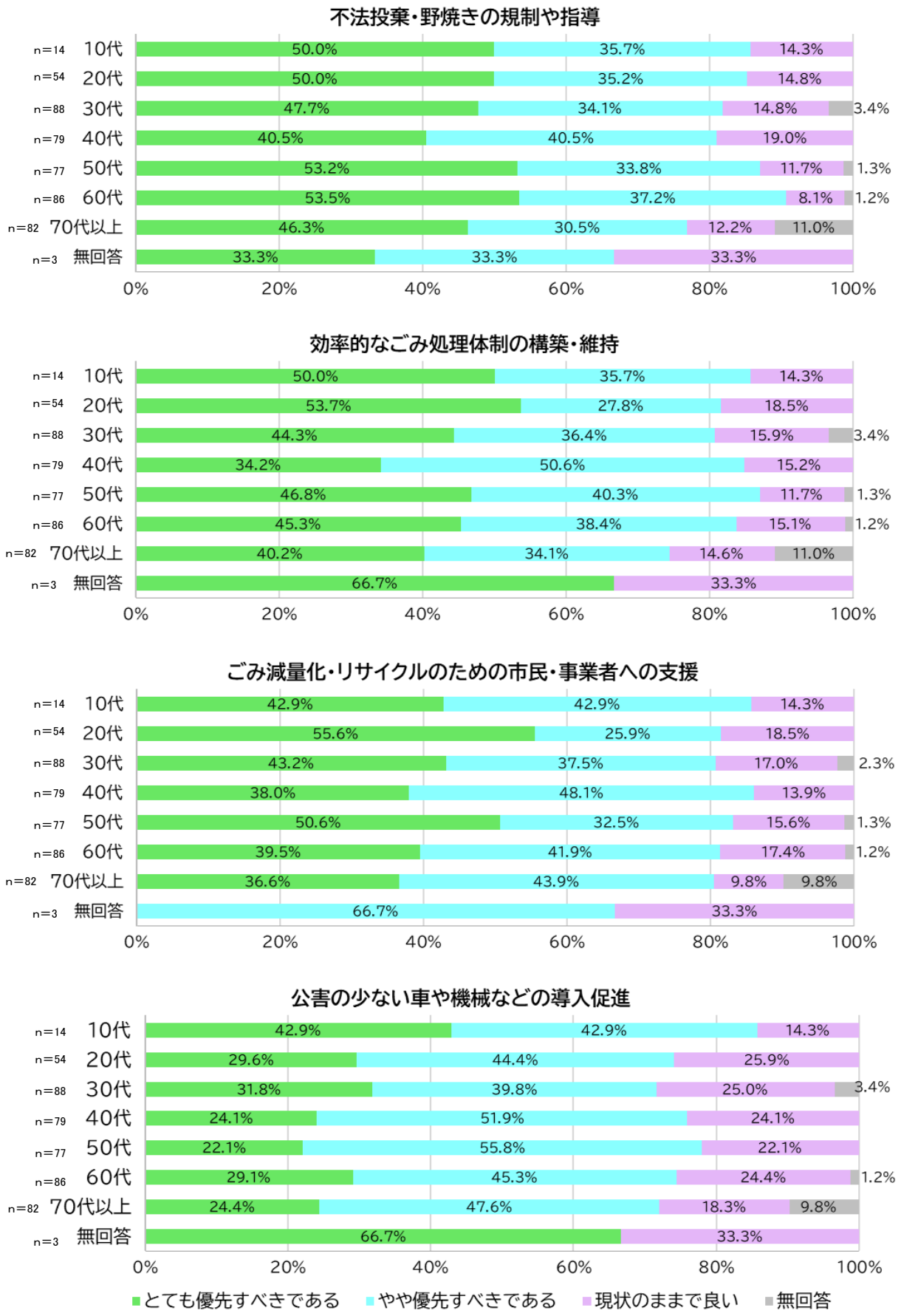


図 6-2 行政が取り組む環境施策について（年代別） 5/7

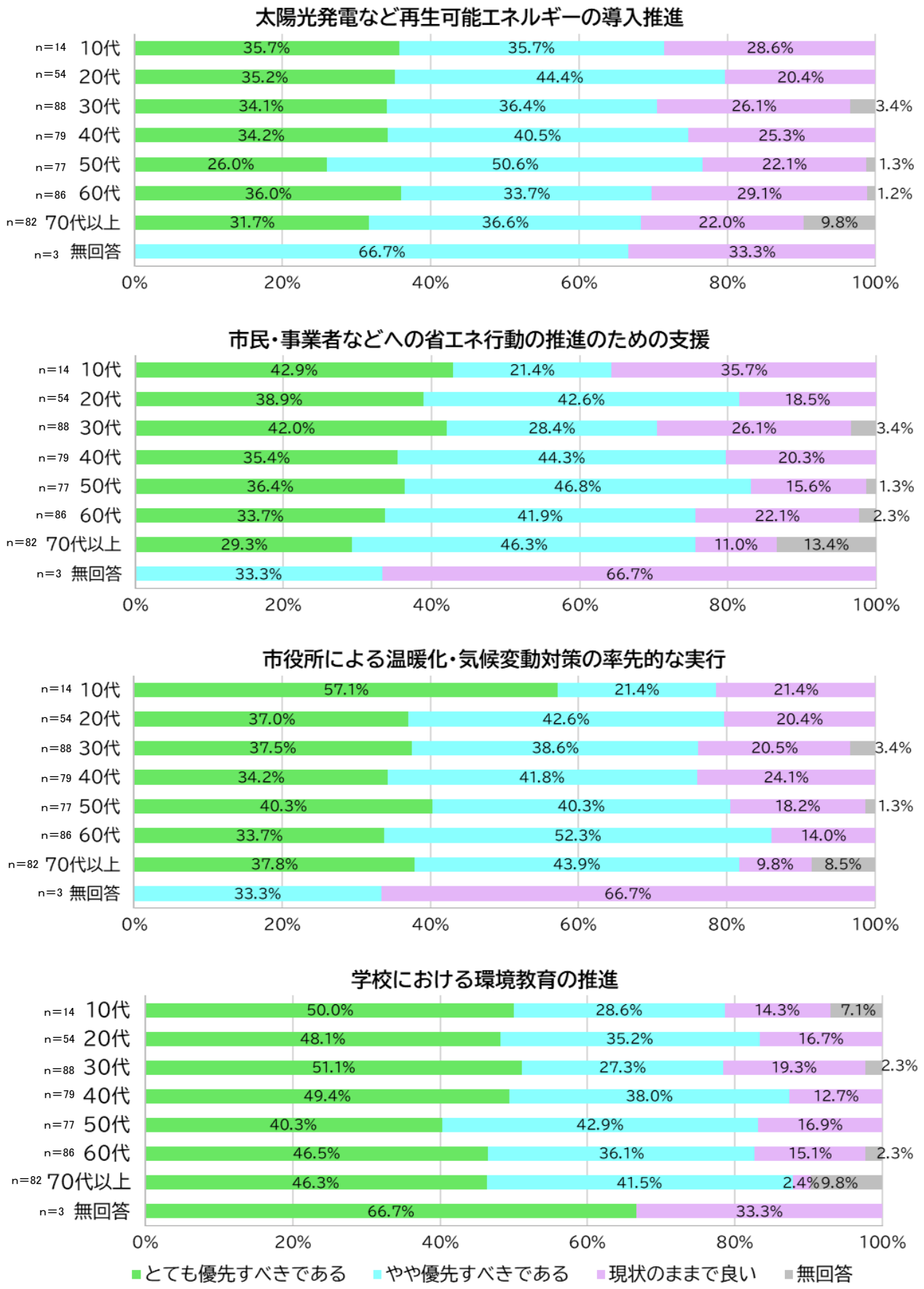


図 6-2 行政が取り組む環境施策について（年代別） 6/7

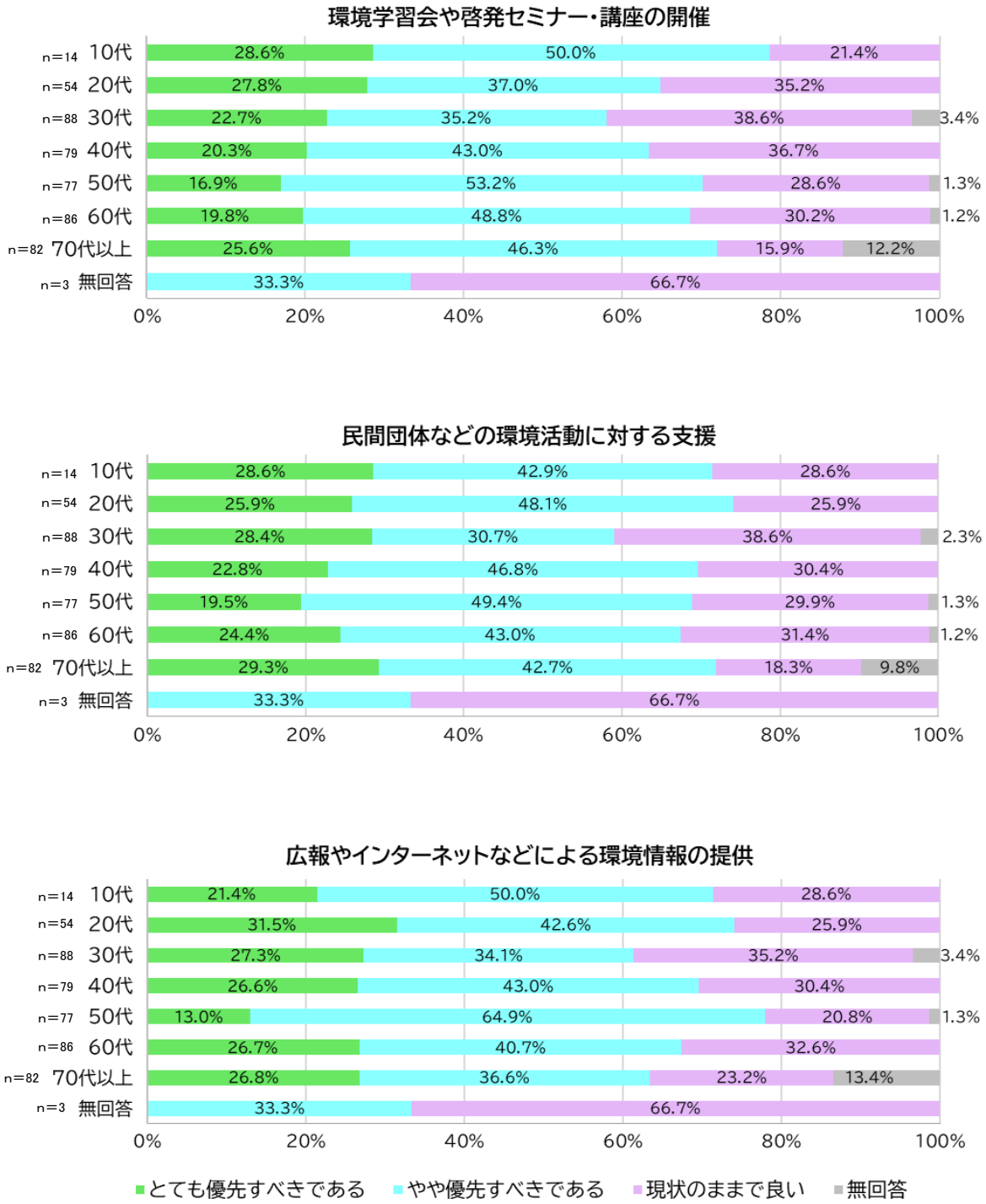


図 6-2 行政が取り組む環境施策について（年代別） 7/7

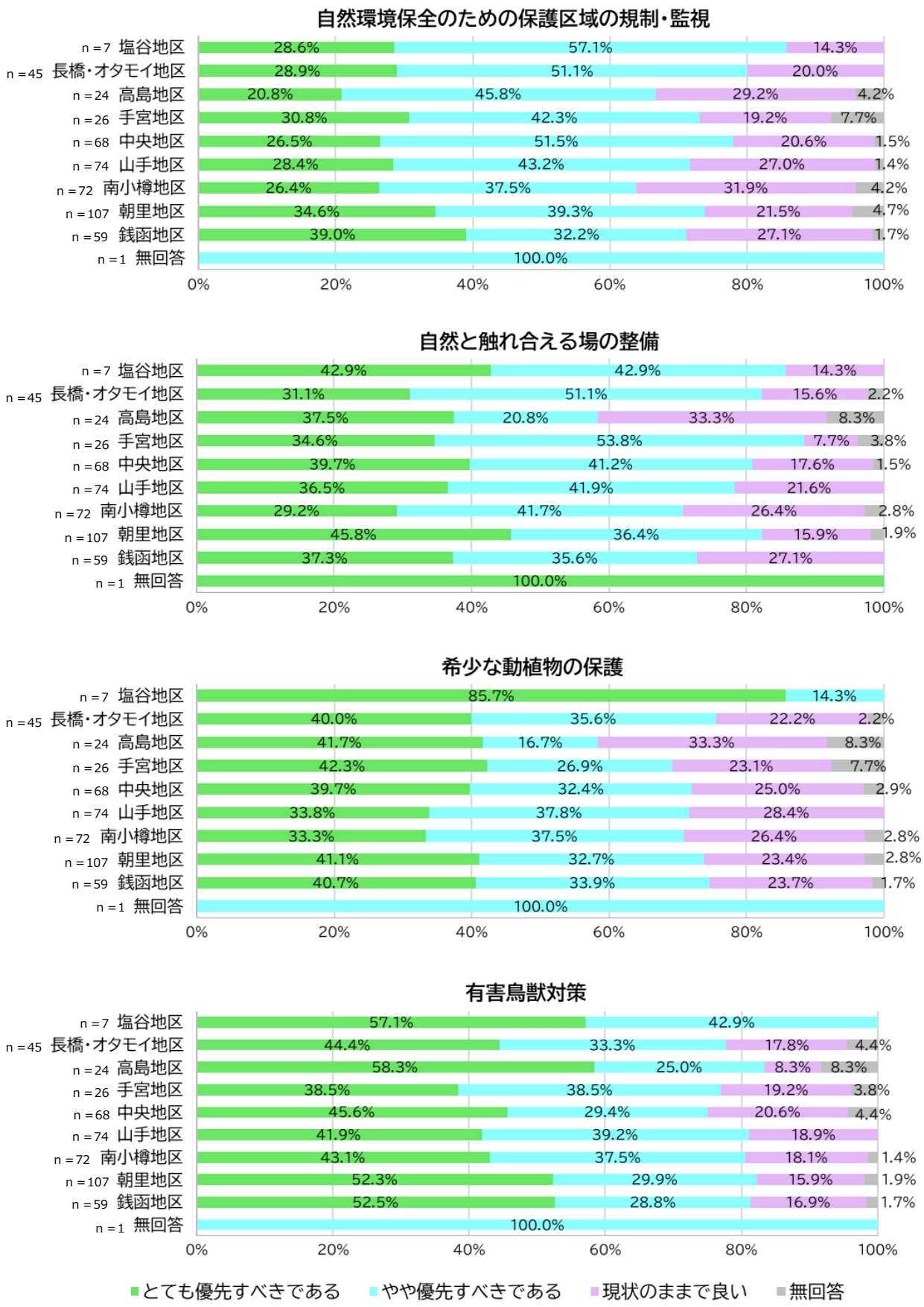


図 6-3 行政が取り組む環境施策について（居住地区別） 1/7

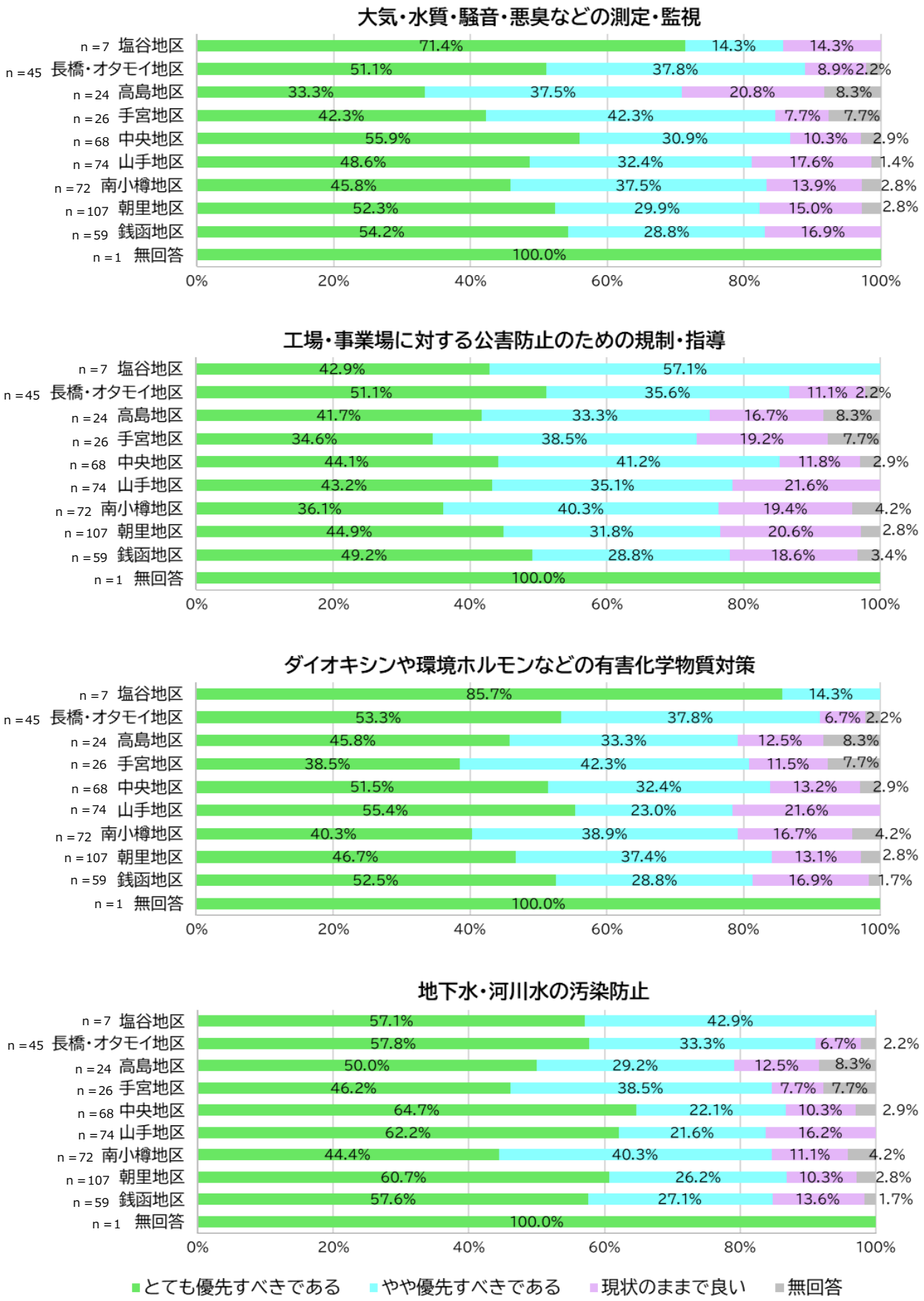


図 6-3 行政が取り組む環境施策について（居住地区別） 2/7

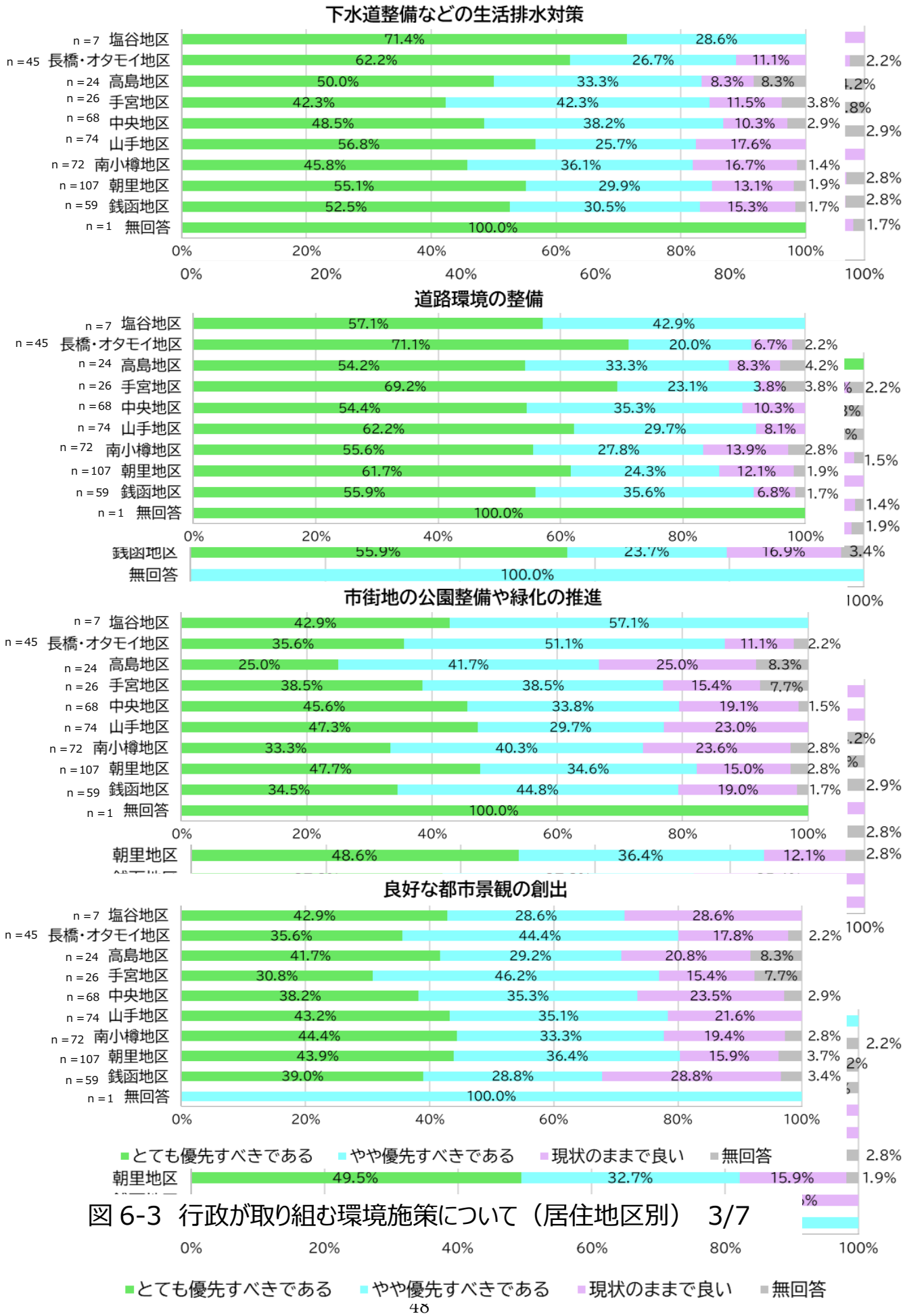


図 6-3 行政が取り組む環境施策について（居住地区別） 3/7

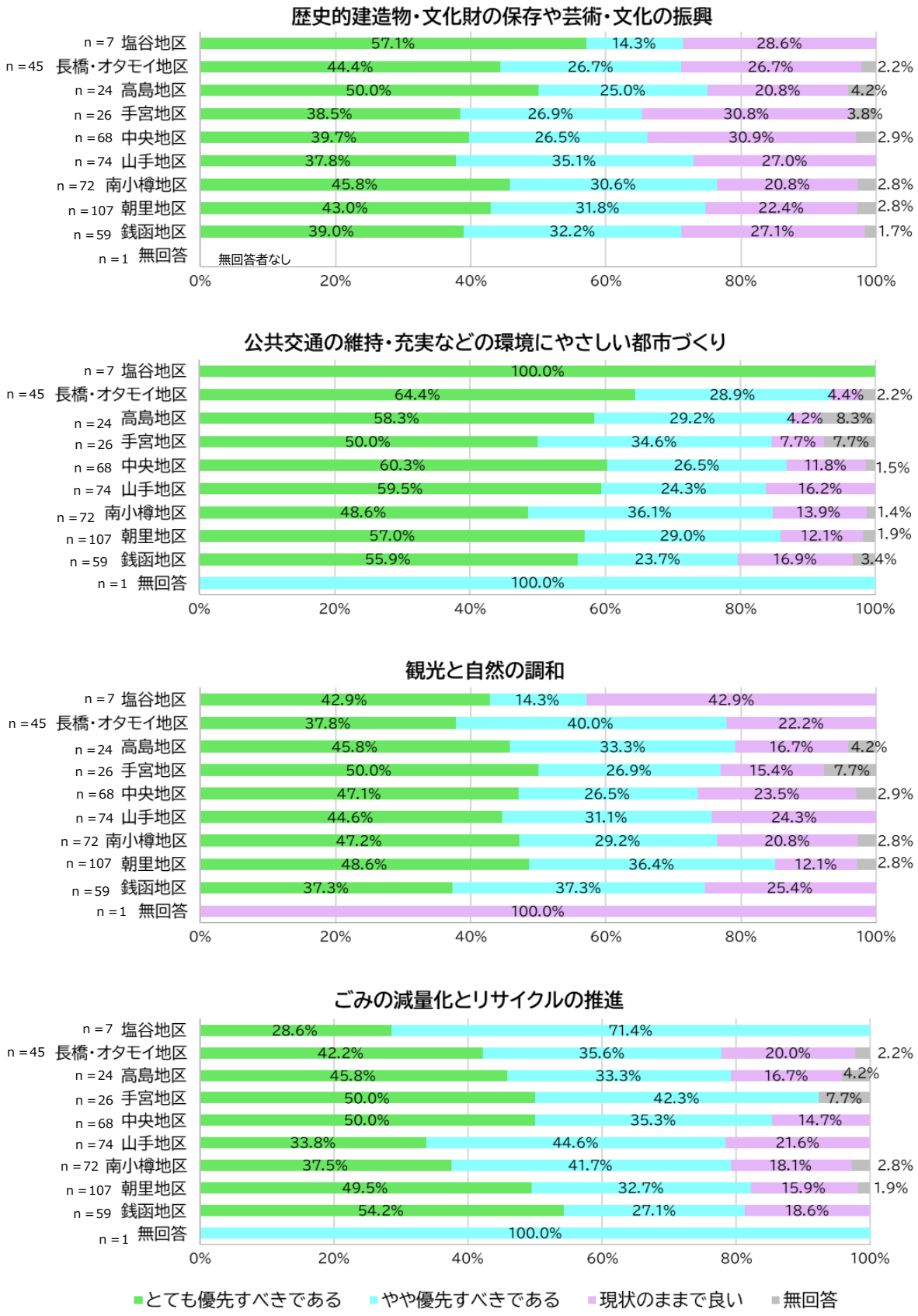


図 6-3 行政が取り組む環境施策について（居住地区別） 4/7

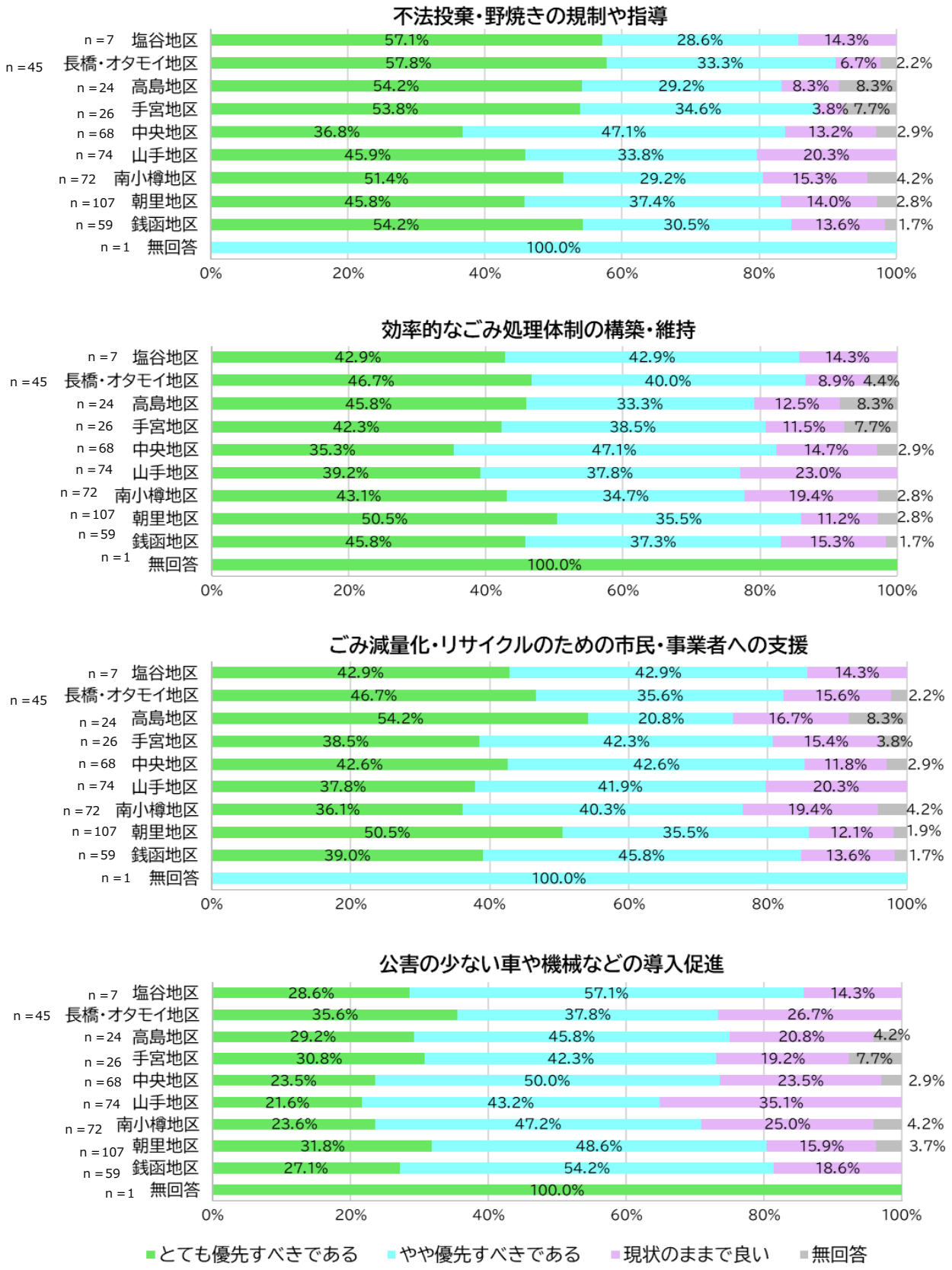


図 6-3 行政が取り組む環境施策について（居住地区別） 5/7

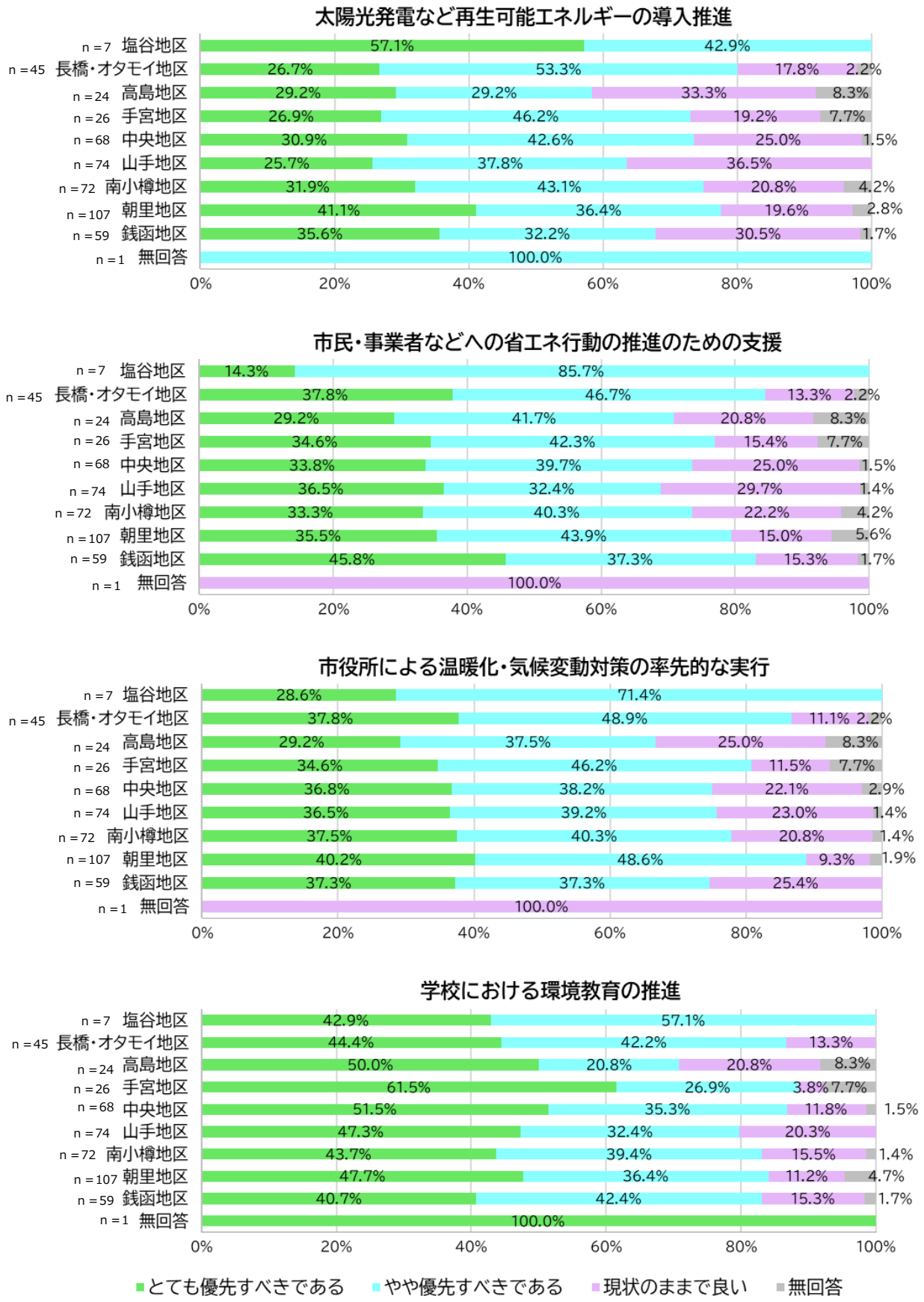


図 6-3 行政が取り組む環境施策について（居住地区別） 6/7

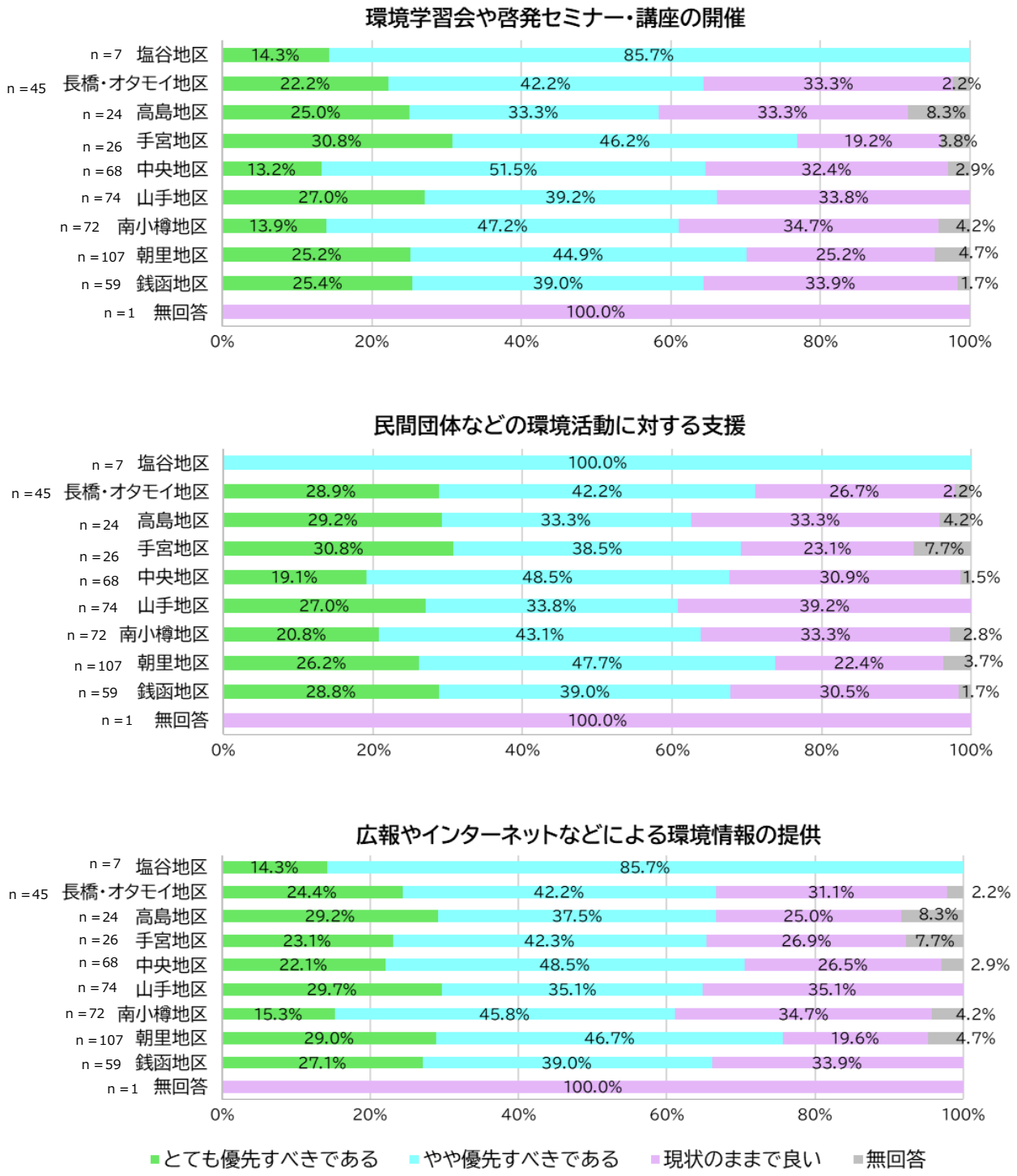


図 6-3 行政が取り組む環境施策について（居住地区別） 7/7

＜問 7＞　生物多様性について

あなたは「生物多様性」という言葉の意味を知っていましたか。次の中から１つだけ選び、○をつけてください。

「言葉の意味をある程度知っていた」が 31.1%と最も高く、次いで「言葉の意味は知らなかったが、聞いたことがある」が 30.4%、「言葉も意味も知らない」が 21.9%、「言葉の意味を知っていた」が 14.1%となっている。

約半数が「生物多様性」の意味を知らなかった。小樽市の状況を踏まえた生物多様性の言葉の周知と意味を理解させる取組を推進する必要があると考えられる。

質問項目	件数	割合
言葉の意味を知っていた	68	14.1%
言葉の意味をある程度知っていた	150	31.1%
言葉の意味は知らなかったが、聞いたことがあった	147	30.4%
言葉も意味も知らない	106	21.9%
無回答	12	2.5%
合計	483	100%

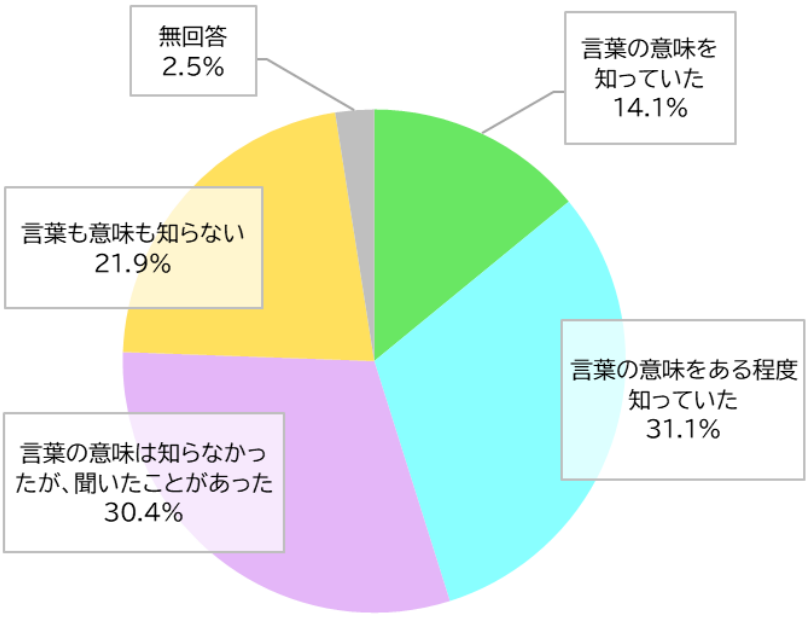


図 7-1　生物多様性について（全体）

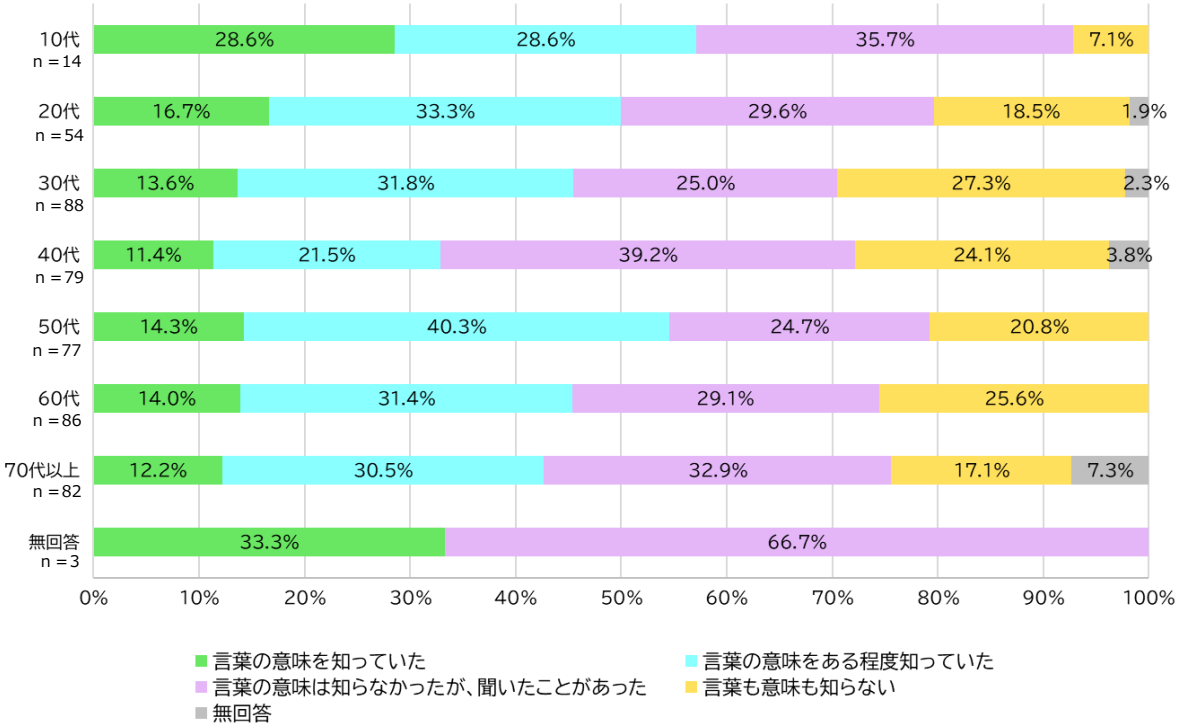


図 7-2　生物多様性について（年代別）

＜問 8＞　自然環境の変化について

① 小樽市の自然環境が以前（10 年前）と比べてどのように変化したと思いますか。各設問の 5 つの中から当てはまる番号を 1 つだけ選び、○をつけてください。居住年数の短い方も、感じているイメージでお答えください。

10 年前と比較した小樽市全体の環境について、「変わっていない」の回答が 55.7%で、「良くなった」と「少し良くなった」を合わせた回答は 28.8%、「悪くなった」と「少し悪くなった」を合わせた回答は 13.6%となり、現状維持か少し良くなっている結果が示されている。

個別項目で見ても全体的な傾向は変わらないが、「生き物の豊かさ（海）」と「生き物の生息環境」の 2 項目で、「悪くなった」・「少し悪くなった」を選択した方が 2 割程度いる結果が示されている。

居住地区別では、塩谷地区と手宮地区で環境が「良くなった」と「少し良くなった」と回答した方が 40%を超え、一方で山手地区では「悪くなった」・「少し悪くなった」と回答した人が 20%を超えている。

居住年数別では長く小樽に住んでいる人ほど、「良くなった」と「少し良くなった」と回答した方が多い傾向にあったが、質問項目の「生き物の豊かさ（陸）・（海）」、「生き物の生息環境」では長く小樽に住んでいる方が「悪くなった」・「少し悪くなった」の回答が多い傾向となっている。

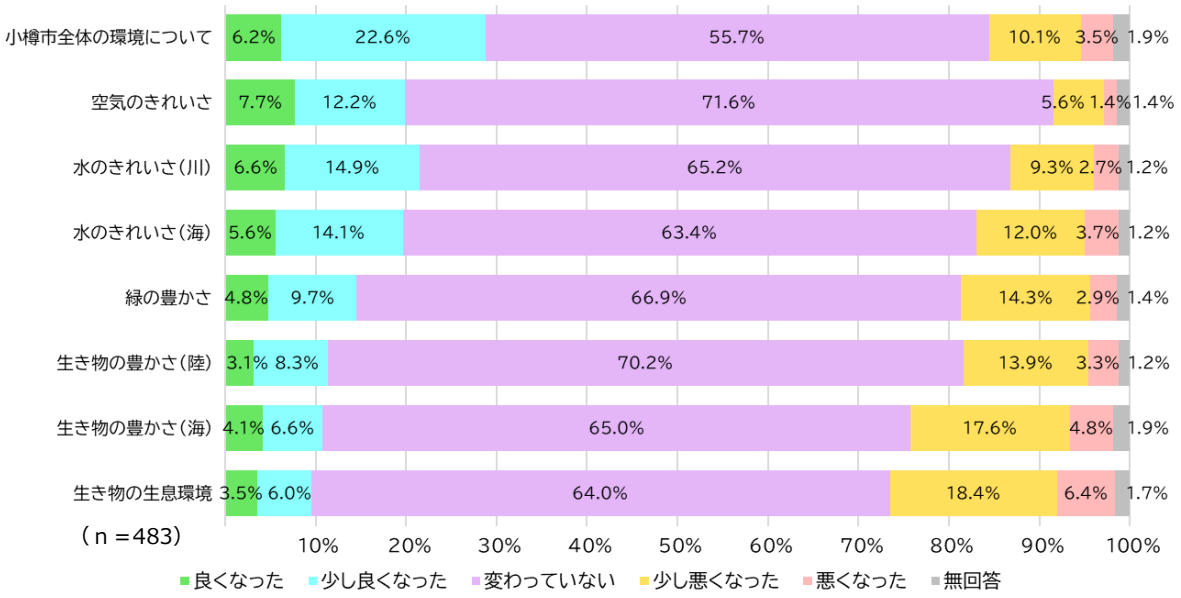


図 8-1　自然環境の変化について（全体）

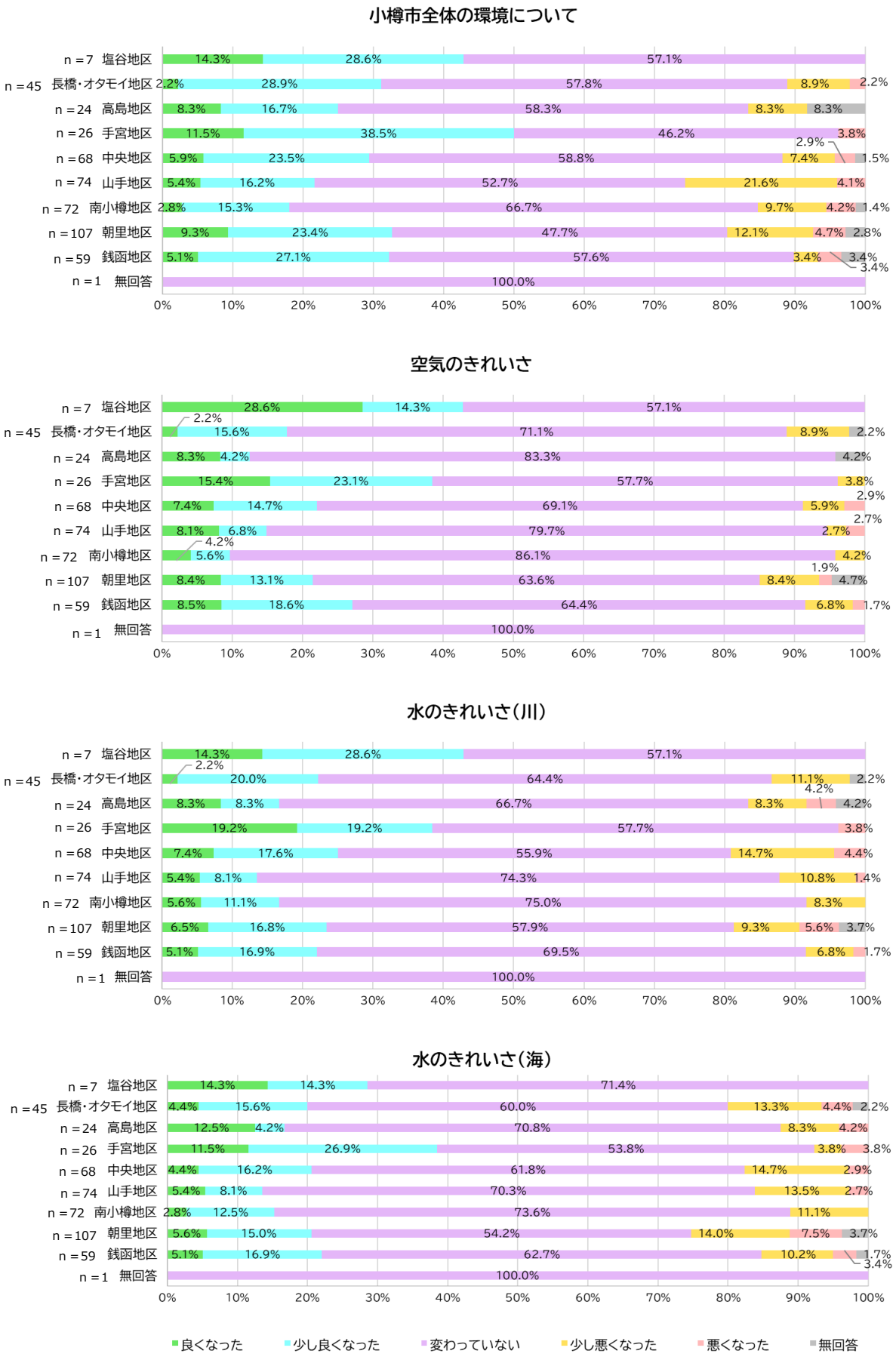


図 8-2 自然環境の変化について（居住地区別） 1/2

図 8-2　自然環境の変化について（居住地区別）　2/2

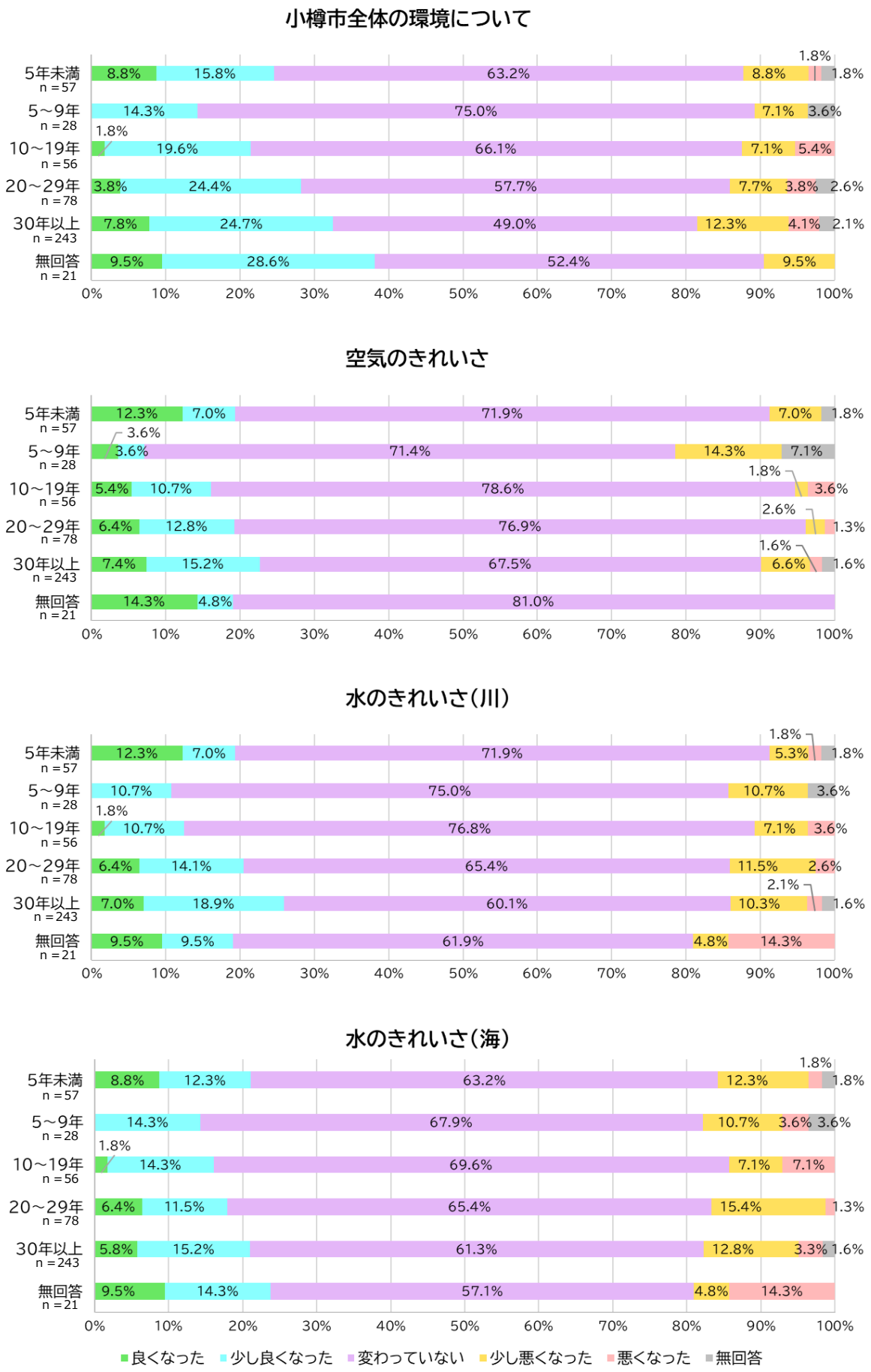


図 8-3　自然環境の変化について（居住年数別）　1/2

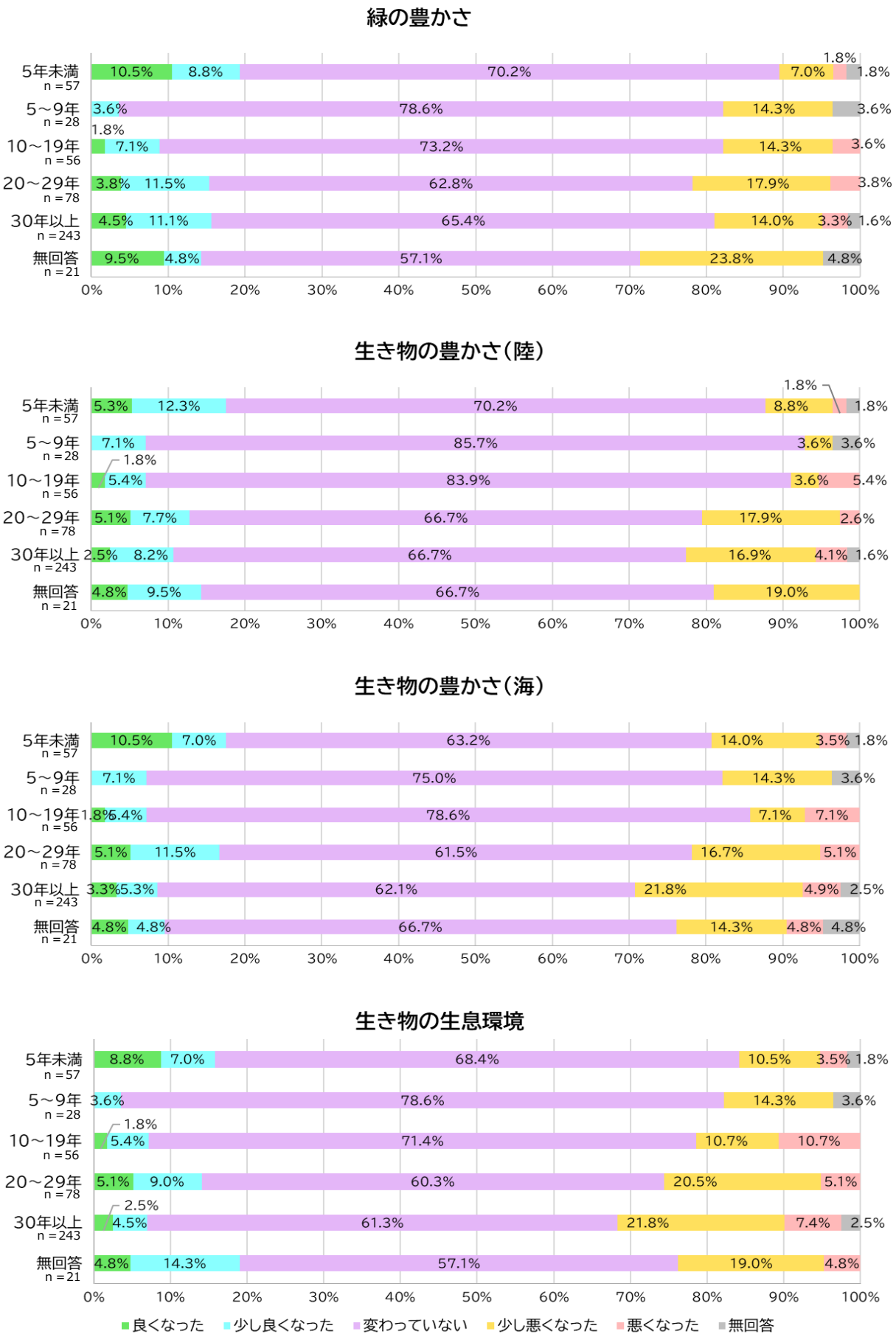


図 8-3　自然環境の変化について（居住年数別）　2/2

＜問 8＞　自然環境の変化について

② 上記①の各設問で、「５ 悪くなった」を選んだ方におたずねします。どの質問項目について、どの場所の悪化が気になるのか、理由等も含めてご記入ください。

10 年前と比較し自然環境について「悪くなった」と回答した人のコメントを質問項目別に振り分けて整理した。

「生き物の生息環境」の悪化について回答したものが 18 件と最も多く、その中では熊や鹿などの野生動物の出没についての記述が多かった。次いで「水のきれいさ（海)」や「緑の豊かさ」で 8 件となっている。

【小樽市全体、その他】

居住地区	理由等	年齢
中央地区	あちらこちらにゴミが捨ててある。木草が生い茂っている。	70 代以上
山手地区	空き家や空店舗が増えて殺伐とした感じになってきた。	50 代
山手地区	手入れがされず荒れ放題の小樽公園、臨港線歩道の雑草だらけ。小樽駅のナホトカの壁面、南小樽駅の壁面、共に蔦が伸び放題で荒れている感が、小樽市の環境整備を整えられない現状が見てとれる。	70 代以上
南小樽地区	公園が少なくなった。駐車場ばかり増えている。	60 代
朝里地区	ゴミなどが増えた。	30 代
朝里地区	環境問題に対するイベントや交流が少ない。分かりづらい。もっと地域のスーパーなどで大きく取り上げないと、自分達の意識が変わらず悪くなる一方だと思う。	30 代
朝里地区	カラスが年々増えているように思われます。繁殖期など、人を襲うこともあるので駆除も必要と考えます。	70 代以上
4 地区	7 件	
【キーワード】: ゴミ増えた　雑草が伸びている　カラス増えた		

【空気のきれいさ】

居住地区	理由等	年齢
中央地区	車が多くなって空気が悪くなった花園近辺は下水道の劣化か雨や湿気の多い日は悪臭がする。毎年蛾の被害が多くなったと感じる。	30 代
山手地区	自宅周辺、玄関先、庭、近所のスーパーに出かけただけでもアレルギーが起きて体調が悪くなるような空気の汚れを感じる日が多くなってきている。	50 代
2 地区	2 件	
【キーワード】: 下水臭がする　蛾の被害が増えた　アレルギー		

【水のきれいさ（川)】

居住地区	理由等	年齢
中央地区	勝納川の下流（港付近)。	60 代
朝里地区	夏季は川の水では不足です。	60 代
2 地区	2 件	
【キーワード】: 夏季は水不足　川が汚れた		

【水のきれいさ（海）】

居住地区	理由等	年齢
中央地区	海(川)が汚れている→生物の環境が悪くなって数が減っている。	40 代
中央地区	築港マリーナ近辺。	60 代
中央地区	海の環境が非常に悪くなっている。海の石灰は汚水処理時の殺菌が要因するのでは？鉄分、養分を人工的に沿岸に投入することで改善するのでは？	70 代以上
山手地区	市内の釣り場（朝里・築港・手宮等）釣り人がゴミを放置し釣糸やゴミが海に散乱している。	30 代
山手地区	昔に比べてどこの海も川も汚れている。	40 代
朝里地区	祝津の海を見て下さい。ホタテなど生きづらい水になっています。	30 代
朝里地区	海の水が汚れている。	50 代
銭函地区	海水浴客が捨てて行ったゴミが沢山あり、それが原因で海が汚れているように感じます。海の景色が好きで近くにいますがとても残念です。遊びにくる人のマナーの問題ではありますが、何か啓発活動が出来たら良いですね。	40 代
4 地区	8 件	
【キーワード】：海水浴客のごみ捨て　海が汚れた		

【緑の豊かさ】

居住地区	理由等	年齢
中央地区	花園公園内の植物の悪化。花園グリーンロード内の芝生の悪化。	50 代
中央地区	公園の整備が悪くなっている。	50 代
山手地区	高速道路の整備によるもの。	60 代
南小樽地区	高速道路や新幹線工事などによる緑の減少と環境悪化。	50 代
朝里地区	高速道路ができたりして風景が変わった。	50 代
朝里地区	高くて乗れない新幹線のために山が失われる。観光客がきて経済が潤っても、汚染された水とハゲ山を見て何も喜べない。小樽の人はなんとなく自然をそのままにするが、市外から来たお金持ちたちが別荘を次々建てて、木を切り生態系を壊している。	50 代
朝里地区	札幌(新光)方面に見える山(緑)が削られて(採石のためなのか)どんどんなくなっている気がしています。宅地にするためか積雪地を変化させたいのか、その方角をみるといつも緑が山がまた減っていると思います。	60 代
銭函地区	例えば桂岡の山道（登山道やダム迄の道、ダム周辺の道）は、私が子供の頃は整備されており、休みの日には家族で遊びに行くことも多かったのですが、今では雑草がうっそうとしており前に進めない状態でした。豊かな自然の中で子供たちが学ぶことは多くあります。又、整備されていないことで、鹿や熊などが住宅地に下りてきて害になることも多いと思います。今は新幹線の工事中かと思いますが、遊歩道の整備を切に願います。	40 代
5 地区	8 件	
【キーワード】：公園の整備が悪い　山が削られている		

【生き物の豊かさ（陸）】

居住地区	理由等	年齢
中央地区	野鳥の減少。	50 代
朝里地区	山菜もとれなくなった。	50 代
朝里地区	護岸工事などするときは生物の専門家の話も聴き、市民にも意見を聞いてほしい。市鳥なのにアオバトが昔ほど来なくなってしまった。	50 代
朝里地区	小樽に住んでから 3 年目なので、10 年前はわからないので比較できないです。	60 代
銭函地区	昔とれた物がとれなくなった。	70 代以上
3 地区	5 件	
【キーワード】：野鳥減少　山菜減少		

【生き物の豊かさ（海）】

居住地区	理由等	年齢
長橋ｵﾀﾓｲ地区	海産物が採れなくなってきているため。	40 代
高島地区	魚の生態。	30 代
朝里地区	海で釣りをするときに魚が釣れにくくなった。	40 代
朝里地区	魚の質が悪く感じる。イカがない。ホタテも少なくなった。	50 代
朝里地区	昔のように魚介類が取れなくなっている。	60 代
銭函地区	温暖化により、魚があまりとれなくなったり種類が変化している。	70 代以上
4 地区	6 件	
【キーワード】: 海産物の減少　生息種の変化		

【生き物の生息環境】(1/2)

居住地区	理由等	年齢
長橋ｵﾀﾓｲ地区	山ではなく、市内にクマやシカが出てくるようになったので。	40 代
長橋ｵﾀﾓｲ地区	犬の散歩の際、フンを持ち帰らない飼い主がいる。ノラネコに餌付けしている住民がいて、そのネコたちが庭に侵入し、フンをしたり、畑を荒らしている。カラスが屋根に毎年巣を作り、市役所に駆除を頼んだが鳥獣保護法により駆除できないと断られた。その為、家の出入りの際カラスに攻撃され困っている。	50 代
高島地区	家の近くの畑に鹿が出没し作物を食べる(食害)。庭の松の葉を鹿が食べる(冬季)。ダニにかまれ何度も通院した。駆除をお願いしたい。	60 代
中央地区	家の前にもキツネや鹿が現れる状況は生息環境の悪化（新幹線建設）によると思います。	10 代
中央地区	山が削られ餌が減り、野生動物が街に食べ物を探しに下りてきており、また住み着いている様子を目の当たりにした。	40 代
中央地区	長橋の旭地区の道の舗装化により、今までたくさん生息していたイチモンジチョウが全くいなくなった。さらに、1 本の木を切ってしまうことでそこで生息していた昆虫もいなくなった。また、奥沢浄水場入口（駐車スペース）脇の木も切られ生物がかなり減少している。	60 代
山手地区	高速道路と新幹線工事によって山沿いの生息環境は悪くなったと思う。シカやクマが昔に比べ降りてくるのが増えたのは、気候問題もあるが森林減少もあると思う。	30 代
山手地区	住宅街にキツネやイタチなどが出るようになった。子供の通学路に出るのは危険。	40 代
山手地区	人間生活の便利さを求めるために木を切り山に穴をあける。結果野生生物は住む場所を追われ山は力を失っていると思います。もともと動物をよく見る地域ですが頻度は増えています。高速道路、塩谷へのトンネル、新幹線。本当に必要だったのでしょうか。	50 代
山手地区	家の周りにキツネが出る	70 代以上
南小樽地区	高速道路の増加・新幹線の線路増設などで森林が切り開かれたこともあり熊・鹿・キツネ等市街地へ降りてくることが多くなったと思う。事故などを防げるよう道路への進出を防ぐ柵を設置するなど対策をして欲しいです。特に張碓あたりは鹿の飛び出しによる事故も多いと思います。	20 代
南小樽地区	天神の高速道路工事、新幹線工事にともなってか、住宅地に今まで出没しなかった鹿・テン・狸・狐・熊等が見受けられる。	70 代以上
朝里地区	熊の出没が多い。	30 代
朝里地区	生き物の生息環境クマの出没が増えたと思う。山の環境や人間が食べ残して味を覚えさせたことが悪いと思っている。	40 代
朝里地区	熊が増えた。	50 代
朝里地区	熊に限らず野生動物が身近に見られるようになった。生活域が狭まっているかもしれない。	50 代

【生き物の生息環境】(2/2)

居住地区	理由等	年齢
朝里地区	近年、クマの出没が多いと思うので、増えすぎた種類に関しては、積極的な駆除が実施されるべきと考えます。	70 代以上
銭函地区	陸ではクマが住宅街まで出てきて、安全面から心配である（クマのエサが少ない状態の森が、豊かではないため)。	70 代以上
7 地区	18 件	
【キーワード】: 熊などの野生生物が増えた　公共工事の影響		

＜問 9＞　環境活動への参加について

あなたは地域や職場などにおいて環境にかかわる活動に参加していますか。各設問の 3 つの中から当てはまる番号を 1 つ選び、○をつけてください。

環境活動について、「参加したことがある」と回答した項目は「清掃活動」が 24.2%と高く、次いで「リサイクルや資源回収活動」が 17.6%、「ごみ・下水処理場などの施設見学」が 13.4%であり、他の項目については 10%を切る結果となっている。

「今後参加したい」を含めると、全ての項目で 30%を上回るが、どの項目でも「参加したいとは思わない」が一番多い結果となっている。

環境活動への参加率向上へ向けた施策が必要と考えられる。

質問項目	野生生物の保護活動		自然観察会		植樹などの緑化活動		森林保全活動		河川保全活動		清掃活動	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
参加したことがある	7	1.4%	29	6.0%	39	8.1%	14	2.9%	17	3.5%	117	24.2%
今後参加したい	154	31.9%	166	34.4%	182	37.7%	172	35.6%	169	35.0%	163	33.7%
参加したいとは思わない	307	63.6%	271	56.1%	244	50.5%	278	57.6%	276	57.1%	184	38.1%
無回答	15	3.1%	17	3.5%	18	3.7%	19	3.9%	21	4.3%	19	3.9%
合計	483	100%	483	100%	483	100%	483	100%	483	100%	483	100%

質問項目	リサイクルや資源回収活動		歴史的文化遺産の保全活動		環境問題に関する講演会・勉強会		ごみ・下水処理場などの施設見学		環境保全のための寄付	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
参加したことがある	85	17.6%	26	5.4%	24	5.0%	65	13.5%	20	4.1%
今後参加したい	155	32.1%	180	37.3%	143	29.6%	147	30.4%	165	34.2%
参加したいとは思わない	226	46.8%	257	53.2%	298	61.7%	256	53.0%	278	57.6%
無回答	17	3.5%	20	4.1%	18	3.7%	15	3.1%	20	4.1%
合計	483	100%	483	100%	483	100%	483	100%	483	100%

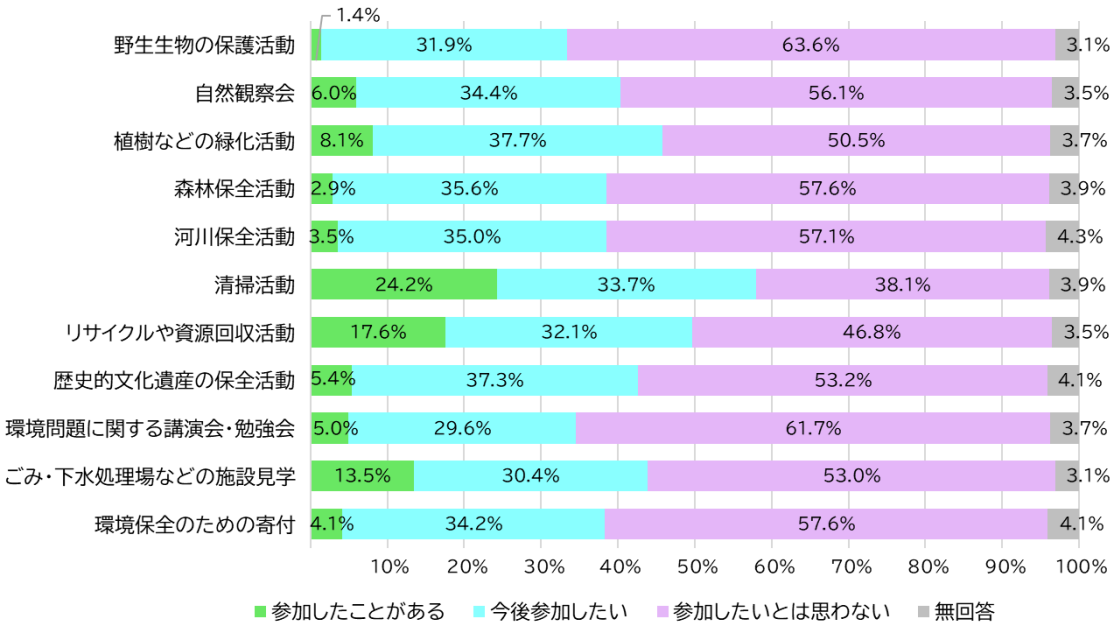


図 9-1　環境活動への参加について（全体）

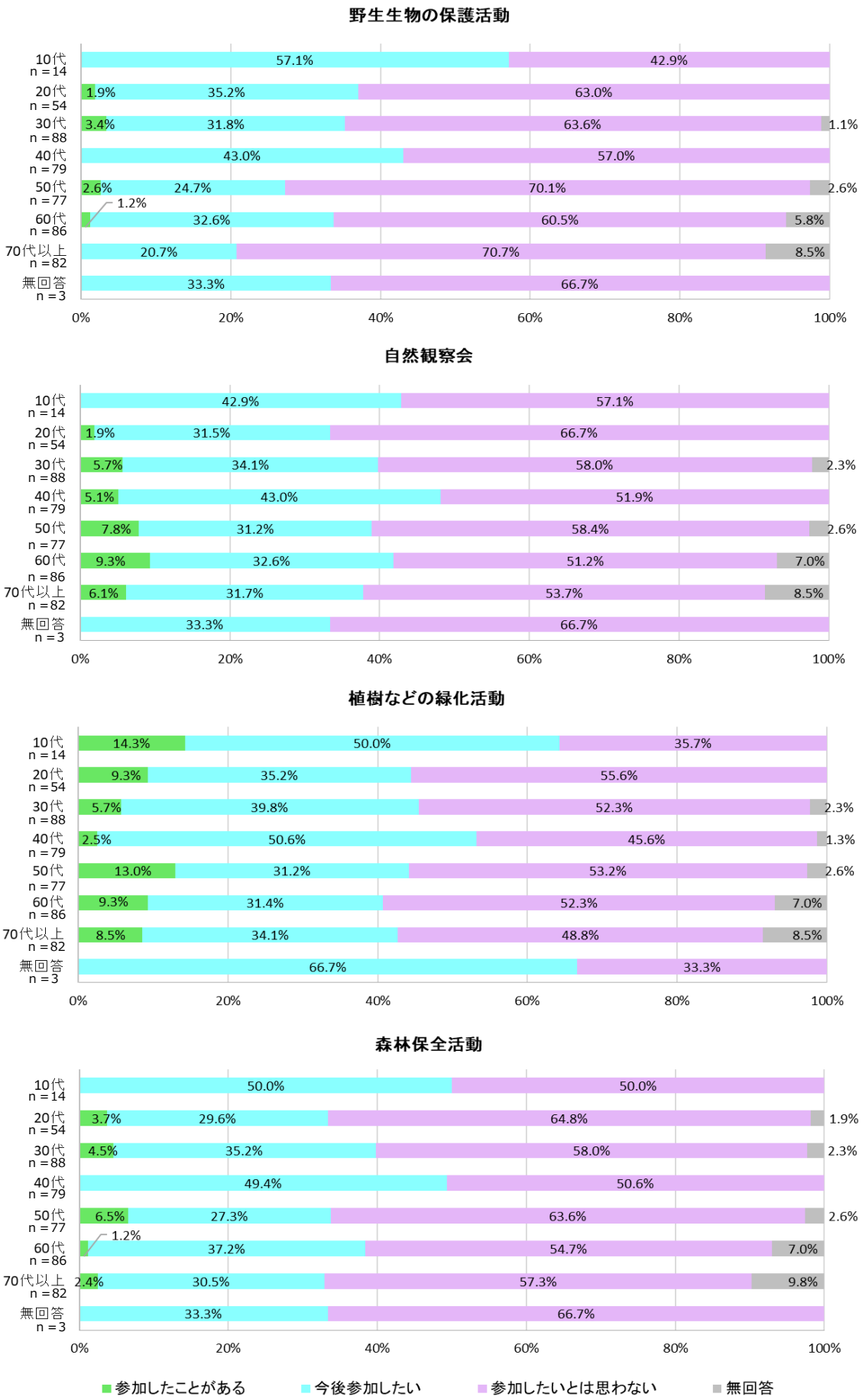


図 9-2　環境活動への参加について（年代別）　1/3

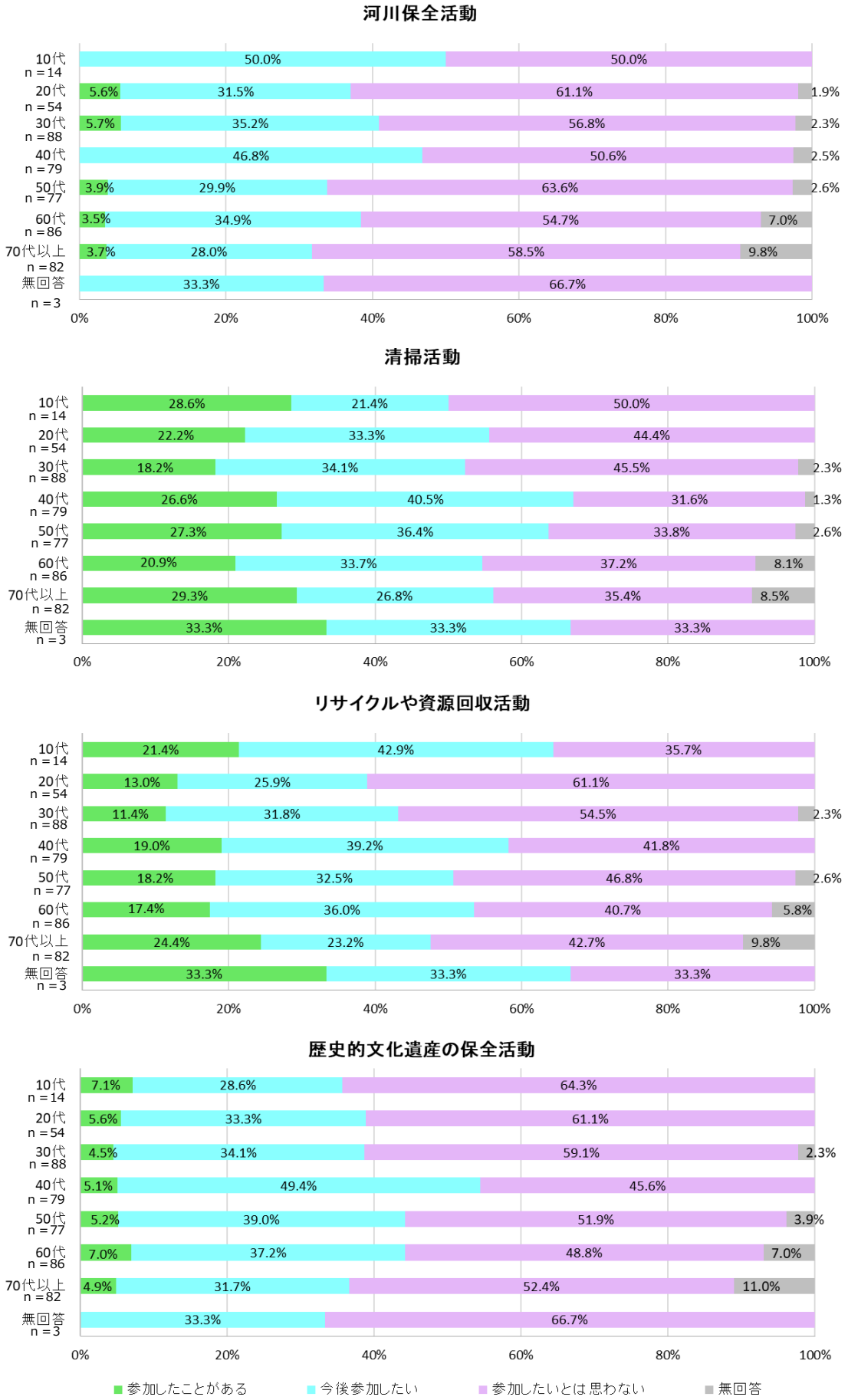


図 9-2　環境活動への参加について（年代別）　2/3

図 9-2　環境活動への参加について（年代別）　3/3

＜問 10＞　「ゼロカーボンシティ小樽市」について

あなたは「ゼロカーボンシティ小樽市」の表明について知っていましたか。また、この内容について理解していますか。次の中から当てはまる番号を 1 つ選び、○をつけてください。

「表明を知っている・内容も十分理解している」が 5.2%、「この表明は知っているが、内容は知らない」20.7%、「初めて聞いた・全くわからない」であり、ほとんどの人が内容について知らない結果となっている。

市のゼロカーボンの取組や、地球温暖化対策についての積極的な周知・啓発活動が必要と考えられる。

質問項目	件数	割合
表明を知っている・内容も十分理解している	25	5.2%
この表明は知っているが、内容は知らない	100	20.7%
初めて聞いた・全くわからない	356	73.7%
無回答	2	0.4%
合計	483	100%

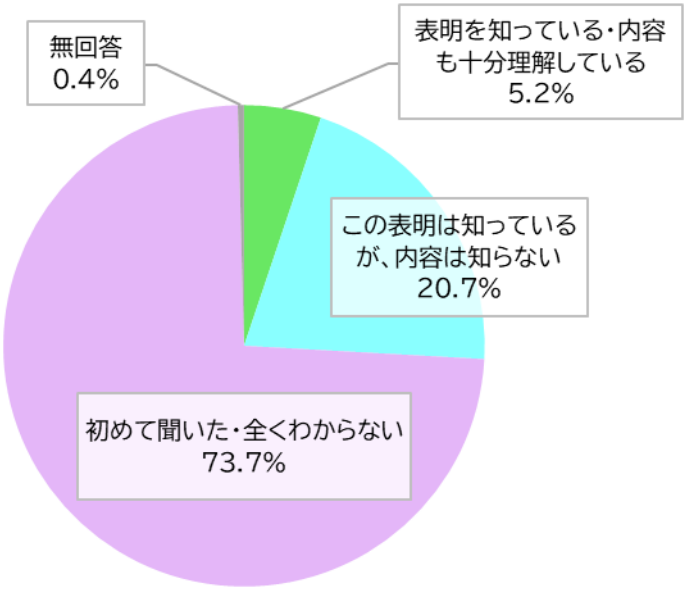


図 10-1　ゼロカーボンシティ小樽市について（全体）

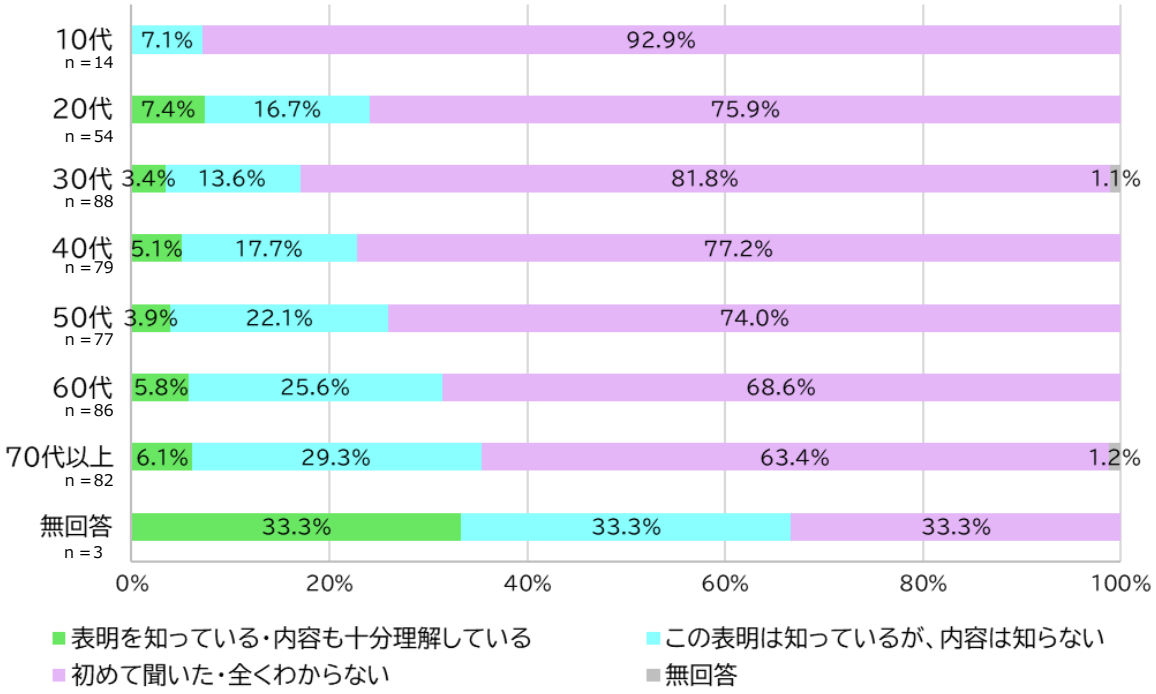


図 10-2　ゼロカーボンシティ小樽市について（年代別）

＜問 11＞　持続可能な開発目標（SDGs）について

① あなたは、「持続可能な開発目標（SDGs）をご存じですか。次の中から当てはまる番号を１つ選び、○をつけてください。

「内容を把握している」が 42.4%で最も高く、次いで「名称だけ聞いたことがある」が 35.8%、「マークを見たことがある」が 7.5%、「全く聞いたこと、見たことがない」が 12.8%であった。若い世代で内容を把握している割合が高い。

SDGs については内容を把握している方が約 4 割程度、名称やマークを見たことがある人を含めると、85.7%となり、かなり市民に浸透している。小樽市の環境施策を SDGs に関連付け取り組むことが必要と考える。

質問項目	件数	割合
内容を把握している	205	42.4%
名称だけ聞いたことがある	173	35.8%
マークを見たことがある	36	7.5%
全く聞いたこと、見たことがない	62	12.8%
無回答	7	1.4%
合計	483	100%

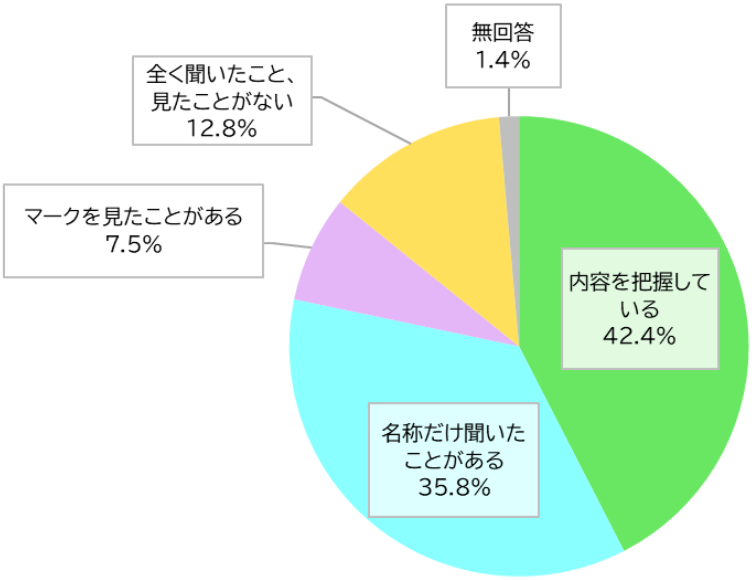


図 11-1　持続可能な開発目標（SDGs）を知っていますか（全体）

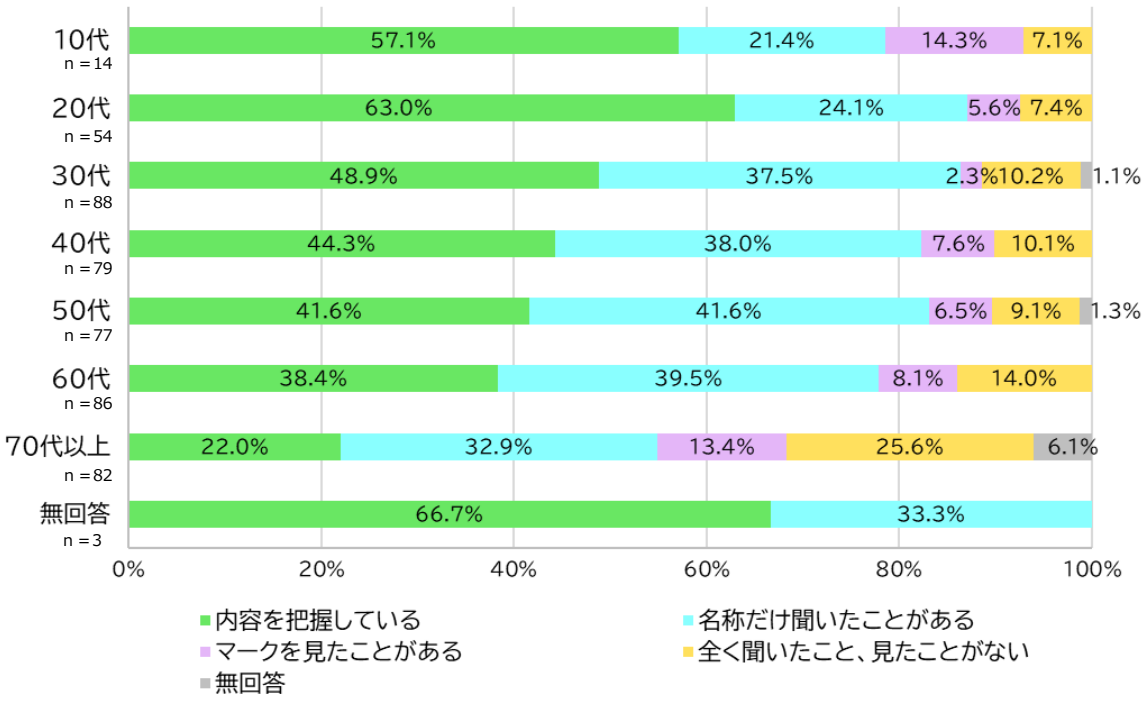


図 11-2　持続可能な開発目標（SDGs）を知っていますか（年代別）

＜問 11＞　持続可能な開発目標（SDGs）について

② SDGs は下記の 17 の目標が定められていますが、あなたがこの中で関心のあるものはなんですか。次の中から特にあてはまると思う番号を 3 つまで選び、○をつけてください。

関心が高い順として「住み続けられるまちづくりを」が 36.0%、次いで「すべての人に健康と福祉を」が 34.6%、「貧困をなくそう」が 33.5%、「働きがいも経済成長も」と「気候変動に具体的な対策を」がともに 21.9%、「平和と公正をすべての人に」が 20.3%と続く。

一方で関心が低かったものとして「パートナーシップで目標を達成しよう」が 1.7%、「陸の豊かさを守ろう」が 4.1%、「産業と技術革新の基礎をつくろう」が 4.6%となっている。

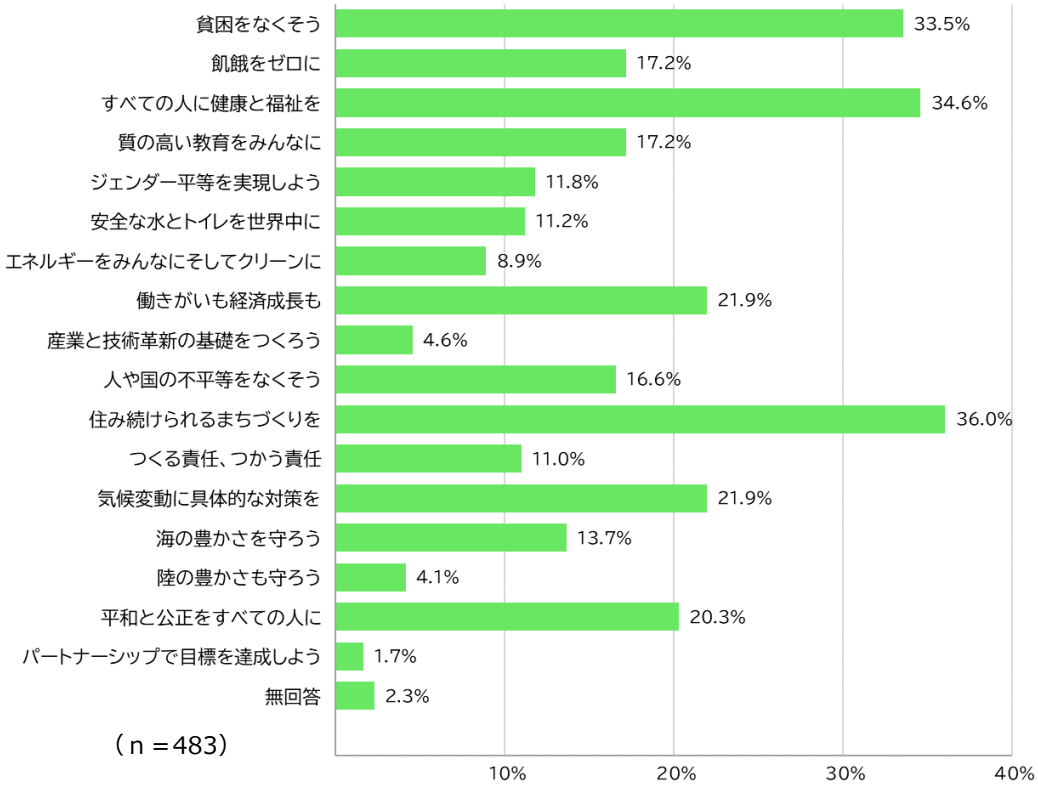


図 11-3　SDGs の中で関心のあるもの（全体）

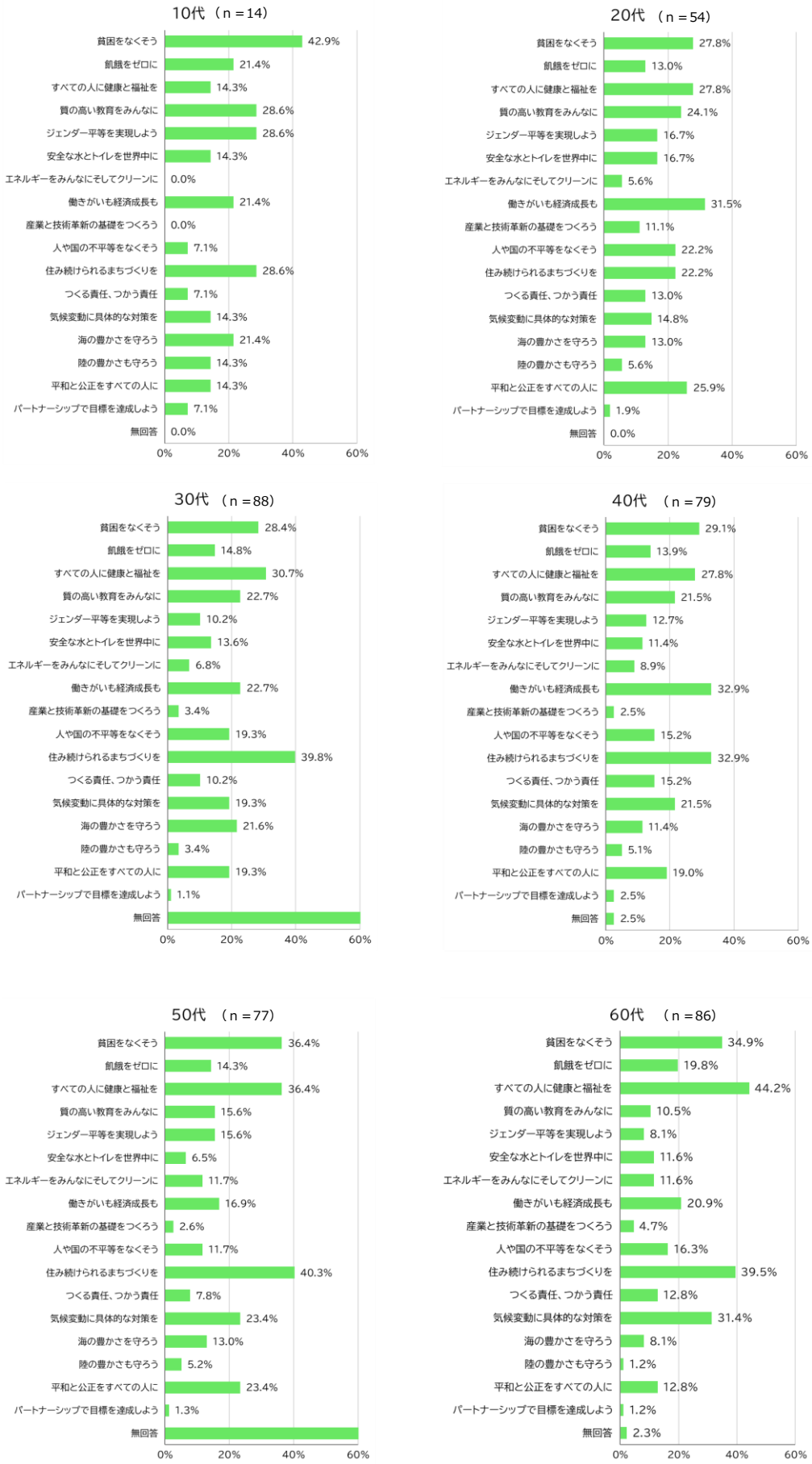


図 11-4　SDGs の中で関心のあるもの（年代別）　1/2

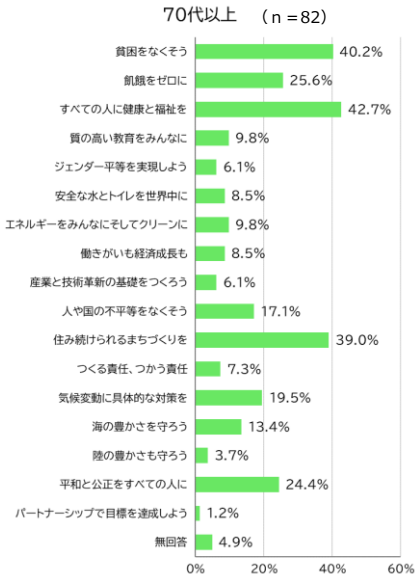


図 11-4　SDGs の中で関心のあるもの（年代別）　2/2

＜問 12＞　気候変動の影響への「適応」について

① あなたは気候変動の影響への「適応」という言葉をご存じですか。次の中から当てはまる番号を１つ選び、○をつけてください。

「適応」という言葉について、「意味を含めて知っている」が 21.9%、「言葉は知っていたが意味は知らない」が 41.6%、「言葉自体知らない」が 32.1%となっている。

「適応」という言葉を聞いたことがある方は 63.5%いる一方で、意味を知らない方は 73.7%の結果となった。年代別では「適応」という言葉を知っているのは 10 代、20 代、70 代以上が多く、「適応」という言葉自体知らない年代は 40 代、50 代、60 代という結果が出ている。

気候変動の影響についての周知・啓発活動や具体的な「適応策」についての検討が必要と考えられる。

項　目	件数	割合
意味を含めて知っている	106	21.9%
言葉は知っていたが意味は知らない	201	41.6%
言葉自体知らない	155	32.1%
無回答	21	4.3%
合計	483	100%

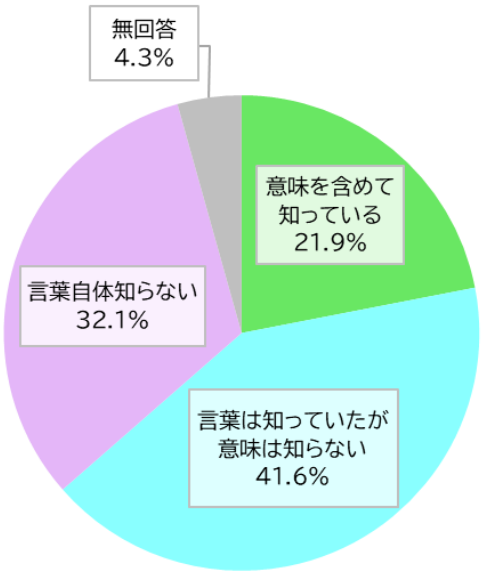


図 12-1　気候変動の「適応」という言葉を知っているか（全体）

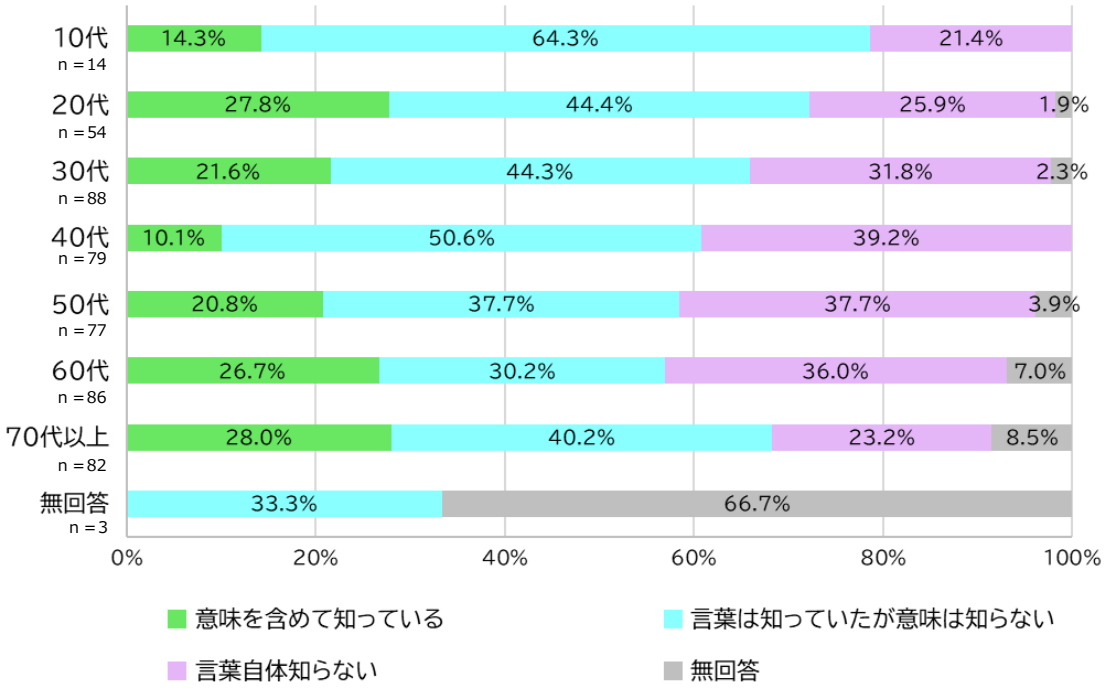


図 12-2　気候変動の「適応」という言葉を知っているか（年代別）

＜問 12＞　気候変動の影響への「適応」について

② 小樽市で温暖化の影響をすでに受けていると感じるものについておたずねします。次の中から当てはまる番号を 3 つまで選び、○をつけてください。

気候変動の影響を既に受けていると感じるものについては「海産物の漁獲量や漁期の変化」が 50.9%と最も高く、次いで「熱中症患者の増加」が 37.9%、次いで「農作物の品質低下や収穫量」が 24.4%、「降雪量、降雪回数の減少」が 23.2%、「洪水や内水氾濫リスクの増加」が 21.5%となっている。

年代別の回答では、年齢が高いほど「農作物」や「海産物」への影響を上げており、一方で、年齢が低いほど「熱中症」や「降雪量、降雪回数」について影響があると回答している。

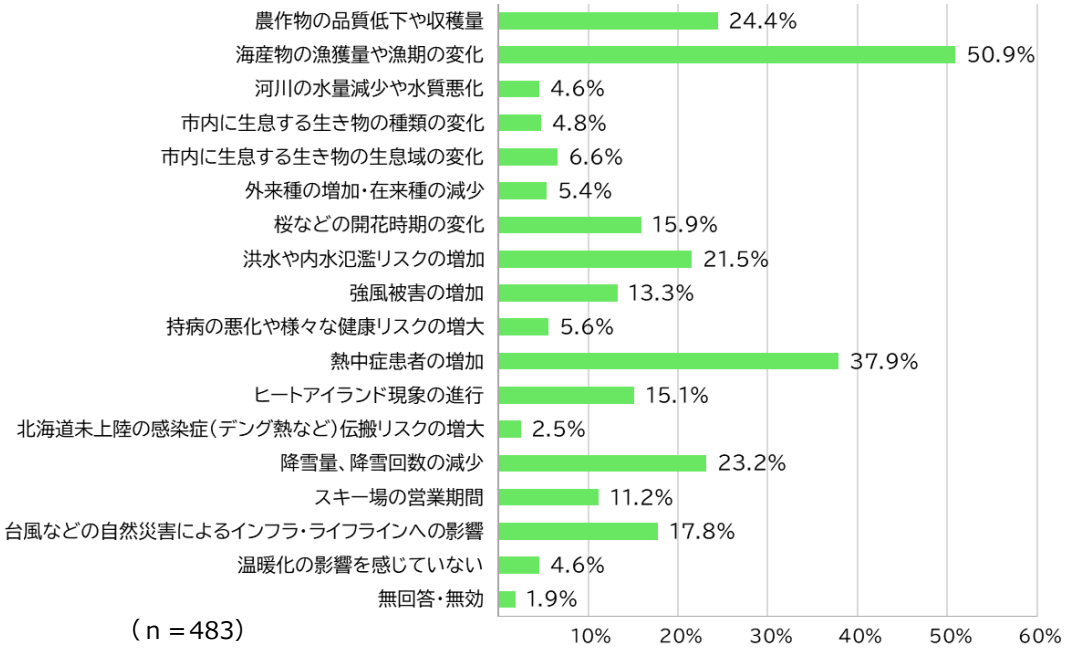


図 12-3　既に気候変動の影響を受けていると感じるもの（全体）

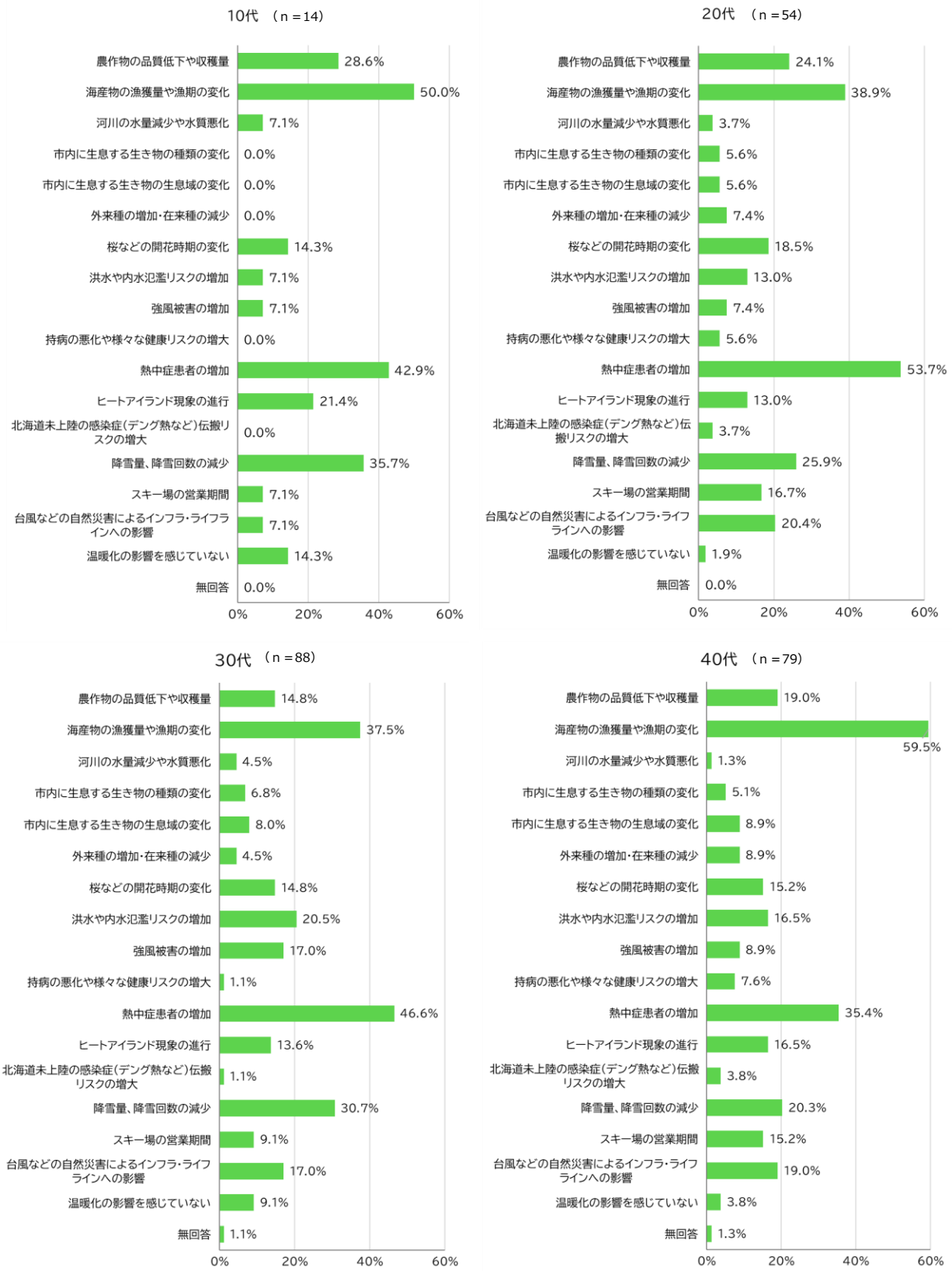


図 12-4 既に気候変動の影響を受けていると感じるもの（年代別） 1/2

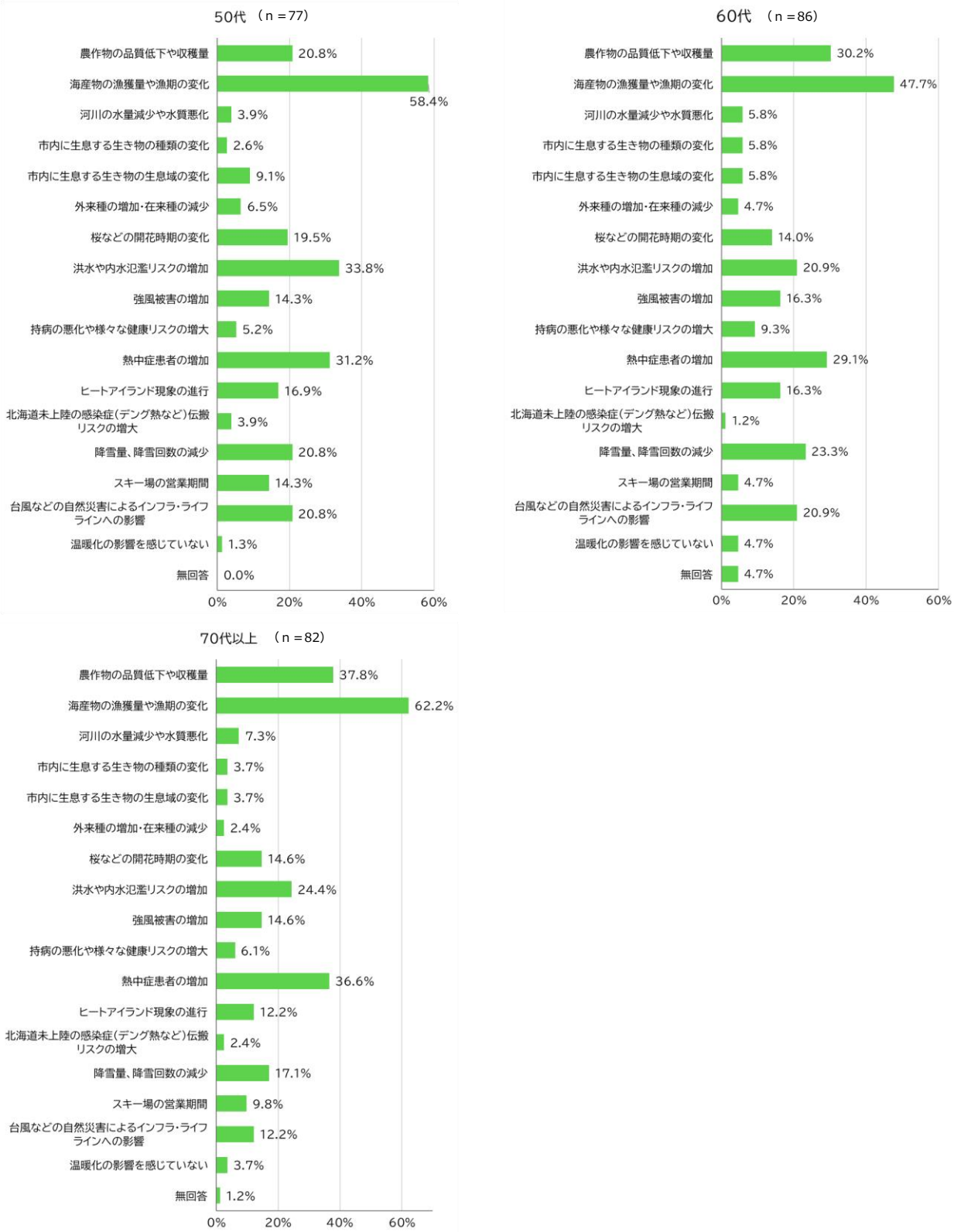


図 12-4 既に気候変動の影響を受けていると感じるもの（年代別） 2/2

＜問 12＞　気候変動の影響への「適応」について

③ 小樽市で優先して対策する必要があると思う取組についておたずねします。次の中から当てはまる番号を 3 つまで選び、○をつけてください。

優先して対策する必要があると思う取組については「自然災害に強いライフライン（電気・ガス・水道・電話・インターネット）」が 70.0%と最も高く、次いで「自然災害に強いインフラ（道路・鉄道・港湾・ダム・橋梁・学校・病院）」が 62.3%、次いで「洪水や内水氾濫リスクの対策」が 22.2%、次いで「土砂災害危険箇所の防災対策」が 21.3%、次いで「熱中症予防対策の推進」が 18.2%となっている。

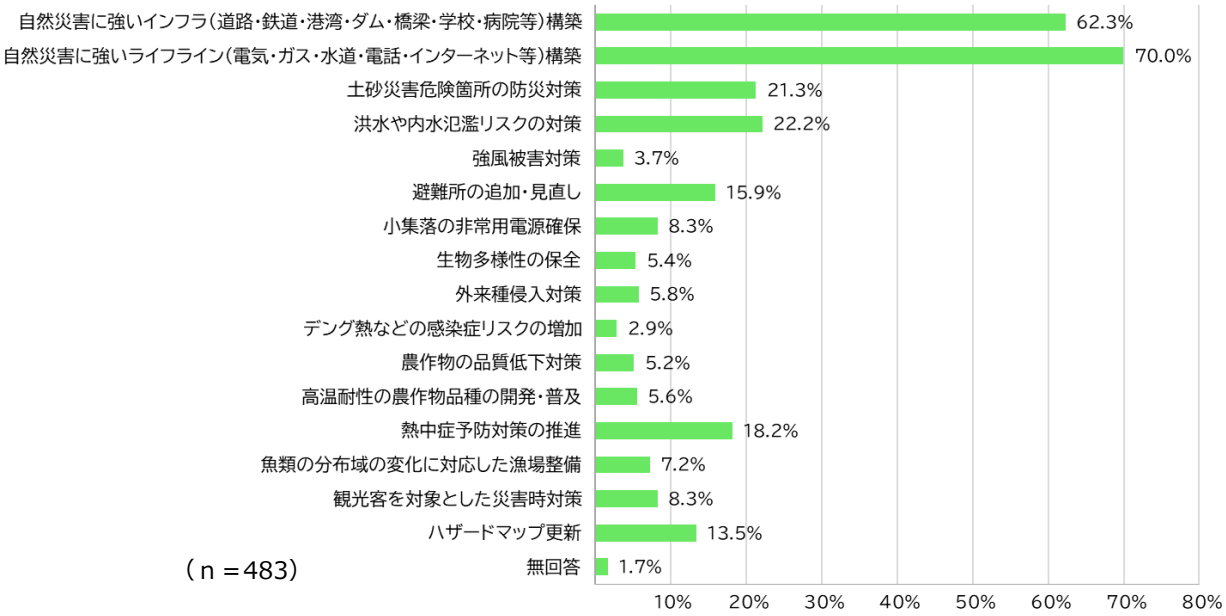


図 12-5　市が優先して対策する必要があると思う取組について（全体）

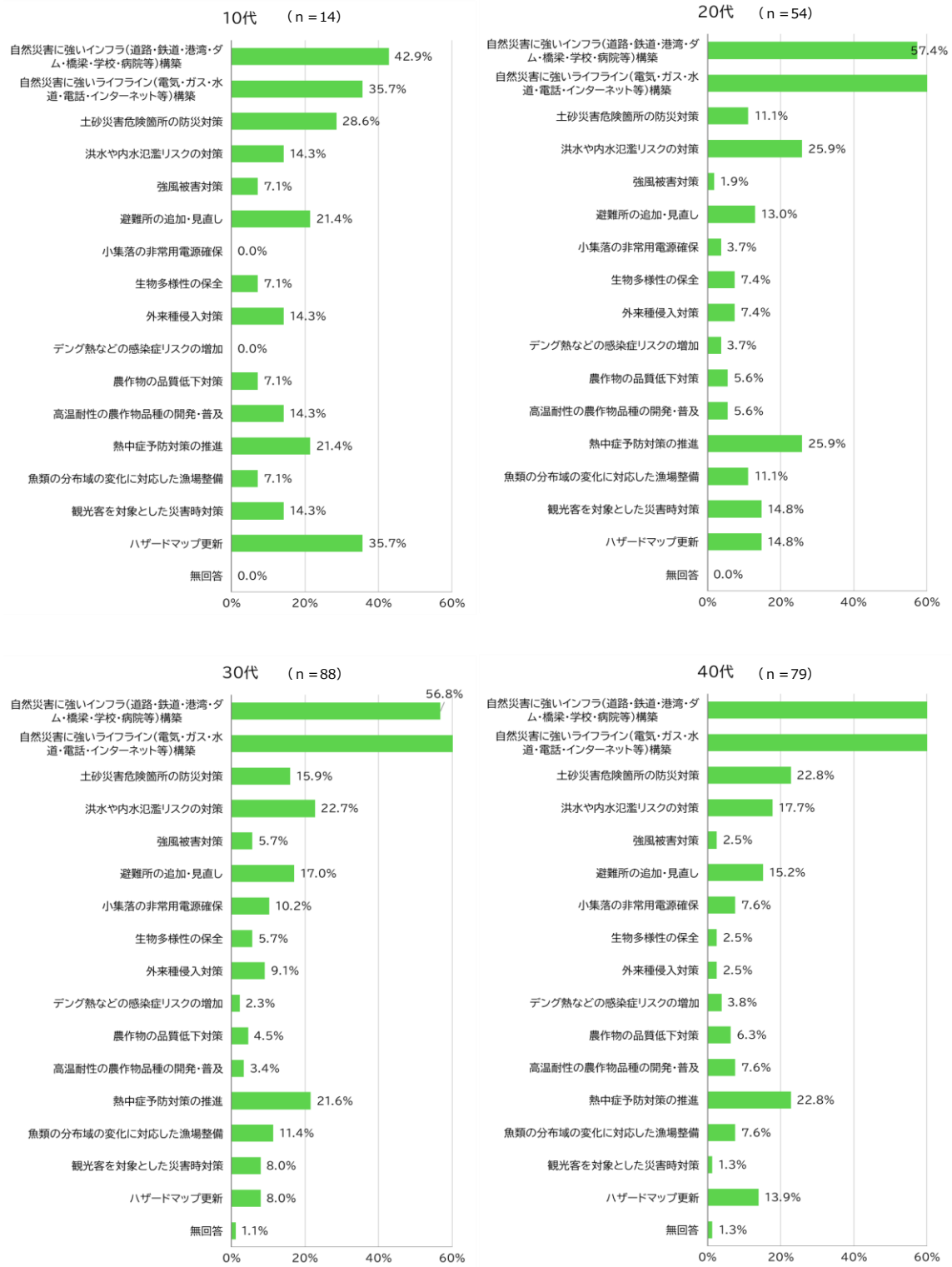


図 12-6　市が優先して対策する必要があると思う取組について（年代別）　1/2

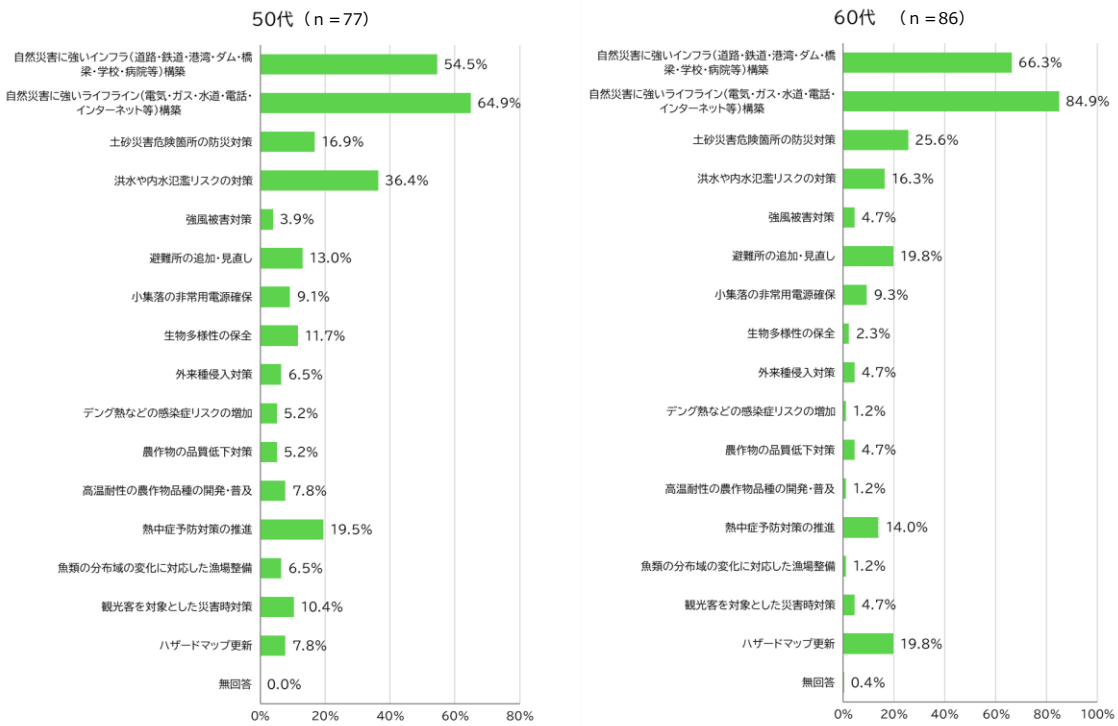


図 12-6　市が優先して対策する必要があると思う取組について（年代別）　2/2

＜問 13＞　環境学習について

① あなたがこれまでに経験した環境教育・環境学習についてお聞きします。次の中から当てはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

経験がある環境教育・環境学習については「ごみの分別・紙のリサイクルなど、ごみや資源循環に関すること」の回答割合が 59.0%と最も高く、次いで「レジ袋や不要なものをもらわないなどのごみの発生を抑制すること」が 49.7%、次いで「節水や節電に関すること」が 44.5%、次いで「生命の尊さや自然の大切さに関すること」が 40.6%、次いで「森林破壊や海洋汚染など地球環境に関すること」が 39.1%であった。この傾向は、年代別で見ても大きな差はない結果である。

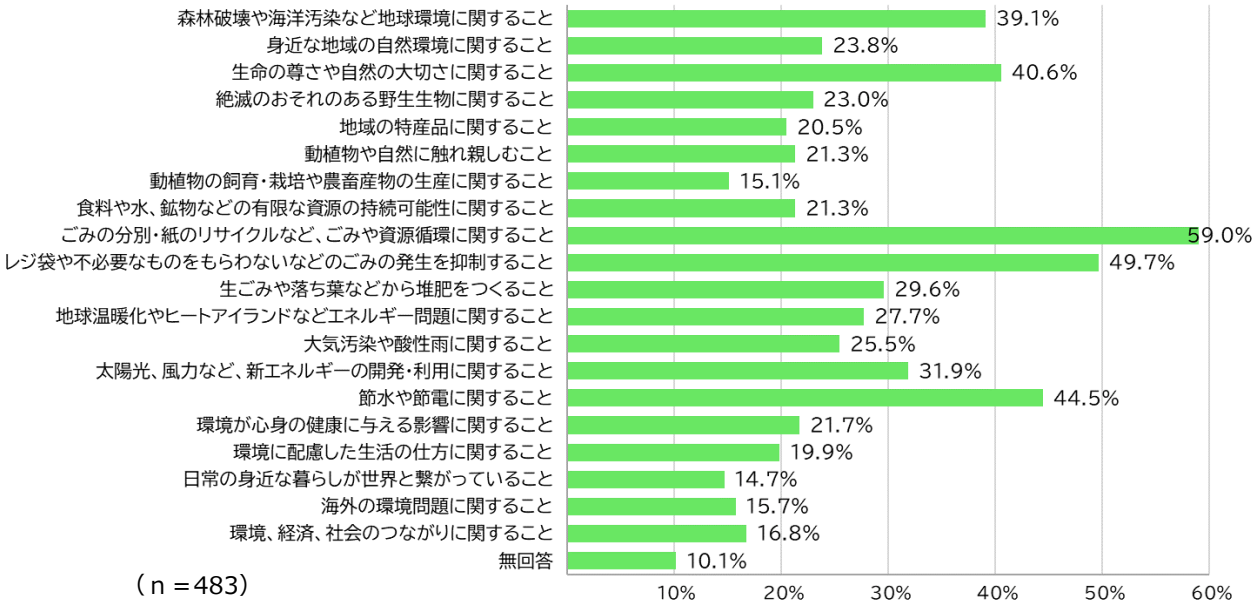


図 13-1　これまでに経験した環境教育・環境学習（全体）

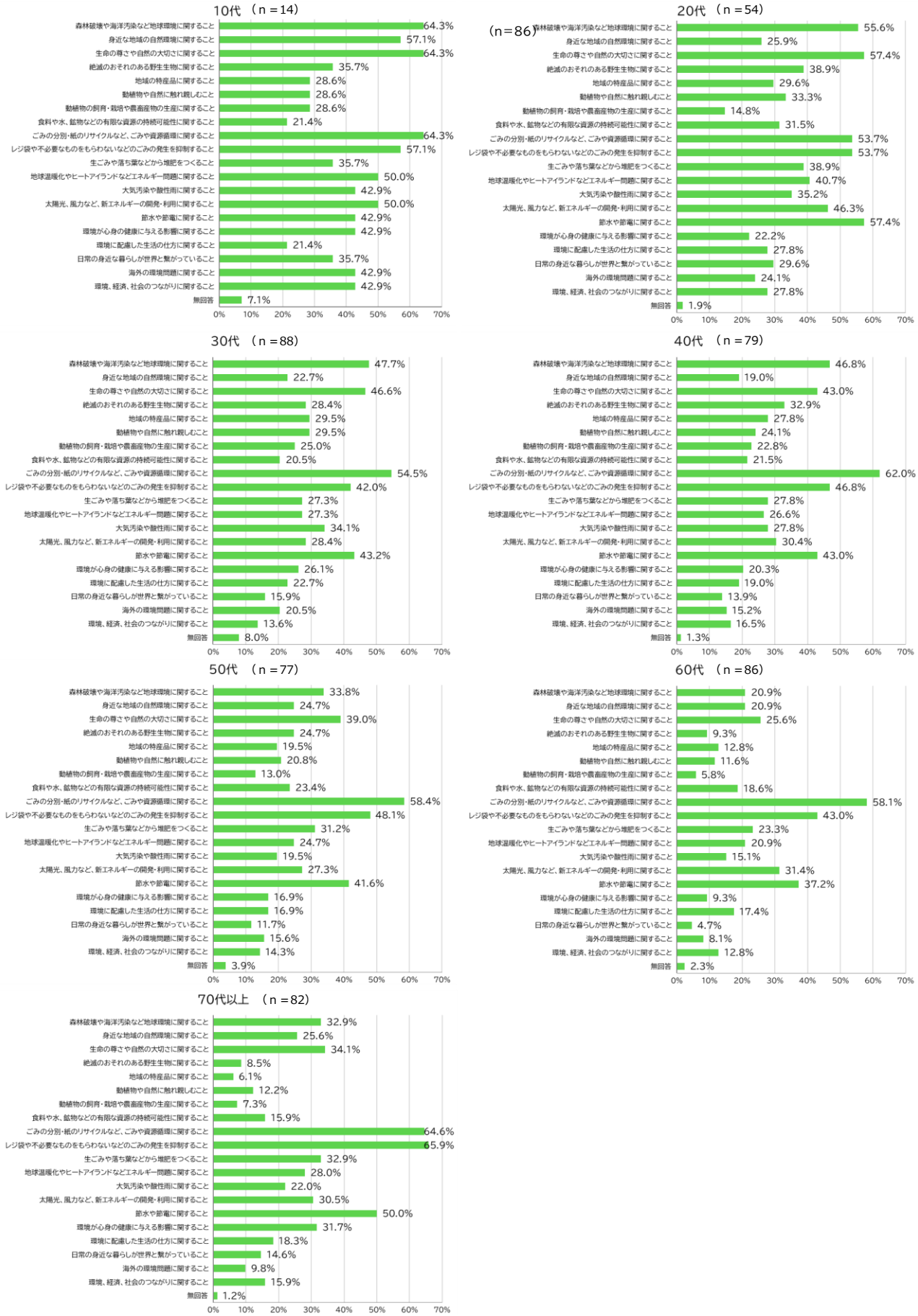


図 13-2 これまでに経験した環境教育・環境学習（年代別）

＜問 13＞　環境学習について

② 今後、学びたい環境学習テーマはありますか。上記の表から番号又は直接ご記入ください。

学びたい環境学習について回答数が多かったのは、「太陽光、風力など、新エネルギーの開発・利用に関すること」が最も多く、次いで「環境が心身の健康に与える影響に関すること」、「環境、経済、社会のつながりに関すること」、「身近な地域の自然環境に関すること」、「食料や水、鉱物などの有限な資源の持続可能性に関すること」、「地球温暖化やヒートアイランドなどエネルギー問題に関すること」となっている。

表 13-1　学びたいテーマ

学びたいテーマについて（回答の多い順）	回答数
14. 太陽光、風力など、新エネルギーの開発・利用に関すること	17
16. 環境が心身の健康に与える影響に関すること	17
20. 環境、経済、社会のつながりに関すること	16
2. 身近な地域の自然環境に関すること	15
8. 食料や水、鉱物などの有限な資源の持続可能性に関すること	15
12. 地球温暖化やヒートアイランドなどエネルギー問題に関すること	14
1. 森林破壊や海洋汚染など地球環境に関すること	9
5. 地域の特産品に関すること	8
17. 環境に配慮した生活の仕方に関すること	8
9. ごみの分別・紙のリサイクルなど、ごみや資源循環に関すること	7
18. 日常の身近な暮らしが世界と繋がっていること	7
19. 海外の環境問題に関すること	7
3. 生命の尊さや自然の大切さに関すること	6
15. 節水や節電に関すること	6
13. 大気汚染や酸性雨に関すること	5
4. 絶滅のおそれのある野生生物に関すること	4
7. 動植物の飼育・栽培や農畜産物の生産に関すること	4
11. 生ごみや落ち葉などから堆肥をつくること	2
6. 動植物や自然に触れ親しむこと	1
10. レジ袋や不必要なものをもらわないなどのごみの発生を抑制すること	0

● その他の回答

・小樽の海に、砂やゴミが混ざっている雪を捨てることへの海洋汚染の影響について。
・地球温暖化。
・自己の環境学習がどんなことはわかりました。
・原子力発電の再利用と、放射性廃棄物処理問題について。
・中華人民共和国において起きている環境問題とその影響について。
・日常の身近な暮らしが気候や森林、海洋汚染にどのようにつながっていくのか、言葉だけが先行して身近に感じにくい。もっとわかりやすく掘り下げて学んでみたい。
・太陽光や風力発電施設の使い捨てを無くし、持続可能な設備としての活用を目指す。

＜問 13＞　環境学習について

③ 環境に関することについて、今後も学び続けたいと思いますか。次の中から当てはまるものを１つ選び、○をつけてください。

環境に関することについて、今後も学び続けたいかどうかについて、「どちらかといえばそう思う」が 44.3%で最も多く、次いで「どちらでもない」が 24.2%、「とてもそう思う」が 16.8%となっている。

「どちらかといえばそう思わない」、「全く思わない」、「分からない」は 5%を切っている。

質問項目	件数	全体
とてもそう思う	81	16.8%
どちらかといえばそう思う	214	44.3%
どちらでもない	117	24.2%
どちらかといえばそう思わない	20	4.1%
全く思わない	14	2.9%
分からない	21	4.3%
無回答	16	3.3%
合計	483	100%

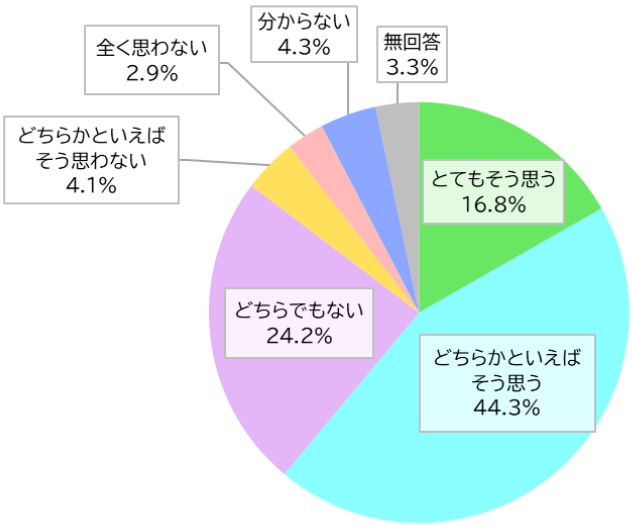


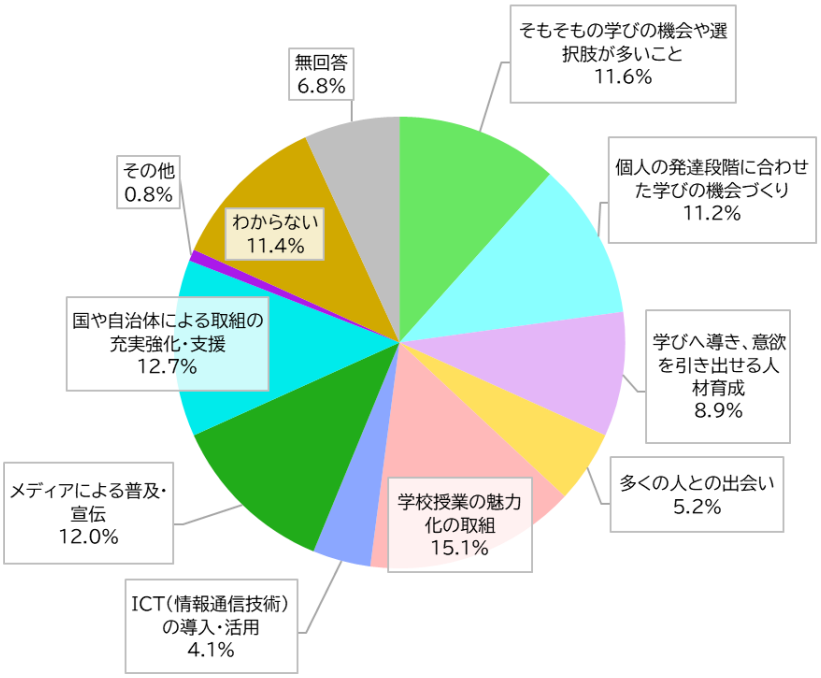
図 13-3　環境について学び続けたいと思うか（全体）

＜問 13＞　環境学習について

④ 環境や社会に関する学びの機会を充実させる取組として、次の中から特に必要だと思うことを１つ選び、○をつけてください。

「学校授業の魅力化の取組」が 15.1%と最も高く、次いで「国や自治体による取組の充実強化・支援」12.6%、「メディアによる普及・宣伝」が 12.0%、「そもそも学びの機会や選択肢が多いこと」と「分からない」がともに 11.6%、「個人の発達段階に合わせた学びの機会づくり」が 11.2%となっている。

質問項目	件数	割合
そもそもの学びの機会や選択肢が多いこと	56	11.6%
個人の発達段階に合わせた学びの機会づくり	54	11.2%
学びへ導き、意欲を引き出せる人材育成	43	8.9%
多くの人との出会い	25	5.2%
学校授業の魅力化の取組	73	15.1%
ＩＣＴ（情報通信技術）の導入・活用	20	4.1%
メディアによる普及・宣伝	58	12.0%
国や自治体による取組の充実強化・支援	61	12.6%
その他	4	0.8%
分からない	56	11.6%
無回答	33	6.8%
合計	483	100%



● その他の回答

・海外の取り組みについて

・SNS の利用

・日々の生活に追われず、環境や社会に目を向けられる余裕のある生活をすること

＜問 14＞　環境に関する情報提供について

あなたが環境に関する情報を入手したい場合、どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。次の中から最も当てはまる番号を 3 つまで選び、○をつけてください。

環境情報を入手したい媒体について、全体では「テレビ・ラジオ」の回答割合が 55.1%と最も高く、次いで「新聞・雑誌・書籍」が 54.5%、「国・道・市などの広報誌」が 31.9%、「ホームページ・メール配信」が 29.0%と高い。小樽市公式 SNS（X：旧 Twitter、フェイスブック、インスタグラム、ライン）による情報入手は 5.6～12.8%と高くはない。

年代別の傾向では、10～40 代で「SNS」を利用している回答が多いが、50 代以上では、「テレビ」よりも「新聞・雑誌・書籍」等で情報を得ている回答が高い。「ホームページ・メール配信」による情報の取得は、30～60 代で多い傾向がみられる。

年代により利用している情報媒体が異なるため、情報発信の対象に応じた媒体を活用することで、より効果的な情報発信が行えると考えられる。

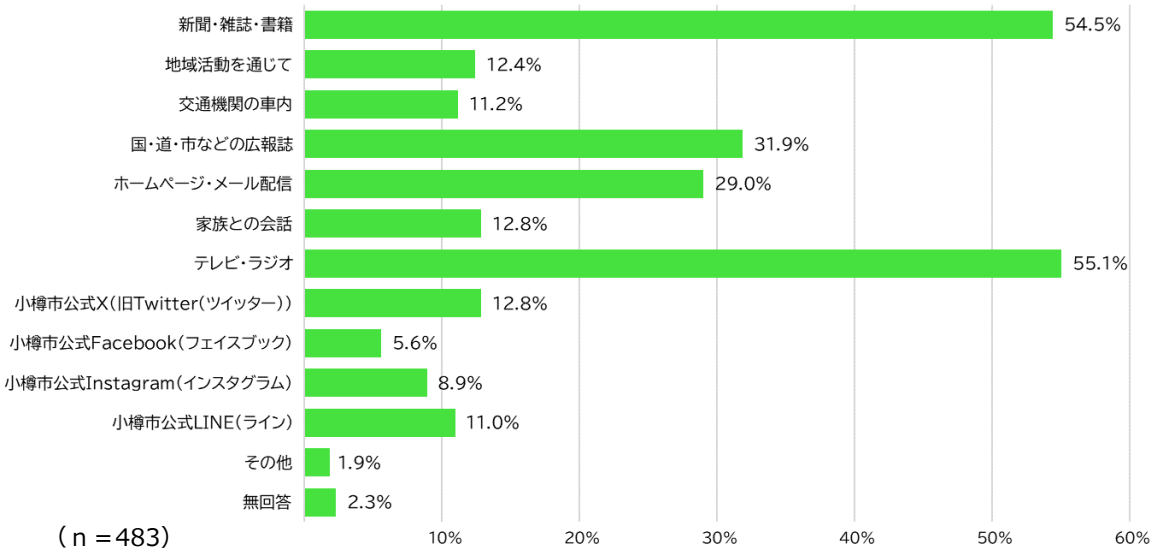


図 14-1　環境に関する情報提供について（全体）

● その他の回答

・会社　・職場　・YouTube　・チラシ、パンフレット

・自宅に送ってほしい

・何なんだろうか？イマイチのような気がします。市役所の担当部署内で処理しないで、もっともっと市民の協力を頼みたいと思います。興味を持っている人がいっぱいいると思います。

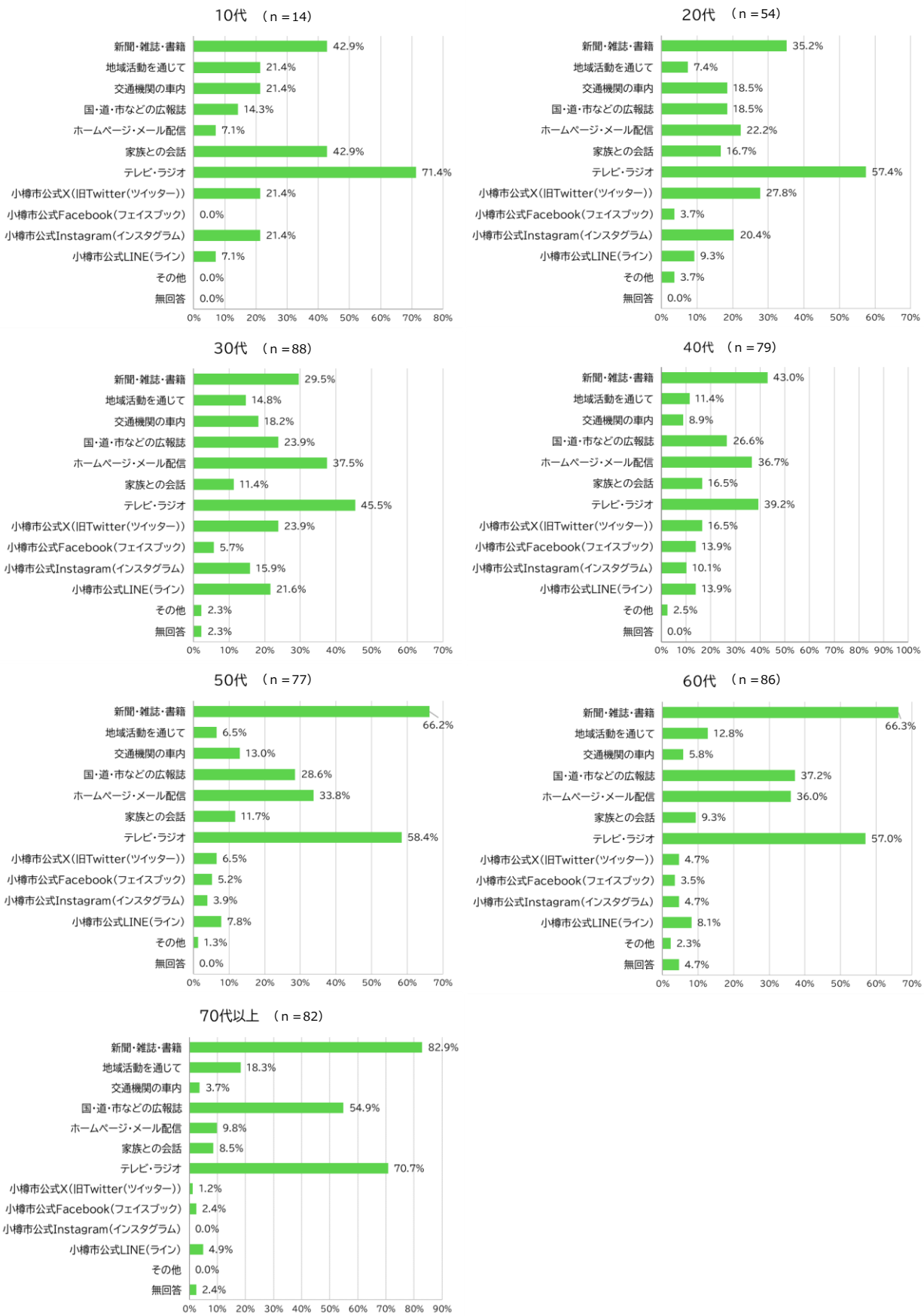


図 14-2 環境に関する情報提供について（年代別）

＜問 15＞　小樽の環境の将来像について

① 小樽市の将来のまちの様子について、あなたはどうなってほしいと思いますか。
次の中から当てはまる番号を 3 つ選び、○をつけてください。

「歴史的・文化的遺産が大切に残されているまち」の回答率が 44.7%と最も高く、次いで「山や川などの保全が行き届いた自然豊かなまち」が 42.7%、「美しい景観が保たれているまち」が 37.1%、「水や空気がきれいで、音や臭いが気にならないまち」32.9%、「公園や街路に花や緑があふれるまち」29.8%となっている。

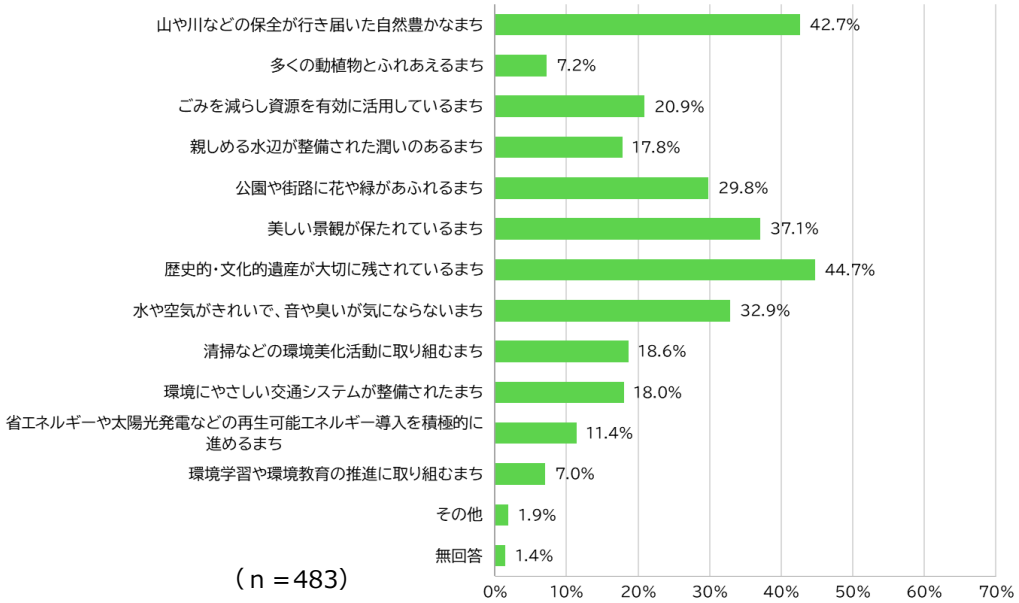


図 15-1　小樽の環境の将来像（全体）

● その他の回答

・国道 5 号線とインター入口の道路がひどい（銭函）。夏は道路のデコボコで車がバウンドして騒音になっている。
・ウイングベイの運営の仕方が下手。テナント料を下げてでも企業に入ってもらわないと、仕事も赤字も改善されない。
・公共交通の充実（高齢化が進むのにバスがないので、ライドシェアか交通機関にお金をかけてほしい。）
・ラウンドアバウトの導入で信号機減
・若者が住みたいと思える街にならないと、小樽市民がいなくなって大学もなくなってしまいそう。
・熊のいない町
・社会福祉に充実したまち（精神障害対象）
・若者の住みやすいまち
・子供の遊び場をもっと増やして子育てがしやすい環境を整える。若い人が集まりやすい街にしなければ人口減少は止められない。

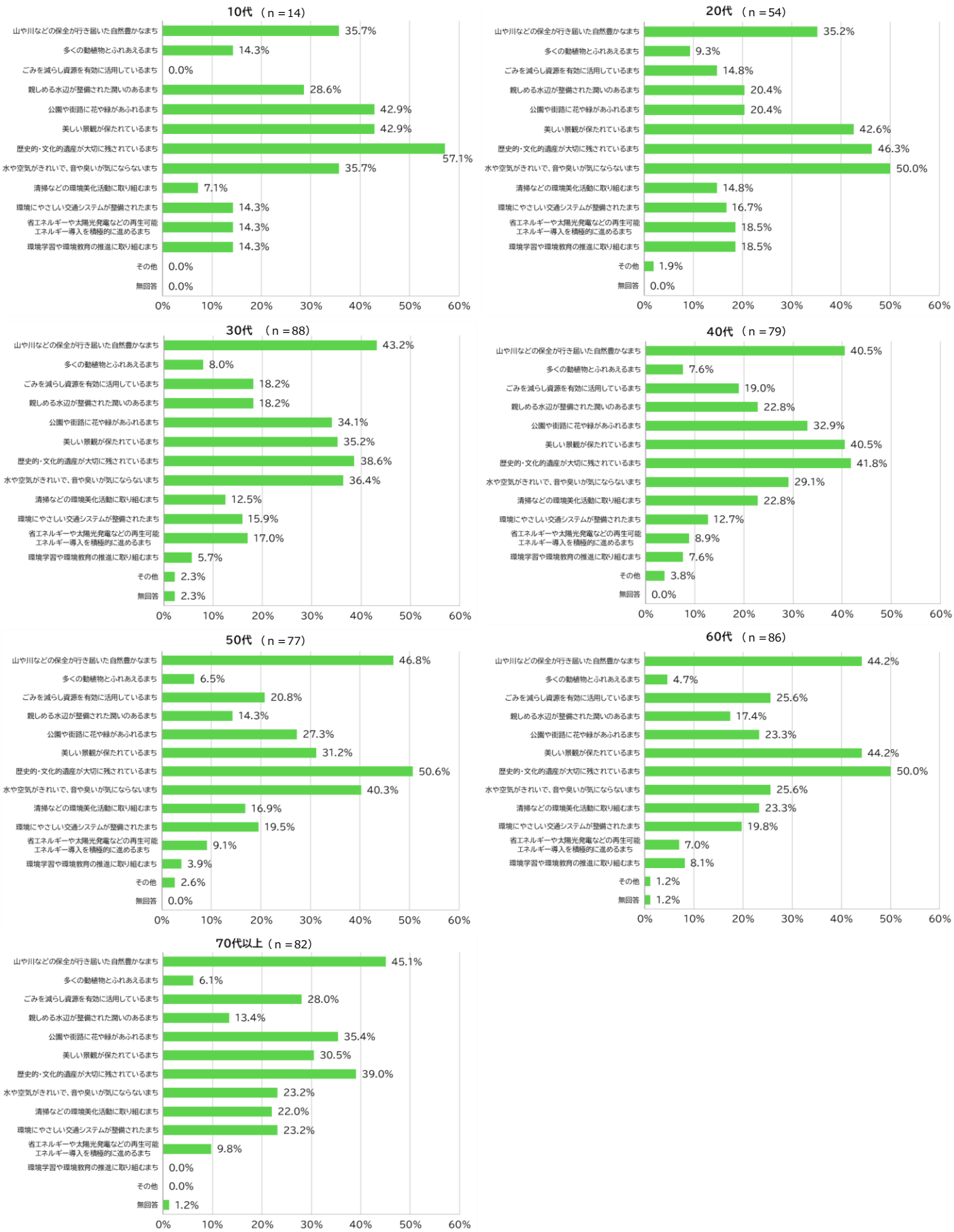


図 15-2 小樽の環境の将来像（年代別）

＜問 15＞　小樽の環境の将来像について

② あなたが小樽市の自然や環境などで、将来まで残していきたいもの（こと）は何ですか。次の中から当てはまる番号を 3 つまで選び、○をつけてください。

「小樽運河」が 66.0％と最も高く、次いで「歴史的建造物」が 47.6％、「天狗山からの夜景・眺望」37.3％、「海水浴場」が 29.6％であった。

年代によって大きな違いは見られなかったが、居住地区別では、当地に存在する名所が選ばれる傾向が見られた。

・長橋なえぼ公園＝長橋・オタモイ地区
・手宮公園＝手宮地区
・銭函天狗山からの眺望＝銭函地区

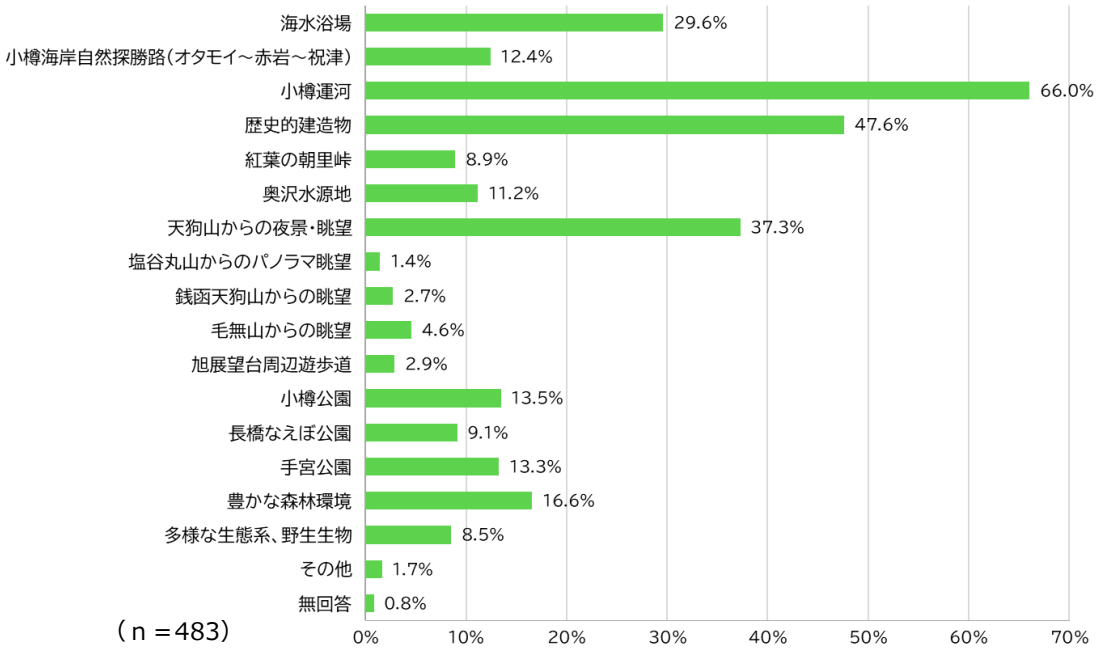


図 15-3　将来に残したい小樽の自然や環境について（全体）

● その他の回答

・すべて残したいです。
・残ってほしいものしか上記にない。
・できれば全て。
・旧国鉄手宮線
・坂の街小樽
・朝里ダム
・春香山

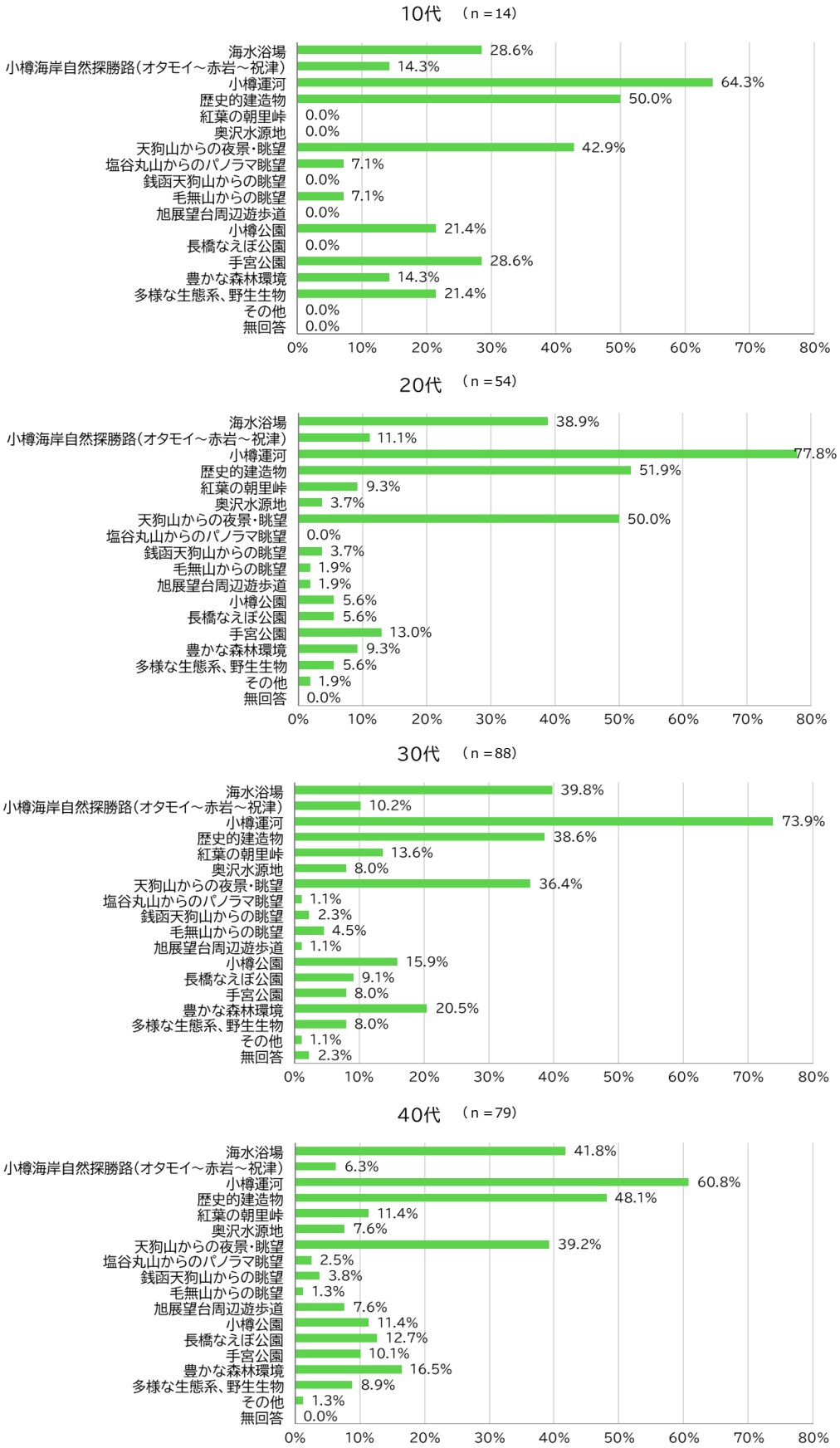


図 15-4 将来に残したい小樽の自然や環境について（年代別） 1/2

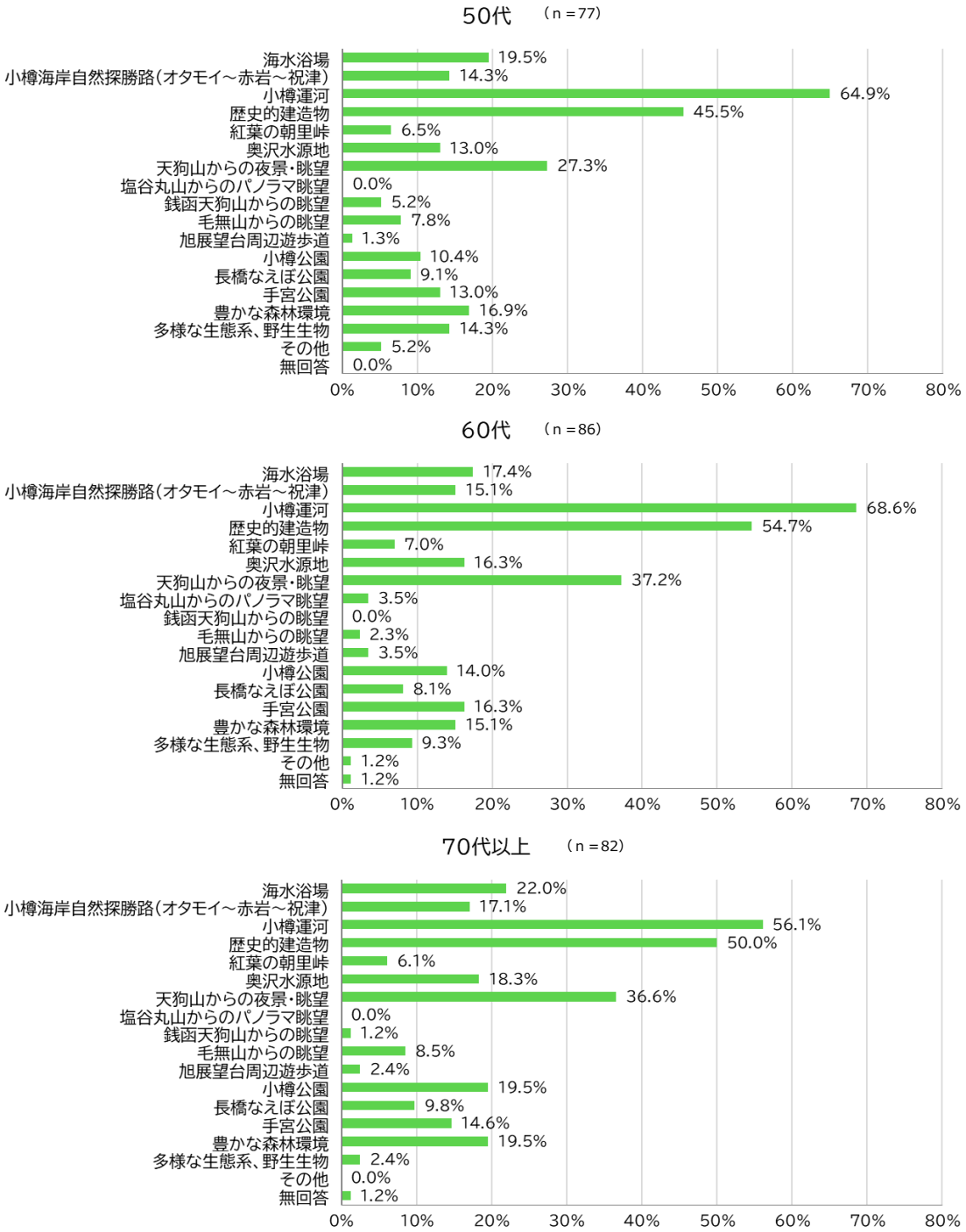


図 15-4 将来に残したい小樽の自然や環境について（年代別） 2/2

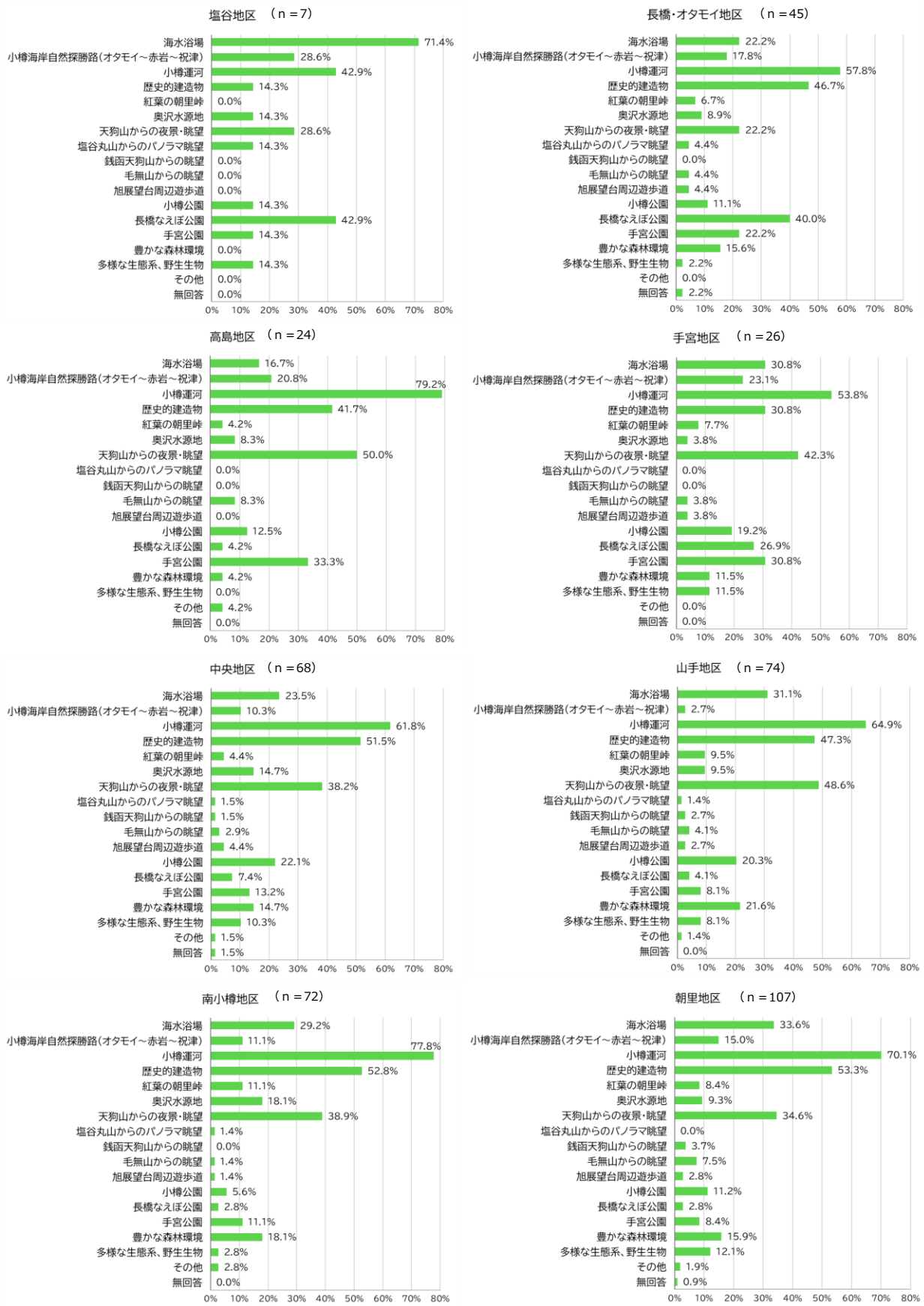


図 15- 5　将来に残したい小樽の自然や環境について（居住地区別）　1/2

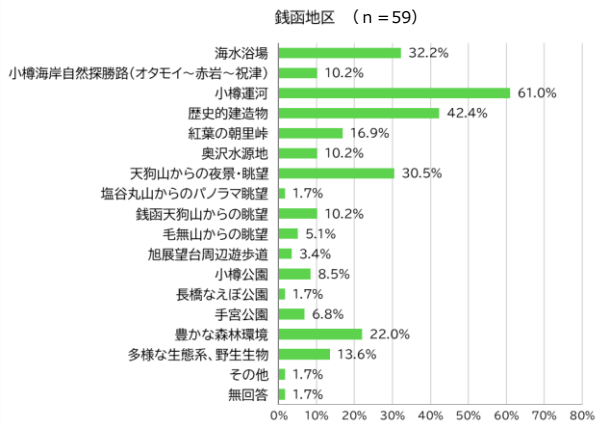


図 15-5　将来に残したい小樽の自然や環境について（居住地区別）2/2

＜問 16＞　環境に関するご意見について

最後に、小樽市の環境を良くするためのアイデアやご意見、感じていること、環境を良くするために市民と事業者、行政が協力して行う活動などについて、ご提案等がありましたら、下の自由記入欄にご記入ください。

自由記入欄への記載について、環境に関連する内容のみを抜粋・要約し、項目別に整理した。一つの回答で複数の項目について記載がある場合は、それぞれに該当する項目へ整理した。

年齢別	意見数
10 代	4
20 代	12
30 代	20
40 代	20
50 代	18
60 代	24
70 代以上	16
不明	1
合計	115

区分	意見数
自然環境	10
まちづくり	20
景観	8
道路環境	8
雪対策	9
公園整備・緑化	27
災害対策	1
廃棄物・資源循環	8
交通	1
地球環境・気候変動	6
再エネ	3
環境教育・環境情報	18
その他	15
合計	134

居住地区別	意見数
塩谷地区	0
長橋・オタモイ地区	11
高島地区	3
手宮地区	2
中央地区	22
山手地区	19
南小樽地区	23
朝里地区	27
銭函地区	8
合計	115

【長橋・オタモイ地区】(1/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
10 代	もっと公園(緑や花がある)を増やしてほしい。	公園整備・緑化
20 代	猛暑が続き、北海道全体の気温が上がっています。小樽が経済面で厳しいこともわかりますが、市役所・学校等へのエアコンの設置などご考慮いただければと思います。小樽の少子高齢化が進み、周りの若者も小樽には住みたくないという声をよく聞きます。どうか高齢者ばかりに目を向けるのではなく、こども・若者にも目が向く行政を願っております。	地球環境・気候変動
30 代	接客業をしています。たくさんの人が小樽はもっとこうしたい、ああしたいと思っています。でも多くの人はどうにもならないと思っています。小樽市からの情報は伝わっておらず調べなければ何もわからないのが現状です。なので他人事になっています。「伝える」ことをもっとして「小樽っていいよね」と言えるといいなと思います。今年のようにたくさんの人が興味を持つイベント等を増やすと知れるのでいいと思います。運河 100 周年初めて知り興味をもちました。	まちづくり

【長橋・オタモイ地区】(2/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
30 代	環境保全に興味はあるが、理由により(仕事、専門的知識、資格がない等)取り組めない人々にも環境保全活動に取り組めるようなシステム(環境の教育を得られる教育場、仕事として従事できるような組織)があり、生活ができる体制があれば良いなと思います。	環境教育・環境情報
40 代	自然環境より、教育環境へのアンケートはしないのでしょうか？小学校校長、教頭、主査へのクレームはどこに入れたらいいのですか？子育て支援、少子化対策というのであればそちらのほうが重要では？	環境教育・環境情報
40 代	冬になると、砂まき道路に㈱コマツダがほぼ毎日砂をまきにきます。小樽は毎日雪が降り、圧雪状態でも砂をまくことで、滑り止めの意味はあるのか？春になると、大量の砂が道路に残り粉塵が発生し、環境や人体に悪いと思う。5 月に砂の回収車が来るが、砂はキレイには取りきれない。そして砂まき道路から運んできた雪を、砂まき道路ではないところにも市の除雪業者が雪を積んだりするので砂が残り、砂まき道路ではないので砂は回収していかない。夏に草刈り機を使うとその砂がバチバチと周辺に飛ぶので危険。砂まきは毎日機械的にまくのではなく、路面状況により砂をまいていただきたい。そしてキレイに砂を回収してほしい。	道路環境 雪対策
40 代	流行に流されずに、後世に残る美しい街づくりを期待している	まちづくり
40 代	アンケートが多すぎ。小樽に住んでいるなら 3 つなら足りない。	その他
40 代	学校行事の 1 つとして(ゴミや清掃活動など)取り入れることは取り入れていけば良いと思う。子供の時から教育していけば、生活の一部となり習慣づけば良いのでは。	環境教育・環境情報
50 代	空いている館物を有効活用して、(昭和製器) などをテナントショップとして若者に貸し出し、仕事の場を提供してほしい。 堺町のお土産店が観光なのに早く閉店してしまい、小樽に宿泊せず札幌に流れている為、時間を長くしたりして欲しい。 フリーマーケットやバザーなど、市民が参加し交流できる場を作ってほしい。(ゴミ減少に役立つ)	まちづくり
60 代	太陽光発電は、小樽市の景観を損ねるので必要を感じない。勝納川に鮭の魚道整備。	景観 自然環境
	11 件	

【高島地区】

年齢	提案、ご意見等	区分
30 代	冬の除雪・排雪。自然災害に強いインフラ(公共交通機関の充実)。	雪対策
60 代	先日、運河周辺のトイレに入りました。カギは壊れていて、臭いもひどかったです。とても使用できませんでした。誰が管理していますか？地方から来た人、外国の人、市内の住民が利用します。残念です。	まちづくり
70 代以上	Q16②の「小樽海岸自然探勝路」を選びましたが、確か、今だに赤岩(トイレのある地点)より赤岩海岸へ降りる道が、大きな落石により閉ざされていると思います。(もし工事が終わっていたらご免なさい)。昔は小学校の遠足で赤岩海岸へ行った記憶がございます。優先順位が低いかもしれませんが、行けるようになればさらに素晴らしい自然探勝路となると思っております。	公園整備・緑化
	3 件	

【手宮地区】

年齢	提案、ご意見等	区分
20 代	環境問題についての学校教育が行き届いていないと感じる。そのため無知で、何をすべきか、どうするべきかをわかっていない人が多い。学校教育においては少人数で考える時間が必要で、それによって一人一人意識が高まると思う。また、教育水準の高さは民度(意識)につながるため、たばこのポイ捨ての減少、ごみの分別率上昇等、多くの良い影響が起こると考えられる。	環境教育・環境情報
60 代	「北海道の心臓と呼ばれた小樽」の日本遺産登録を機に運河、街並みの保全強化を強く発信し、人口減であっても住みやすい魅力ある行ってみたい街になるよう努力していただきたい。	まちづくり
	2 件	

【中央地区】(1/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
10 代	市民が気軽に憩える清潔な公園がないので整備をお願いします。学生が集えてさまざまな活動ができるスペースをつくってほしい。	公園整備・緑化
20 代	小樽市の目標に対しての進捗状況を数値化させれば、見る側は頑張ろうと思えると思う。	その他
20 代	私の会社では未だにコストが安いという理由でビニールテープ(OPP テープ)を使用しています。一年で何万個もの段ボールを組み立てるため、その量は合計すればとても多く、紙テープに変えれば環境改善の第一歩となるはずです。その為の支援や意識改善の手引きをして頂けるとありがたいです。	環境教育・環境情報
30 代	若年層を取り込むためにラインなど SNS を普及させることが大事かと思います。そこで環境に関しての情報を発信することでより多くの人が小樽市の取り組みを理解できるかと思います。いまのままでは市政と市民の距離があるのでそこを埋めるところから始めるべきかとおもいます	環境教育・環境情報
30 代	太陽光発電、風力発電、車の脱炭素、原発の停止などは俗物的・短縮的な政治的な思考が透けて見えるので、人類種存続のため、民のための情操教育と研究者の育成と研究費用の担保とかで堅実に可能性を増やしてほしい。	再エネ
30 代	花や緑を増やす。	公園整備・緑化
30 代	性能の良い焼却炉に変更する等が良いかと。ゴミ拾いを学校でやるとか。	廃棄物・資源循環
30 代	自然に身近に触れ合えるような公園を整備するべきであると思う。公園は一定数あると思うが整備不良と思える様なさびれた公園が多いように思える。	公園整備・緑化
40 代	ウイングベイとかアーケードなど《人の通りが多い場所》に市民参加型の常設ワークショップ（付箋で意見を書き込んで貼って、他の人の意見も可視化。ボランティアやイベントの開催チラシやスケジュール周知、参加申し込み、イベント提案や相談が随時できる）開催の様子も展示したりとか？環境のよい、景観のよい街づくりに参加してる事業者や学校のアピールや実績とか。学校の子供達に夏休み学習企画の相談にのったり、交流の場を作ったり。デンマーク？土地利用のワークショップが市民参加型だったような？巻き込み型にするといいのでは？年配の人は SNS みないし、ホームページも関心なければ開かない。関心強くなくても、目に触れると寄ってみようかなになるように活動した方が良いと思う。	環境教育・環境情報

【中央地区】(2/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
40 代	石狩の洋上風力を景観的にどう思うか…。財政が厳しい小樽ですが、豊かな自然があふれる街であり続けなければならない。それには個人の意識が大切。幼き頃の学校教育の段階から街や山や海の清掃活動を通して豊かな自然を大切にする心を養う。自然環境が脅かされることのリスクを行政も事業者も共に学ぶ必要がある。	景観 自然環境
50 代	札幌市のように大型ゴミを自分で持ち込み出来るリサイクル処理場が有るとたすかります。	廃棄物・資源循環
50 代	環境教育をもっと社会全体に。小学校で学んだことを子供は素直に実践してくれるが、大人の意識が低いのか、子供も老人も参加できるリサイクル、町づくりのイベント等があればよい。もっと除雪のボランティアも学生に依頼したり。	環境教育・環境情報
60 代	車の出入りに邪魔になるということで、街路樹が切られて減っている。廃校になった校舎の利用が出来ていない。空き家が多い。高齢化で家の庭の手入れが出来なくなって、荒れているのが増えた。態度の大きい外国人によって環境悪化。	まちづくり
60 代	子供たちが安心安全に楽しめるように公園の整備・環境を整えること。また手宮線跡地の環境整備。	公園整備・緑化
60 代	ゴミ有料化から数年経っても、今だに「解らない」の声があります。その都度確認がわずらわしく不法投棄や分別があいまいになっているのではないでしょうか。「自治体別」が混乱している要因かと思います。転居（転勤）で他市町村と異なる為です。国全体で統一すべき課題では？昨今これ程環境悪化しており「持続可能 17 の…」より、老若男女国内全地域に浸透させ「具体的」に解りやすくすべきと思います。	廃棄物・資源循環
60 代	観光の町なのでこの先も色々と開発がメインとなるのでしょうが、自然に配慮した街並みをお願いします。	景観
60 代	市内の歩道のデコボコを平らになるように整備して欲しいと思います。冬期間の除雪時に、市民が道路に自宅の雪を捨てるのを厳しく取り締まっていただきたいです。小樽に引っ越して来てから、市民のマナーの悪さにびっくりしています。	道路環境 雪対策
70 代以上	マンションから見える朝里、張碓の山、森林が減って茶色い地肌が広がった。いつか地滑りでも起きないか心配。	自然環境
70 代以上	環境への関心と意識を高めるためには、幼い頃からの体験や教育が必要と思います。大人の私達が意識をもっと深めていくことが大切です。	環境教育・環境情報
70 代以上	小樽公園の整備は幼少期の郷土愛を育むきっかけになると考えます。1958 年頃に頂上の見晴らし亭の横で中村善策氏、小川清氏が写生しているところを見せてもらったものです。小樽の海、港と街並み、公園内の景色が子供目線で楽しめるように整備できると小樽の未来が明るくなると思うのですが。	公園整備・緑化
70 代以上	住吉神社の木が大きくなりすぎて裏に住んでいる者としては雨が降る度に地滑りが起きないかと避難しなければならず夜もろくに寝ていられません。行政の方で何とかねりませんか。せめて木を半分にきるとか（家にかぶさって）何か事故が起きなければ動いていただけないのでしょうか。お願いいたします。	災害対策
－	小樽の花園公園の動物を飼っていたところはきたないです。	公園整備・緑化
	22 件	

【山手地区】(1/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
10 代	お祭り会場のごみ箱設置が少ないと思います	景観
20 代	全体的にポイ捨てが多く街が汚いので、ポイ捨てがいかにダメなことかポスターなどで周知してほしい。	景観
30 代	小樽市内にある小中高及び特別支援含む学校が連携できる講座や学びの機会の充実を希望します。	環境教育・環境情報
30 代	未来のある子供たちが、安心してすごせる・自慢できるふるさと小樽と言えるような街づくりをおねがいしたいです。環境美化が自然と身につくような出前授業を小学校でやってみるなど。例えば、SDGｓを背景にリサイクルの大切さを伝えるような取り組みの授業とか。ふだん毎日一緒にすごしている先生が言ってもなかなか響きません。外部の方が話してくれる内容の方が耳にも心にも残ります。市内の学校に勤務しています。一意見として参考にしていただければと思います。	まちづくり 環境教育・環境情報
30 代	色内埠頭の工事を早く終わらせてほしい。公園の景観は良いが、工事で周辺を散歩できないのが残念だ。事情があるのは承知しているが一日でも早く工事を終わらせてほしい。	公園整備・緑化
30 代	子どもが自由にボールを使って遊ぶところが少なすぎる。	公園整備・緑化
30 代	ゴミ拾いなど色々なボランティア活動をしてみたいと思い検索をしてみたこともあるけど、どこで募集をしているのかイマイチわからない。募集しているのであればもう少しわかりやすく募集してほしい。例えば学校や幼稚園などにプリントを配ってもらえたら必ず目にするし、子供達と一緒に参加できるものであれば子供の経験にもなるし、その活動で子どもの意識も変わっていくかもしれないのになと思う。（清掃活動することによってポイ捨てをしなくなるなど）小樽市民みんなが、小樽のことを大好きで小樽にずっといたいなと思う町であって欲しいとおもうから、これから大きくなっていく子供達にもっと小樽の良さや小樽の自然環境を保つ活動を知って貰ったり、体験して貰うのも良いんじゃないかなと思います。	環境教育・環境情報
40 代	天狗山の経営について→子供たちが利用するために安心･安全なリフトの運航等、市の代表でもあるスポットなのでしっかりした運営に取り組んでほしいです。	その他
40 代	小さな子どもが自然と触れ合える機会が、今よりも増えると良いと思います。	環境教育・環境情報
40 代	除雪と排雪をきちんと執り行ってほしいです。余市町や仁木町、共和町、岩内町へ向かう度に綺麗な除雪と排雪がなされているので。	雪対策
50 代	運河沿いの店舗の統一感やレトロ感を大切にし、各道路の中央分離帯の植物や雑草の管理を良くして欲しいです。	景観 公園整備・緑化
50 代	札幌に近い春香山の活用をもっと考える必要があります。地域資源として活用できるものは多くあると考えます。	自然環境
50 代	日頃の不勉強のせいで回答に一時間以上かかりましたが、ただの 1／1800 なんだと少し残念に思っています。ここに書くこともフンと笑って右から左なんだろうと…。今回は生活環境に関わってとのことですが、必要なのは小樽市の全てに共通することとして「昔の小樽は札幌より栄えてた」の呪縛にとらわれている人たちを切ることだと思います。「勝麿」がまだ力を持っているのでは終わっていると思います。それと「市役所に勤務できるのは小樽に税金や保険料等を払っている人」にする。「市役所の半分は札幌に税金払ってるんだって！」と、おばさまたちの怒りの声をよくききます。小樽市の時代にそぐわない古い考えに風穴を開けて頂くことを希望します。第二の夕張を覚悟している市民でした。	その他
60 代	とにかく、道路が整備されていない。舗装がきちんとされていなくてどこもツギハギだらけのアスファルトです。もう少しきれいに舗装してほしい。	道路環境

【山手地区】(2/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
60 代	気候問題、エネルギー問題、自然環境の保護等いろいろ削りますが、小樽市では風力発電に反対の立場と伺っておりますが、ゼロカーボンシティの立場から考えても、推進すべきであって何故と言わざるを得ません。自然破壊と言われるが、生活環境改善を考えてほしい。行政として公園の福祉を優先すべき、財政難というならば、固定資産税を見込めるのだから一朝一夕で消極的な考えは街を不幸にする。たとえば色内埠頭公園の公衆トイレがとても汚い、長橋墓地にいくまでの道路事情、等身近な環境整備が大事だと思います。	再エネ 公園整備・緑化 道路環境
60 代	アンケートを通じて学んだこともありました。ありがとうございました。	その他
70 代以上	小樽の将来のために頑張ってください。よろしくお願いします。	その他
70 代以上	市内のトイレをもっともっときれいにして欲しいです。花園グリーンロードの 2 か所のトイレ特にひどい。山側も海側も最悪です。もっともっと掃除の仕方を習って欲しいです。	公園整備・緑化
70 代以上	小樽公園がひどく荒れてしまい残念。小樽と名前がつくのであれば整え、気持ちよく市外の人にも誇れる公園に戻してほしい。	公園整備・緑化
	19 件	

【南小樽地区】(1/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
20 代	先程入力したカーブミラーの件です。冬は狭い道が車では通れなくなり高架下を通らなければならないのですが、カーブミラーの設定数の少なさ・曲がり・濁りが原因でせっかく設置していただいているものも役割を果たしておりません。また高架下は鋭角の曲がり角・死角がかなり多いです。事故になりそうな場面もありました。水産高校付近には新たな賃貸物件等が増え、車の通行量も増えます。どうか高架下の柵の設置部分等再度見直し、ミラーの増設・交換をお願い致します。	道路環境
20 代	アンケートが長いです。頑張りすぎです。多くの人からちゃんと回答が返ってくるように質問を絞った方が良いです。管理されていない空き家がこれから増えてくると思うので、気になっています。運河や市中心部の駐車場だいぶふえてきましたが、これからも増えると活気が出ると思います。	まちづくり その他
30 代	義務教育の段階から身近な環境問題に関する授業を行い、興味を持ってもらう。実際に働いている人の意見を授業内で聞けると、自分ごととして捉えることが出来そう。大人も子供の手本となるような行動ができるよう啓もう活動を行ってほしいです。	環境教育・環境情報
30 代	春になるとほとんどのご家庭の庭にもチューリップが咲き誇っていてとてもきれいです。これからも春には花や緑であふれるような明るい街づくりを目指していただきたいです。	公園整備・緑化
30 代	最上公園をもっと利用しやすい環境にしてほしい。最上保育所の園児が遊びに行ったり団地が近いのにあまり整備されていないと感じました。特にトイレです。子供が使いづらいです。こわいイメージがあります。	公園整備・緑化
30 代	雪害の問題。	雪対策
40 代	空き家が多く感じるので、その対応をしてほしい。ツタが多く感じるので(電柱にからんでいる)伐採してほしい。	まちづくり
40 代	市内の教育施設に冷房設備完備をしてあげて欲しい。	地球環境・気候変動
40 代	子供が楽しく安全に暮らせる町にして下さい。	まちづくり

【南小樽地区】(2/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
40 代	私は道外からの移住者です。冬に雪が降り除雪車が毎日行きかう中で、道路の割れなどの破損は仕方ないことかもしれませんが、道路の補修整備が出来ていなくて、ガタガタ道なことにびっくりしました。道路の白線ラインも消えたままだったりするので、レンタカーの多い地域なのに運転していて車線や停止線が分かりにくいので運転しづらいです。事故も多いのではないかと思いました。	道路環境
40 代	大々的にみんなで取り組むような環境活動に参加したいとは申し訳ありませんが思いません。地産地消やフードロス、エコバッグ活用、ゴミの減量など、個人でできることには取り組んでいるつもりです。市民１人１人が環境問題について考え、行政にはリーダーシップを発揮していただくことが大切だと感じます。今回のアンケートで改めて環境問題について考えることができたので、良い機会に自分にとってなったと思います。	環境教育・環境情報
50 代	熊などの野生動物の町への出没が多くなっていると思います。至急対策が必要だと思います。	自然環境
50 代	アイデア・活動思いうかびませんが、感じることとして、ちいさいことをコツコツ(ちいさい時からのつみかさね)が、何かの芽になると思っています。	その他
50 代	宇都宮で運行開始された LRT のように、主要な地域を結ぶ輸送方法を取り入れ、コンパクトシティづくりに期待します。(バスの減便、新幹線駅との交通手段、JR 小樽⇔余市間廃線など)	交通
50 代	ニトリがやりたがっているオタモイの整備は、最初は行く人もいると思うが最初だけ。一度行ったらわざわざ行かない。そんな予算を使うなら、どんどん壊されている歴史的建造物の保全に使うべき。なぜ小樽に観光客が来るのかを考えて。この古い街並みが魅力なんです。これ以上歴史的建造物が壊されないように、街並み保全に力を入れてください。	景観 まちづくり
50 代	日本人客を大切にすること。地元（後志）でとれるものの値段が高すぎる。地元優先の町であること。小樽運河の外観、水質改善等、徹底して守ること。どこかにたよってなりたっている清掃活動等、行政が主となり、横の連携を深めながら、進めることを望みます。	まちづくり
50 代	小樽市でも色々一生懸命やっていることが、なかなか市民に伝わらない。後になってから知ることも多い（環境のことだけではなく)。	環境教育・環境情報
50 代	ボール使って遊べる場所を作ってほしい。	公園整備・緑化
60 代	冬期の除排雪について優先順位を考えてほしい。小樽は豪雪なので、そういう地味で基本的な生活に密着しているところを優先的に取り組むべきかと思います。	雪対策
60 代	学業の無償化。	その他
60 代	素材はいいものがあるが、中途半端な手の入れ方。地方(田舎)の町村の中でも何を大切にするか考え取り組み、豊かに個性的な町を作っているが、小樽は運河や歴史的建造物を行政はどう思って活用させようと思っているのか全く分からない。どんどん他の市に先に行かれ、さびれる一方。北広島や恵庭、千歳に越される。函館も港町だか全く観光力が違う。公園も使われていない。 ゼロカーボンについては知っているが、小樽市が取り組んでいることは知らない。全く PR も本気も見えない。市のやる気ってあるのか？	まちづくり 公園整備・緑化 地球環境・気候変動
70 代以上	下水が壊れ、一番下にいるものが、マンホールが壊れていても私有地だからと直してもらえない。	まちづくり
70 代以上	公共のトイレの整備・清掃を行き届かせてください。市内のいずれのトイレも暗く、汚く使用する気になれません。観光の町にふさわしいトイレを普及させて下さい。	公園整備・緑化
	23 件	

【朝里地区】(1/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
10 代	朝里地区では花や木を植える活動があるのですが、小樽市全体で花を植え植物が豊かな町にしていきたいです。	公園整備・緑化
20 代	若い人が早い段階で小樽を出ているイメージが強いです。住んでいる若者が集う場所、例えばカフェや服などを買い物できる場所、があるともっと活気がでるいい街になるのではないかと思います。	まちづくり
20 代	今ある自然をそのままに、それに触れることのできる機会(イベントなど)を増やしてほしい。小樽大好きです。ご苦労様です。期待しています。	自然環境
20 代	レジ袋が有料になったことで、エコバックやマイバスケットを使用する方が増えましたが、今までレジ袋を家庭でのゴミ袋として使ったり、かなり需要がありました。今はごみ袋のために袋を購入する人が多く、結果的にプラスチック削減にあまりなっていない気がします。「小樽市内でバイオマスレジ袋を無料で」など取り組みを行うのもいいのではないかと思いました。	廃棄物・資源循環
20 代	小樽市内の学校にエアコンを設置してほしいです。熱中症になってからでは遅いと思います。参観日で学校に行きましたが、親も観てられないくらい暑さで大変でした。子供たちの毎日が心配です。どうぞご検討のほど宜しくお願いいたします。	地球環境・気候変動
30 代	企業、個人に対して CO_2削減意識を高める。取り組むことでメリットがある施策を導入。企業には税制優遇措置や融資制度の拡充。個人には環境取り組みに対してのポイント化をし、市内でのみ使える電子マネーに還元することで電子化や経済効果に繋がると思います。	地球環境・気候変動
30 代	地元の人間が納得する市政(市の職員を全員小樽住の人にして、きっちり住民税をもらう)。小さな子供、大人までが楽しめる公園作り、施設作り。とにかく企業が小樽に定着する工夫。若者が街を離れない工夫ですね。	公園整備・緑化 まちづくり
40 代	Q9　木々の青々とした環境はとても好きです。住宅地周辺の整備をもっと積極的にしてもらうとメリハリがあり、更に魅力的になると思います。 Q5　「廃棄物・資源循環」→リサイクルをもっと積極的に行ってほしい。例えば大型家具の廃棄等。大型ゴミの処分費が高すぎます。処分費を安く、使えるものは安く販売して必要な人のところで使ってもらうなど、需要がもっとあるはず(ゴミの分別など、とてもマナーが良いです。個々の意識はとても高いと思います)。 ◎きれいで美味しい水・空気。札幌他都市からの移住を積極的に行い人口増加。大手企業の誘致をすることで雇用拡大。まずは税収の確保をして、大好きな小樽の街を守っていって欲しいです。環境維持にも莫大なお金がかかります。若者を中心に(任意で)出資金を集め、環境活動の大きな組合を作るなど。ふるさと納税品を魅力的なものに変更する(例：小樽運河の何か名物などをつくるなど)	まちづくり 公園整備・緑化 廃棄物・資源循環
40 代	小樽市がどの様な活動をしているのか？の情報が入ってこない。多分こちらから探すと出てくると思うが探さなければ入ってくることがない。多少興味があっても中々小樽市の環境に関することを検索することはない。ですので、1 番難しいところではあるかもしれないですが情報発信の方法を工夫して皆の目に止まるようにしていくしかないと思います。その方法は？と聞かれてもすぐ思いつきませんが。	環境教育・環境情報
40 代	ボランティア活動を積極的に行い、その情報発信があると参加しやすいと思う。	環境教育・環境情報
50 代	熊が増えすぎた。	自然環境
50 代	公園の整備、ゴミの処理。	公園整備・緑化 廃棄物・資源循環
50 代	海や山の環境を整える。	自然環境

【朝里地区】(2/2)

年齢	提案、ご意見等	区分
50 代	小樽市民はゴミのポイ捨てについて意識が低い。仕方ないで済ませている。結果、河口にはゴミが溜まり市街地に熊も出る。自然は豊かであるべきだが、森林に囲まれた人目につかない場所に車からゴミを投げ捨てる人間がいる。場所からしても遠くからきているというより土地勘のある者だと思う。すると連鎖的に「まあいい」「人がやるなら自分も」とおかしな気質があるが、逆であり、警察沙汰にするくらい大げさに騒ぐべきなのが不法投棄。監視社会にするのではなく、市民の意識の底上げのため、悪いものは悪いと教育しなくてはならないと思う。特に大人に対して。	廃棄物・資源循環
50 代	小樽市は高齢者が多いです。年をとっても安心して暮らしていける市になってほしいです。季節がら落ち葉がすごいのですが、市道の排水溝の状況を見てもらえているのかと心配になります。(ハザードマップで危険な地域に住んでいるので)	まちづくり
60 代	公費を持っての、小樽運河周辺へのゴミ箱設置(観光客用)と回収。	廃棄物・資源循環
60 代	私も老人ですが、小樽も老人の町になりつつあります。何とか若者がいきいきと楽しめるような街にしてほしいです。新しいコンサートホールなど作って頂けたらと思いますが、今の財政じゃ無理ですね。でも少しずつでも良いのですが、変えていただけたらと思います。	まちづくり
60 代	クリーンなエネルギー(太陽光、風力)を活用して、もっと自然環境の保全に努めてはどうでしょうか。	再エネ 自然環境
60 代	小樽市民環境を情熱してまったくあります。1 年間は季節環境を変化してあること。まったくむずかしいです。	その他
60 代	JR 余市駅までの路線を残して欲しい。手宮までの線路(跡)、雪かきレースや雑草取りレースとか？端から端までずっと歩いて、のんびり休める場所がなくて疲れました。ベンチとか日陰になる休憩所とかあるといいですね。あと何分あと何mここは小樽駅前につながるとか、ここは竜宮神社につながるとかの標識や、トイレもどこかいい下水道につながる場所があるといいですね。	公園整備・緑化
60 代	市民一人一人が環境をよくしようと思うことが大事たと思います。	その他
60 代	市の職員が市内を巡回する時間を増やしてください。	その他
60 代	若い方が子育てしやすい環境の整備（児童館、公園、水遊びできる公園など)。魅力ある街作りで若い方の移住を増やし、活気ある街にしてほしい。	公園整備・緑化 まちづくり
70 代以上	民家周辺街灯が少なく物騒のため、小路・道路の脇に LED を増やしてほしいです。お願いします。	道路環境
70 代以上	高齢者が積極的に外で社会活動に参加できる、身近なネットワーク構築の支援があれば、喜ばしいと感じます。	その他
70 代以上	坂道の歩道の除雪を今より一層した方が良いと思います。(高齢者が多い為)	雪対策
70 代以上	毛無山からの眺望は小樽のガッカリスポット！木々が伸び、小樽の眺望がほとんど望めません。伸びた木々の先端を少しトリミングすることは問題ありますか？	景観
	27 件	

【銭函地区】

年齢	提案、ご意見等	区分
20 代	国道 5 号線の道路を整備して頂きたいです。	道路環境
30 代	熊対策に力を入れてほしいです。我が家の庭に熊が入ってきてから、行政の対策が特にないため個人的に対策をしていますが、お金がかかります。電気柵のレンタルや補助金や対策方法の指南等、できることからお願いしたいです。今後増える案件だと思うので早急な対応をお願いします。	自然環境
40 代	地域の公園は、地域の人達で雑草取りなどをしていますが、若い方達の参加が少なく感じます。若い世代も、仕事や子供の行事など忙しいかと思いますが、今後担い手が足りるのか心配です。又、人力で出来ない部分は行政で見回りにきてやって頂きたいです。産業会館前の歩道橋は撤去予定はないのでしょうか？サビがひどく危険だし、中心部にある為、市民としては恥ずかしいです。	公園整備・緑化
40 代	小樽市役所職員の方が札幌からバスで通っている状況は、CO_2削減が国から示されている中、市の職員として好ましい行動と言えるのでしょうか。小樽市の住居から通えばCO_2も削減出来るのでは。小樽市役所に務める以上、小樽市に住居を構えることを必須とするなど、規則改定を図るべきと考えます。	地球環境・気候変動 その他
60 代	向上と思われる点が常に不足していると思う。強力な意見は消され無難な意見の有り方に終止する会議。観光税の形にした完成、他の町で年間 200 万人の観光客で「うるおう」。800 万人のオタルはさて！消費税 1%としてどこに→札幌へ→まして事業主体が運河観光の 8 割が札幌主体客を考えて入れてでもすべて札幌へ。ここからでは？	その他
60 代	冬期の除雪について、市の除排雪のルールを市民が知らない。私道はやらないのか？依頼すればやっていただけるのか？通学路などはどうなのか？広報や HP よりもっと身近な町内会の説明会や回覧板での通達の方が伝わると思います。	雪対策
70 代以上	この地区(桂岡)は雪が多く豪雪地帯です。雪の問題では大勢の方が悩んでいると思います。業者と市との連絡を密にしてスムーズな除雪をお願いします。年に 1 回の排雪ではとても住んでいられません。除雪の問題で住み慣れた街を出ていく人が沢山います。小樽市内の方ばかり充分な対応なのではありませんか。札幌にも近く小樽にも近いので通勤圏です。空き家も少なくなると感じている。サービスセンターも遠く不便なところです。もしかして忘れられている地区なのではと思う時があります。ここも小樽です。	雪対策
70 代以上	観光都市で売っているわりには、街の雰囲気が美しくないと感じる。もう少し緑化（緑や花を多く）に力を入れて、美しい！というイメージをつくっていった方が良いと思う。（前記したが、元気な高齢者活用で草刈り・植花など、どんどんしていってはと思う。少ないポイント等でもつけるとボランティア精神で参加するのではと考える。町会単位で緑化対抗などあっても面白いと思う）	公園整備・緑化
	8 件	